2023 四季折々　From Kobe

kobe2023.pdf

神戸で 思いつくまま　From Kobe　2023

2024. 2.15.

コロナもやっと収束へ　マスク外して　笑顔が見える
四月の風と共に桜が咲いて、野山は一気に芽吹き、新生の息吹を胸一杯
ポストコロナ新時代　若者も高齢者も　みんなみんな　日々新らた

人類が生き延びてきた道は「他を思う心」とそれが生み出した「知恵と物」
地球４６億年　鉄の惑星　良いことも悪いことも一杯作り出してきた「鉄」
「鉄」の仕事に携わってきたものとして、「鉄」が輝きを取り戻し、
新しい道を切り開いてくれるものとの期待一杯です

「人間は一人だけでは生きてゆけない」
今や人類の危機　核戦争と灼熱化する地球　一人一人が考えよう　地球人そして平和な暮らし
とりもどそう日本　そして　平和な暮らし　勝手なことをひとりぶつぶつです
2023.8.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

文化
汀にて　鷲田清一
〈マジョリティとはだれか〉
強者に追随 身を潜める者
仕切る/仕切られる
関心を持ちあう

【From Kobe 2023】　10月 里の秋　神戸便り　2023. 10. 10.

小さな巨人 緒方貞子 ～命をつなぐ現場主義～　「小さな巨人緒方貞子さんの生きざま」
収録Ⅰ　「小さな巨人　緒方貞子さん　運命の分岐点」を聴取して　2023.10.10.

NHK BS アナザーストーリズ

小さな巨人 緒方貞子さん 運命の分岐点 を聴取して

2023.10.6. NHK BS の番組を見て 記録を残しておきたくて
From Kobe Mutsu Nakanishi

小さな巨人 緒方貞子 ～命をつなぐ現場主義～
放送日: 2023 年 10 月 6 日
ボスニア内戦、ルワンダ虐殺…
世界で難民が苦しむとき、その現場にはいつもこの小柄な女性の姿があった。
UNHCR・第8代国連難民高等弁務官、緒方貞子。
過酷な現場に自ら足を運び、解決のためならどんな相手ともきぜんと立ち向かうその姿は“小さな巨人”と呼ばれた。
緒方のかたわらにはいつも彼女に心を動かされ、ともに闘った人々がいた。
命をつなぐために、緒方はどんな闘いに挑んだのか？　黒柳徹子との知られざる交流も。

神戸新聞2023.5.22.朝刊　*「読者文芸 - 詩 -」より*

「傘寿」
80歳になったら
どのように年を重ねたのか
鏡に映してみたかった
鏡の中の姿は紛れもない80歳の私

思っていた通りの姿ですか
想像していたよりも老いていますか
映っているのは現在の私ですか

振り向くと他の姿が映るかも
溢れるほどの道程を歩いて
やっとたどり着いた
鏡の中の姿
もう大丈夫
今が幸せだから

神戸新聞の読者文芸欄に入選作として
上記「傘寿」の詩が掲載された
ちょうど８０歳になる私
コロナがおさまって、同窓会が次々と…
恋しさと共に何をしゃべろうか････と。
そんな折にこの「傘寿」の詩に出会った
「そうや　まぎれもない８０歳の私」
ストレートに今の気分を言い表している
この詩を披露しよう　あとは自然と言葉が出るやろう
同窓会では　みんなそんな気持ちか････
嬉しい久し振りの出会いにみんなで盛り上がりました

80を迎えて　健康でいること & 仲間がいることに感謝です

久し振り
本年仲間の同窓会・元気会より

紛れもない８０を迎える私　今を精一杯
老化は仕方なし　でもまだ足は動く　好奇心・気力もあり
God be with You!!と呪文を唱えつつ　　2023.6.5.　Mutsu Nakanishi

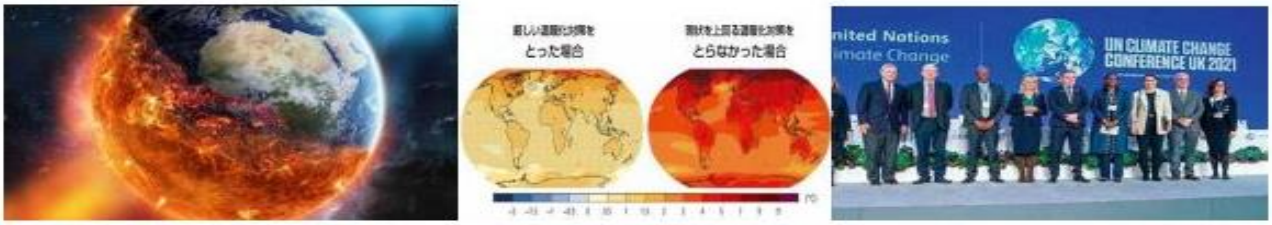
Mutsu Nakanishi　*From Kobe　2023.*

和鉄の道HP開設20余年

和鉄の道 2023 年 1 年を振り返って　2023 年和鉄の道 HP 掲載記事

高齢化が進む中で迎えた「ポストコロナ」大変革の厳しい新時代の幕開け

第 28 回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP28）開催



この地球暴走を止められるでしょうか？　止めねばならぬ　独りよがりではどうにもならぬ

和鉄の道HP開設20余年を振りかえって

私の一番知りたかった HP「和鉄の道・Iron Road」のテーマ・Key Ward
「人工鉄の起源」「和鉄伝来の道」「たたら製鉄の歴史探訪」「日本の起源・鉄の歴史」等々については
ここ数年資料の合本整理もして、一応道がついたと。

- 〇「和鉄の道」・「風来坊」「四季折々・From Kobe 」それぞれに 1999 年 2022 年の年次 File として、
  収蔵しています。まだまだ、整理のつかない文もありますが、日本国中勝手気ままな風来坊の記録です。
- 〇　また 1 0数年に及ぶ愛愛媛大東アジア古代鉄文化センターの「人口鉄の起源&ユーラシア大陸東遷の道」
  国際プロジェクトの年次成果報告会シンポにも毎年聴講させていただき、その聴講記録集成「たたらの源流
  鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」として「和鉄の道・Iron Road」選集整理させていただきました。
  長年鉄に携わってきた私の宝物になりました。
- 〇　もう一つ　鉄のない世界　そして日本人のルーツ「縄文」の世界にも現地訪問や数々の会に参加させていただき、
  その素晴らしさを和鉄の道・Iron Road で紹介させていただきました。
  そして、縄文の世界が世界遺産に登録されるとともに、数多くの仲間と接することができたのもうれしい思い出。

ポストコロナの新時代のの和鉄の道　鉄はどんな姿を見せてくれるのか・・

■　本年は「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と言われた「鉄」がこの新しい時代にどんな姿を見せてゆくのかと
興味津々。新しい時代のキーワード。
一方、世相は混沌　混乱の中 1 年たっても、世界は未だに方向が見いだせないでいる。
そんな時代の転換点にいる自分を神戸の街からしっかり記録しておくのも HP「和鉄の道」
目に留まれば、どこかで、何かの役に立つだろうと和鉄の道・Iron Road の発信を続けてきた 1 年でした。

- ◆ 目を覆いたくなる悲惨なウクライナ・パレスチナ ガザの惨状
  絵空事・ゲームの世界と思っていたことが我が身に迫る。
- ◆ また、地球温暖化と気候変動による激甚災害の多発原因は
  人類社会がもたらした産物　今も続く大気中の CO2 の急増による。
  神戸の街で暮らす私たちの身近にも、数々の環境変化が見えるようになってきた本年。
  社会生活への影響もひたひたと。もう待ったなしの時代に。

2023 年和鉄の道 HP　掲載記事件数

地球温暖化と激甚化する自然災害の急増と理不尽な戦乱の時代
即時対応は待ったなし　また「鉄はどんな姿を見せたのか」

◎和鉄の道・Iron Road　16 件（鉄の話題:4 件　脱炭素社会構築と鉄:8 件　たたら・製鉄遺跡探訪:4 件)
◎風来坊・Country Walk　24 件（神戸の街の歳時記　−毎日 walk　& 神戸近郊四季折々の里景色−　）
◎四季折々・From Kobe　11 件（ 神戸季節の便り& いつくまま From Kobe)
資料収集: 毎月の神戸新聞 文珍さん落語見聞録&コラム正平調ほか抜き書き等)

四季折々　思いつくまま　ぶつぶつ　From Kobe

2024 年 1 月 1 日 阪神大震災と同じ規模の大地震
「能登半島大地震」発生 被災された見舞われた皆様にお見舞い申し上げます
God Be With You !!
救援の手が届き、一日も早く穏やかな生活が取り戻せますよう

２０２３年　一年を振り返って　　2024.1.5.

地球温暖化と激甚化する自然災害の急増と理不尽な戦乱の時代
即時対応はは待ったなし また「鉄はどんな姿を見せたのか」
◎和鉄の道・Iron Road　16件 (鉄の話題:4件　脱炭素社会構築と鉄:8件　たたら・製鉄遺跡探訪:4件)
◎風来坊・Country Walk 24件 (神戸の街の歳時記　-毎日walk ＆神戸近郊四季折々の里景色-　)
◎四季折々・From Kobe　11件 (神戸季節の便り& いつくまま From Kobe)
資料収集: 毎月の神戸新聞 文珍さん落語見聞録&コラム正平調ほか抜き書き等)

≪社会・経済・暮らしの再建　地球人として生きる社会再構築の大変革の時代の到来≫
課題山積の日本　2022 年に引き続き、本年 何一つ解決できなかった日本
政治・経済界が言うほど日本は良くなったのだろうか?
引き続き高齢化が進行する日本社会の疲弊　危機がわが身に迫る厳しい時代と組まねばならぬ日本
ホストコロナの新時代の幕開け　老化が進む中で傘寿を迎え、いろんなことがあった厳しい年でした
「鉄は時代を映す鏡」「鉄は産業の米」「鉄は国家なり」と言われた「和鉄の道」
「鉄」から眺めた周囲の勝手気ままな今の収集。もう自分の時代ではないと自戒しつつ、何かの役に立てばと自らの行動記録メモ。日本は先が見通せぬ混乱の中にあえいだ一年でした。

◆ 目を覆いたくなる悲惨なウクライナ・パレスチナ ガザの惨状　そして頭の上を北朝鮮の弾道ミサイルが飛んでゆく。絵空事・ゲームの世界と思っていたことが我が身に迫る。核戦争が現実の脅威に。
国際感覚がない島国日本は湯日本。気が付けば日本は経済・技術・生活とも G7 再下位に。

◆ 大気中 CO2 急増による地球温暖化と気候変動による激甚災害の多発。原因は人類社会がもたらした産物。
地球暴走の危機がもう目前に。脱炭素取組・激甚災害へのインフラ整備の遅れ
“経験したことのない自然災害”のお題目がむなしく響く

◆ 資源・食糧・エネルギーの自給できぬ日本の危うさが現実に　急激な物価高が生活にひたひたと
神戸の街で暮らす私たちの身近にも、社会生活への影響がひたひたと。

経済界・政治は経済の回復を歌うが、急激な物価上昇・格差が展開する中で、働く世代の減少が追い打ち。
暮らしの疲弊　日本が取り残されている・・・・そんな意識がわが身にひしひしと・・・・・
高度情報化社会がもたらした厳しい先行き不安の現実　" 今 幸福なのだろうか? "
みんな地球人「自分さえよければ・・・ではどうにもならぬ意識と覚悟」の新時代
何としても突破口・出口を見つけねばならぬ「地球・そして日本」の危機の前に立つ
Iron Road　世界と共に生きる時代の模索・取組推進の時代の幕開けを実感した一年になりました
そして、２０２３年年末　まさに今 日本の政治に大激震「自民党各派閥の裏金作り」の発覚
ボス政治家たちに検察のメスが入った。　この成り行きが良くも悪くも日本を変える
日本の老獪な仲間政治・派閥政治に幕が下りて、新しい政治が始まるのか

◎ 日本の今への警鐘　「何も変わらぬこの閉塞感と不安感　心地よい ゆでガエル状態」
小林喜光氏の指摘に今一度　耳を傾けよう
https://infokkkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf

◎ 2023 年のスポーツ界　日本でそして世界で若者たちがフレッシュな姿で躍動する姿を見せてくれた。
今までの流儀から飛び出した若者たちの流儀のフレッシュな姿
これからの日本の希望　「やってみなはれ!!」と応援せねば・・・・・

四季折々・思いつくまま　ぶつぶつ　From Kobe　Mutsu　2023

2024 年 1 月 1 日 阪神大震災と同じ規模の大地震
「能登半島大地震」発生 被災された見舞われた皆様にお見舞い申し上げます
God Be With You !!
救援の手が届き、一日も早く穏やかな生活が取り戻せますよう

From　Kobe　2023　1月 － 12月

年賀	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

四季折々　TV・新聞やインターネットで気になった記事等 . .　kobe2023.pdf
思いつくまま、気の向くまま メモに記録

1 月 コロナ収束までもうひとふんばり 1 年を振り返って
2 月 如月 春の足音 春はすぐそこに でも世界は混とん 厳しい時代に
3 月 弥生 春の訪れ 老いゆく身には厳しい時代、パッと明るい神戸の春を届けます
4 月 桜 神戸桜の便り
5 月 新緑 野山は新緑 神戸便り 地球暴走目前 脱炭素に世界が動く 日本はまたもや孤立が鮮明に
6 月 水無月 梅雨入り コロナも落ち着き 輝きを取り戻した神戸 みんな地球人平和にも目を向けて
8 月 ひまわりの夏 2023 「命は宝」 「NO WAR」 一日も早くウクライナに平和を
9 月 酷暑と目まぐるしく変わる天候の中で初秋へ 神戸季節の便り
10 月 西神戸・東縄県の風物詩 里の秋神戸季節の便り 私の好きな秋景色がここかしこ
冷戦・核の脅威に直面する今 一番感動した小さな巨人 緒方貞子さんの生きざま
11 月 コスモスの秋 吹き来る風は心地よし 「NO WAR」諸魂日に多くの人に思いをはせる
12 月 師走 今年の秋若者たちが見せてくれた躍動 「一つになれば奇跡は何度も起きる」

コロナワクチンの接種が広く行き渡り、コロナが収束へ　まだまだ不安がのこるものの
各自の行動規制も緩和され、待ちゆく人もマスクをはずし、笑顔がのぞく 1 年に
でも、ロシアのウクライナ侵攻が収まらぬ中、イスラエルのパレスチナ侵攻。
そして、コロナで疲弊した中国の不況が世界に影を落とす一方、石油・天然ガスの高騰が
世界各国を急激な物価高をみまい、いまだに収まらぬ状況
また、世界各国が取り組む脱炭素社会の取組にも遅れがへかかる一方、地球温暖化による激甚
災害がわが身にも迫り、またゲームの世界と思っていた戦争の残虐・悲惨な世界が眼前に。
まったく先が見えぬ中で、老いゆくわが身を感じる一年。

厳しい世相の中で　西神戸・東播磨の毎日 walk をデジカメで眺めた四季の移ろい記録。
また、TV・新聞やインターネット等で見つけた気になるニュースや出来事に思いつくまま
気の向くままメモにして File。いま世界・日本の状況を振り返り眺めるメモ。
四季折々の移ろいと共に、同じことの繰り返しも多いのですが、視点を変えた新しい発見も。
２０２３年の私の行動記録になりました。

２０２３年年初には「ポストコロナの希望の年」を思い描いたのですが、
課題山積　現実は厳しい先が見えぬ年となりました
２０２４年には　戦争・核の恐怖が薄らぐ、文字通り、平和が世界に満ちますよう。

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」大変革の新時代
みんなの笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託す
はじめて気が付いた戦争の悲惨・核戦争の危機
即時停戦 ウクライナ・パレスチナに一日も早く穏やかな暮らしを
２０２３年１２月末　一年を振り返って

四季折々・ぶつぶつ　From Kobe　Mutsu　2023

【目　次】　<1月 - 12月 > top tytle　&　収録

【四季折々・From Kobe　1月 年賀】　2023年 迎春 年の初めに　2023.1.1.　fkobenenga.pdf
われら地球人 みんな　明るい笑顔の年で　平和が満ち満ちますように
「NO WAR from Kobe」 一日も早く、ウクライナに平和な暮らしが 取り戻せますように

【四季折々・From Kobe　2月 如月】　春の足音　春はすぐそこに　2023.2.15　fkobeR0502.pdf
厳しい寒波にみまわれた1月の末 2 月節分・立春を過ぎて 春の足音がすぐそこに
ビックリするような出来事が次々と起こったポストコロナの新時代の始まり
三寒四温の春の足音にほっと一息
収録1.　神戸新聞　2023.2.11.朝刊　如月の随想「遠野物語は懐かしく新しい」
収録2.　神戸新聞　コラムにみる令和５年 ポストコロナの新しい時代の始まり
収録3.　文珍さんも落語的見聞録　「SNSの陰に潜む鬼に用心」と

【四季折々・from Kobe　3月 】　弥生 3月　神戸に嬉しい春の訪れ　2023.3.15.　fkobeR0503.pdf
街角ほのかに梅の香り 新生の息吹に満ちた 春３月　いかなご新子漁も３月４日に解禁
原チャリで駆けて梅見に　神戸に春到来!! まだまだ 足は動くし、好奇心・気力はある
老いゆく身には厳しい時代ですが、パッと明るい神戸の春を届けます
収録1.　神戸にうれしい春が来た!!　いかなご新子漁解禁
収録2.　コラム「正平調」より　３月心に響いた言葉
収録3.　文珍さんの落語見聞録「戦争なんて『もうケッコー』」

【四季折々・From Kobe 四月】　桜満開の神戸の春 神戸の桜便り　2023.4.1.　fkobeR0504.pdf
四月の風と共に桜が咲いて、野山は一気に芽吹き　新生の息吹を胸一杯
コロナもやっと収束へ マスク外して笑顔、みんなみんな 日々新た

【四季折々・From Kobe　新緑 薫風5月】　令和５年新緑の神戸便り　2023.5.7.　fkobeR0505.pdf
周辺の野山は芽吹いて新緑へ 刻々と変化する新生の息吹
ポストコロナの新時代 新しい風が吹き始めました 新時代への思いを募らせて
収録1.「低炭素社会構築・ 2050年 CO2 Zero の約束」取組現状　日本は世界とこんなにかけ離れているのか!
2050年CO2Zero の約束　地球の温度上昇 1.5℃以下が達成できなければ 地球暴走の危機
収録2. JR尼崎福知山線事故を取り上げた4月25日 神戸新聞朝刊
コラム「正平調」の記事にコロナ禍3年をしみじみ思い浮かべ重ねて
収録3. 数々の課題と難題を抱える日本に 新しい風を吹き込めと 神戸新聞　2023.4.25.より
神戸新聞文化面　鷲田清一氏のエッセー「汀にて」「雑談の効用 新たな発想のきっかけに」
神戸新聞 正平調「チャレンジが歴史を作る」
収録4. 対話型AI 使うと「便利」ですが、「質」はどうか まだまだ判断力が問われます
収録5. 文珍さんの落語的見聞録　「花粉症に紙パンツデビュー」

【四季折々・From Kobe　6月】　水無月 梅雨入り 6月神戸便り　2023.6.5.　fkobeR0506.pdf
コロナも落ち着き 輝きを取り戻した神戸
収録1. 久し振りの映画「ハマのドン」 カジノはイラン! ドンの叫び
収録2. 文珍さんの落語的見聞録「落語の台本 AI に依頼したら」

【四季折々・From Kobe　8月】ひまわりの夏2023　神戸便り　　2023.8.5.　fkobeR0508.pdf

酷暑が続く毎日　無理せず　毎日を元気に

■ ひまわりの夏2023 photo 点描　■ 8月5日 原爆の日

「命は宝」「NO WAR」 原爆の恐怖と苦しみ　核兵器廃絶は地球人が生き延びる道

日本・世界に平和な暮らしをとりもどそう

収録1. 年寄りの戯言　新しい時代に日本の先行きは?　頭によぎる不可思議な日本

収録2. 文珍さんの落語見聞録　「認知症の薬名前思い出せず」

【四季折々・From Kobe　9月】　夏から初秋へ 神戸季節の便り　　2023.9.10.　fkobeR0509.pdf

今頭にあること & 西神戸須磨近郊 季節の移ろい点描 2023.

酷暑と目まぐるしく変わる天候の中で お互い無理せず今を元気に

【収録 1】文珍さんの落語見聞録

盆の時期も終わりましたが、「お盆のナスに 似てきたなぁ」

【収録 2】今頭にある気にかかる事 先が見えぬ日本 日本は何処へむかうのか

■ 若者の時代と言えども忘れてはいませんか「爺さんの声・・・・」

神戸新聞コラム「正平調」9月10日「間を大切にしませんか」

■ 最近のインターネット・新聞より　気にかかる日本　日本は何処へ向かうのか・・・・

日本人は己の価値に全く気付いていない… 谷本 真由美著述家、元国連職員

■【HP前月8月の記事】より　コロナも収束して新しい時代に　日本の先行きは???

【四季折々・From Kobe　10月】　西神戸・東播磨の秋 神戸便 里の秋景色　　2023.10.10.　fkobeR0510.pdf

お彼岸が過ぎて 酷暑が収まり、空も山も街も 一機に秋の風

●西神戸・東播磨の里の秋景色点描　●今月の神戸新聞 「正平調」ほか

収録　1. NHK BS「小さな巨人 緒方貞子さん運命の分岐点」を聴取して

収録　2　桂文珍さんの落語的見聞録 「ソレ」で関西は盛り上がりまっせ

【四季折々・From Kobe　11月】　深まりゆく秋 コスモスの秋 点描 神戸便り　　2023.11.15.　fkobeR0511.pdf

■　日本シリーズ 阪神の優勝 おめでとう。歓喜がこだまする嬉しい関西の秋に

■　11月 深まりゆく秋 コスモスの秋 点描

■　今月の神戸新聞コラム 「正平調」 ほか 気になるニュースより

収録　1. 国際情勢は厳しい混乱の時代に　神戸新聞 朝刊コラム「正平調」 他

収録　2. 文珍さんの落語的見聞録 「時間をかける旅が一番リッチ」

収録　3. 日本シリーズによせて 関西決戦の日本シリーズに大盛り上がり　これぞ野球 関西人!!

【四季折々・From Kobe　12月】　師走の神戸便り　　2023.12.1.　fkobeR0512.pdf

忘れていたものを若者たちが教えてくれた「この厳しい時代を生きる知恵 生きる力」

今年の秋若者たちが見せてくれた躍動「一つになれば 奇跡は何度も起きる」

■ Merry Christmas! 2023 われら地球人 平和で穏やかな暮らしに思いをはせつつ

■ 師走の街 神戸 街には真っ赤な紅葉が残る中 あっというまに師走に

収録　1. 文珍さんの落語的見聞録「 キャッシュレスの「時うどん」は」

後戻りができなくなったデジタル時代 一番大切なのはルールと知恵かと

収録　2. 今月の神戸新聞コラム「正平調」ほか ニュースメモ ぶつぶつの言い残し

収録　3. 和鉄の道2023 年1 年を振り返って

fkobeR05nenga.pdf

From Kobe 2023【1】

令和５年 年賀　年の初めに　新しい目をもつ若者たちに期待一杯

昨年一年を　振り返りつつ

Mutsu Nakanishi

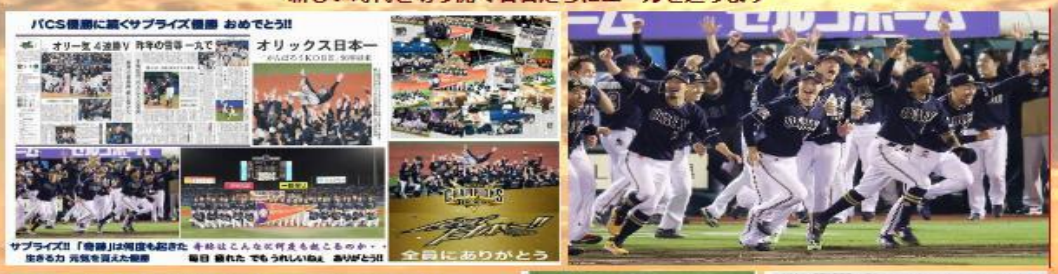
皆様にとって　平和で明るい笑顔の歳でありますよう
われら地球人　みんなに平和が満ち満ちますように
「NO WAR from Kobe」
一日も早く、ウクライナに平和な暮らしが取り戻せますように

スクラム組んで　コロナ収束まで　もうひとふんばり
みんなの 笑顔が取り戻せるよう

本年もよろしくお願いします
令和５年元旦
Mutsu Nakanishi From Kobe

和鉄の故郷　近江瀬田丘陵　源内峠製鉄遺跡 https://infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron03.pdf

この厳しい時代を生きる知恵　期待から確信へ
「あきらめない　一つになれば　奇跡は何度も起きる」
10・11・12月 本物の奇跡が３度もおき、日本を熱狂させた
新しい時代の始まりを告げるがごとく
プロ野球に椀シリーズでのオリックス & ワールドカップカタール世界大会で、
日本の若い選手たちが躍動 新しい時代の道を示すがごとくに!!
新しい時代を切り開く若者たちにエールを送ります



うそをつかない「科学の眼」　若者たちへのバトンタッチを日本は急がねば
若者たちが世界へ飛び出し、躍動したこの１２月
１０・11・12月　奇跡が３度も　目の前で起きた 気負わず
粘りぬく神髄を見たせてくれた年寄りも　みんながみんな　これぞこれからの生き方か……
自分流にいえば、知力の衰えを自覚し、臆せず自らの役割を見つけて、役割を果たそうと。
好奇心・気力・行動で　仲間と共にスクラム組んで

≪社会・経済・暮らしの再建 地球人として生きる社会再構築の大変革の時代の幕明け≫

鉄を含め、日本の主要産業・経済・暮らしの疲弊

先行き不安が漂い　日本が取り残されているとの思いが頭をよぎる

ポストコロナで迎える新時代　激変過酷な厳しい時代だと皆が言う。
「コロナ対策と経済・雇用の回復への暮らし・雇用・経済の復興」に並行して
もう待ったなし「人類の危機地球温暖化の歯止め止め　低炭素社会への大転換」
誰もが避けられぬ経験したことのない
「令和の産業革命　社会・経済の激烈な再編の時代」へのターニングポイント

コロナ禍の中　やっと収束の兆し　ポストコロナを見据えて　いろんな事がありました
「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」
- 小林喜光氏の指摘 に耳を傾けよう
地球人であることを思い知らされた激動の新時代　立ち止まってはいられない

https://infokkkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf　より

高齢化が急進と社会の疲弊が誰の目にも明らかになり、先行きが見えぬ不安感が募る厳しい年でした。

- 新型コロナの世界的大流行３年目　社会のほころびがここかしこ
- ロシアのウクライナ侵攻がもたらした戦争の悲惨さ　アニメの世界が今現実に
- 地球環境の変化 甚災害の深刻さと低炭素社会構築の取組
- 資源・食糧・エネルギーの自給できぬ日本の危うさが現実に
- そんな中で　日本の財政は大量の負債を抱える中で、急速な円安が進んで　物価高が忍び寄る
  かつてのごとく、円安の中で外国の買い手がある先端技術商品があればよいが今はもう・・・・・

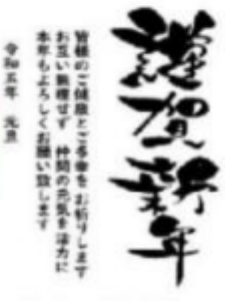
政治はいまだにうんざりする場当たり的な対応とバラまき政治。老獪・経験だけの仲間内。
本来ならば、根本的に事態を見据えた日本の城行対応が一数なのでしょうが、みんなみんな国民に放火無理。
社会全体の疲弊　そして世界が見えぬ・・・・・。
高齢者にとっては　厳しい一年。　危機がわが身に迫る厳しい時代　さきはどうなるのか　不安感が募る一年
今春　with コロナ　行動制限が解かれ　街には活気が・・・・・
でも　コロナも不安感一杯の再流行の兆し　もう年末には第７波を越える入院患者数に・・・・
日ごとに増える「重症・死亡者」にも「高齢者がほとんどである」とまた「自己責任」のほうかむり。
根本的な対応視点が見えぬ日本社会の疲弊　もう抜き差しならぬ時
若い人を待ち望む声が日増しに高まる一年でした。
みんな地球人「自分さえよければ・・・ではどうにもならぬ意識と覚悟」の新時代が目前に
Iron Road　世界と共に生きる時代の模索・取組推進の時代の幕開けを実感した 2022 年になりました
もう　愚痴は言うまい。　まだまだ　足は動くし、好奇心・気力は一杯　今を元気に　精一杯。
若い人たちへの期待と希望が膨らんだ年でもありました。
本年後半には　若者たちの強い意志の塊が多くの「奇跡の姿」を見せてくれた年でもありました。
「あきらめない　一つになれば　奇跡は何度も起きる」
「偶然ではない　奇跡の姿は　何度でも・・・」
もう　はっきりと期待が膨らむ「明日は若者の時代」と・・・・・・
かつて　「とにかく　やってみなはれ」と若者たちを後押ししてくれた時代のように…

もう自分の時代ではないと感じる歳になり、God be with You!! も口癖に
でもまだまだ　好奇心もあり　足も動く　一年　また一年　日々新らた
われらみんな　地球人　お互いに思いを寄せて
高齢で迎えるポストコロナ・変革の厳しい新時代を前向いて

頭は回らなくなってきましたが、まだまだ好奇心もあり、足も動く
God be With You　　本年もよろしくお願いします

令和５年元旦　　Mutsu Nakanishi　From Kobe

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/R05nenga.htm



日本の国造り　鉄の大量生産開始の新時代の幕開け
７世紀後半から８世紀　量産型古代製鉄炉を完成させ、
各地に大製鉄コンビナートを出現させた近江瀬田丘陵
近江瀬田丘陵　源内峠製鉄遺跡他の官営製鉄遺跡群
１５年ぶり １２月に大津市瀬田に源内峠製鉄遺跡を訪ねました

【和鉄の道・Iron Road 2007】

https://infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron03.pdf

皆様にとって　平和で明るい笑顔の歳でありますよう
われら地球人　みんなに平和が満ち満ちますように
「NO WAR　from Kobe」
一日も早く、ウクライナに平和な暮らしが
取り戻せますように
スクラム組んで　コロナ収束まで　もうひとふんばり
みんなの　笑顔が取り戻せるよう
本年もよろしくお願いします
令和5年元旦

ロシアのウクライナ侵攻が続く中で
ウクライナに思いを馳せて　Stop the War !!
ウクライナの平和への祈り
きれいな祈りの旋律が流れる美しいウクライナの街
理不尽にも次々と街が破壊され、多くの人の命が奪われてゆく
ウクライナの今に涙しています　Mutsu Nakanishi

この厳しい時代を生きる知恵　期待から確信へ
「あきらめない　一つになれば　奇跡は何度も起きる」
10・11・12月 本物の奇跡が３度もおき、日本を熱狂させた
新しい時代の始まりを告げるがごとく
プロ野球日本シリーズでのオリックス & ワールドカップカタール世界大会で、
日本の若い選手たちが躍動 新しい時代の道を示すがごとくに!!
新しい時代を切り開く若者たちにエールを送ります

うそをつかない「科学の眼」　若者たちへのバトンタッチを日本は急がねば
若者たちが世界へ飛び出し、躍動したこの１２月
１０・11・12月　奇跡が３度も　目の前で起きた 気負わず
粘りぬく神髄を見たせてくれた年寄りも　みんながみんな　これぞこれからの生き方か……
自分流にいえば、知力の衰えを自覚し、臆せず自らの役割を見つけて、役割を果たそうと。
好奇心・気力・行動で　仲間と共にスクラム組んで

◎嘘をつかない「科学の眼」を養おう

よく「真実は一つ」とよく言うが、その見え方は色々。だまし絵がそれだ。
いろいろに見える姿・形を見抜く眼。　それがうそをつかぬ「科学の眼」

政治家がよく使う手・即物的・スピードを良しとする近視眼的眼には
幾つもある「真実の姿」が映らない。
それを意図的に利用している節も垣間見える。

いま日本で一番不足しているのが、この「科学の眼」
日本は今　まさにこの科学の眼が試されている。

そんな折に サッカー日本チームの執念の技
１ミリの重なりを見抜いた科学の目の存在を大きく知らしめた。
日本の科学者たちも政治家の手法に取込まれず、もっと科学の目を養い、
声をあげねば。
科学の眼からすれば、真実は幾多の姿をして現れる。
奇跡は一回でなく、真実の姿もいくつもある。
オリジナルを見据える。先端を突き詰める。ルーツに遡る
そして総合・スクラム・　視点解析等々
科学の目を養う方法がいくつも試されて　勝ち得たサッカー日本チームの若者たち
ドーハでのうれしい体現に日本がわいた。
若者の時代到来と強く感じられた本年の年の暮れ。
嘘をつかない「科学の眼」若者たちへのバトンタッチを日本は急がねばと

2023年 年の初めに　２０２２年をふりかえりつつ

«社会・経済・暮らしの再建　地球人として生きる社会再構築の大変革の時代の幕明け»

鉄は勿論日本の主要産業・経済・暮らしの疲弊　日本が取り残されている・・・・

本年が希望に満ちた明るい平和な2023年になってほしいと願わずにはおられない。
政治はいまだにうんざりする場当たり的な対応とバラまき政治。老獪・経験だけの仲間政治。
本来ならば、国民の理解を得て 時代を見据えて 向き合う姿勢が必要なのに、美事麗句の言葉を並べて、みんなみんな
ほうかむり。社会全体の疲弊 そして世界が見えぬ・・・・・。 高齢者にとっては 先がどうなるのか不安感が募る
今は with コロナ 行動制限が解かれ街には活気が・・・・・　でも コロナも不安感一杯の再流行の兆し
日ごとに増える「重症・死亡者数」にも「高齢者がほとんど」とまた「自己責任」を振りかざしての切り捨ての政治。
日本社会の疲弊 若い人を待ち望む声が日増しに高まる一年でした。
でももう愚痴は言うまい。 まだまだ 足は動くし、好奇心・気力は一杯 今を元気に 精一杯。
若い人たちへの期待と希望が膨らんだ年でもありました。
みんな地球人「自分さえよければ・・・ではどうにもならぬ」新時代が目前に 世界と共に生きる時代の模索の幕開けを
実感した年でした。
本年後半には 若者たちの強い意志の塊が多くの「奇跡の姿」を見せてくれた年でもありました。
「あきらめない 一つになれば 奇跡は何度も起きる」「偶然ではない 奇跡の姿は何度でも・・・」
もう はっきりと期待が膨らむ「明日は若者の時代」だと・・・・・・
かつて「とにかく やってみなはれ」と 若者たちを後押ししてくれた時代のように
若者たちを応援したい。

穏やかな暮らしが実現できるよう　スクラム組んで 新しい時代へ　前向いて　第一歩
和鉄の道 HP　お付き合いありがとうございます。本年もよろしく

もう自分の時代ではないと感じる歳、God be with You!!　も口癖に
高齢で迎えるポストコロナ・変革の厳しい新時代を前向いて
みんなの力で取り戻そう　穏やかな日常を
まだまだ　好奇心もあり　足も動く　　一年　また一年　日々新らた
　お互い無理せず前向いて　今を元気に

FROM　KOBE Mutsu　Nakanishi　　2023 年　年の初め、思いつくままに

■　2022 年 和鉄の道・Iron Road　一年を振り返って

◎　和鉄の道・Iron Road 2022　掲載総括
https://infokkkna2.com/ironroad2/book2/2022allbookironroadtopics.pdf

「和鉄の道・Iron Road」：13 件	日本の鉄鋼が生きる道　脱炭素操業への大転換と国際子競争力回復へのアプローチ ポストコロナの大変革　各分野で待ったなしの低炭素社会構築の取組
「風来坊・Country Walk」：28 件	新型コロナ感染対応　自己行動規制中で見つけた神戸近郊　四季折々の美しさ
「四季折々 神戸便り　：11 件 ・From Kobe」	コロナ禍3年目　疲弊する日本社会に思いを寄せて　2022 老いをひしひしと感じる歳になりました

≪社会・経済・暮らしの再建　地球人として生きる社会再構築の大変革の時代の幕明け≫

鉄は勿論日本の主要産業・経済・暮らしの疲弊　日本が取り残されている・・・・

高齢化が急速進行する日本社会の疲弊が誰の目にも明らかに　危機がわが身に迫る厳しい時代に

- **新型コロナの世界的大流行３年目　社会のほころびがここかしこ**
- **ロシアのウクライナ侵攻がもたらした戦争の悲惨さ　アニメの世界が今現実に**
- **地球環境の変化 甚災害の深刻さと低炭素社会構築の取組**
- **資源・食糧・エネルギーの自給できぬ日本の危うさが現実に**

みんな地球人「自分さえよければ・・・ではどうにもならぬ意識と覚悟」の新時代が目前に

Iron Road　世界と共に生きる時代の模索・取組推進の時代の幕開けを実感した 2022 年になりました

◎　和鉄の道　日本の源流・製鉄遺跡探訪　2022 年１年を振り返って　トピックス
https://infokkkna2.com/ironroad2/book2/bookiron2022outline.pdf

◎　風来坊　Country Walk　神戸籠りの一年　2022 年１年を振り返って　トピックス
https://infokkkna2.com/ironroad2/book2/bookwalk2022outline.pdf

◎　四季折々・From Kobe　with コロナ激動の 2022 年１年を振り返って　トピックス
https://infokkkna2.com/ironroad2/book2/bookmutsu2022outline.pdf

From Kobe 2023【2】 【四季折々　From Kobe 】 fkobeR0502.pdf

２月如月 春の足音　神戸便り　2023.2.15.　Mutsu Nakanishi

収録　ふむ ふむ ふむ　思いつくまま　2023年2月　神戸新聞より

1. 神戸新聞　2023.2.11.朝刊　如月の随想　「遠野物語は懐かしく新しい」より
2. 神戸新聞　コラムにみる　　令和５年　ポストコロナの新しい時代の始まり
3. 文珍さんも落語的見聞録で・・・・　「SNS の陰に潜む鬼に用心」と　2023.2.9.

厳しい寒波にみまわれた１月の末　２月節分・立春を過ぎて　春の足音がすぐそこに
年の初めから ビックリするような出来事が次々と起こった　ポストコロナの新時代
世相は混沌　不安感一杯の混乱と革新　日本のみならず世界が混乱の渦の中
幸い　まだまだ予断は許さぬが、コロナは収束へ向かい始めているようだ
早く穏やかな暮らしに戻りたい　前向いてこの厳しい時代を乗り切ってゆかねばと。
三寒四温の春の足音　暖かい日差しにほっと一息　戸外に飛び出して
2023 年如月　Mutsu Nakanishi　From Kobe

本年になっても ロシアのウクライナ侵攻は終結せず、ますます拡大の道 山積する課題に右往左往する世界
一方、日本を取り巻く中国・北朝鮮の脅威も身近に・・・ 資源のない日本にとっては益々厳しい時代に。
この厳しいポストコロナの変革の時代に 高齢化・疲弊・格差が進む中 いまだに経験・頂点同調同質を求める日本社会の課題が山積み。資源のない日本で、ますます進む物価高 世界が見放したら・・・・・
飛び出す姿勢を無くしては 新しい時代を切り開けず。
苦難を切り開くエネルギーを持つ若者たちに期待一杯　元気に取り組む若者たちにエールを送ります

本年1月中旬から2月半ばにかけての世相に関する新聞スクラップを下記に示しましたが、本当にビックリするような事が次々と。ポスト新時代地球人としての生き方を求められる深刻な日本の課題が噴出していてる。

みんな地球人
「自分さえよければ・・・」ではどうにもならぬ。
「世界と共に生きる時代」に 経験・頂点同調を振りかざしても到底生き抜けぬ。
判っているけど、解はなし。
パンドラの箱を明けると見えてくる厳しい日本の実態

日本の疲弊と孤立 物価の上昇に追い打ちをかける雇用不安
朝令暮改 混迷を深める日本の仲間政治と孤立感 誰しも抱く明日は我が身の厳しい時代に・・・・
そんな風潮を冗長するかの如く 理不尽な日常の暮らしを奪う事件が次々と起る。

自分の事と捉えてくれぬ世間
「自己責任」の冷めたい声に目を奪われる。
「自分ならどうする???」と自問自答するが・・・・。
ホストコロナの新時代の始まり
みんな地球人「自分さえよければ・・・ではどうにもならぬ令和の新時代」この厳しい新時代の中で平和で穏やかな暮らしを
みんながみんな 早く取り戻せますように

ビックリするような事が次々と起こってきた世相
あなた任せにできない変革の新時代の到来です。
地球全体に吹きまくる厳しい嵐に
立ち位置しっかり 前向いて。
答えはないが、いつ わが身に・・・・・と。
そんなことも考えるこの春ですが、暖かい日差しのなかに 身を置いて 今を元気にと
大空見上げ ほっと一息 春の日差しを胸一杯前
三寒四温 春の足音 春はもう すぐそこに

◎ 神戸の歳時記 2月春の息吹 春の足音　春はもうすぐそこに

■ 寒波襲来 すっかり雪化粧した自宅周辺 須磨妙法寺若草の丘で　2023.1.25. 早朝

すっかり雪景色となった若草の街　　山の肩に陽が昇りはじめて、この雪景色も一時のものに
でも こんなにきれいに雪化粧した若草の丘もほんとうに久しぶり 風邪も吹っ飛んで 朝早く 戸外へ
でも 寒波襲来の豪雪に見舞われた方々にとっては 本当に厳しい雪景色。大変だったろうと。
また、厳しい寒さに耐えつつ ロシアと対峙しているウクライナの人たちにも早く平和な日常が訪れますように。
北風小僧 もうこれで 飛んでいけ!!　　何とかコロナもこのまま収まって 春を待ち焦がれます。
God be with You!!　2023.1.25.早朝 若草の丘で

■ 長田神社 節分追儺式と須磨離宮公園の蝋梅と梅　2023.2.3.

■ 青空に流れる雲 ぽかぽか陽気に 菜の花が咲き始めたコスモスの丘には家族ずれ　2023.2.13.

春はもう すぐそこに　　子供たちの明るい声が響く　　喜び一杯 運んで春よ来い
From Kobe　Mutsu Nakanishi

収録　From Kobe　*2月 ふむ ふむ ふむ*　神戸新聞コラム・文化面・科学面より

1．神戸新聞 2023.2.11.朝刊 如月の随想「遠野物語は懐かしく新しい」より
2．神戸新聞 コラムにみる　令和5年 ポストコロナの新しい時代の始まり
3．文珍さんも落語的見聞録で‥‥「SNS の陰に潜む鬼に用心」と 2023.2.9.

1．神戸新聞 2023.2.11.朝刊 如月の随想「遠野物語は懐かしく新しい」より

久し振りに赤坂憲雄先生の随想記事に接した。かつて縄文三内丸山遺跡で何度かご一緒したことがある。
いつも静かな語り口で、深く物事を眺める眼差し。縄文遺跡の展示を前に
「この巨木がここまで どんな方法で運ばれてきたのか… 村の人たちは‥‥」と考えておられたのを思い出す。
「東北学」そして 関東大震災からの東北復興にも、経済優先の世相の中で 東北の人たちの暮らしに寄り添った提言・評論記事をも。
今回の記事「遠野物語」の奥底に流れる今を生きる日本へのまなざし。しっかりと。
神戸新聞にぶれることなく現場主義を貫き、評論を掲載されてきた内橋克人氏がなくなられ、その鋭い指摘を目にすることがなくなって、寂しくなった昨今 赤坂先生の「遠野物語」の随想のまなざし 心に響きました。
ポストコロナの新時代 数々の情報がまき散らされる時代に「ぬるま湯の心地よさ」ばかりに浸っていてはならぬと。
また、厳しい世相の中 新聞コラムにはっと気が付く事多しです。

文化

神戸新聞朝刊
2023.2.11.

あかさか・のりお　1953年東京都生まれ。学習院大教授。元遠野文化研究センター所長。著書に「排除の現象学」「増補版 遠野／物語考」「性食考」など。

絵・王培

如月の随想

たとえば、吉本隆明の「共同幻想論」を抜きにして、はたして「遠野物語」との出会いはありえたか。そう問いかけてみる。「共同幻想論」の難解さにつまずきながら、そのトラウマゆえに、わたしは若い頃から、「遠野物語」を飽かず繰り返し読んできた。

遠野物語は懐かしく新しい

赤坂憲雄

その舞台である遠野という土地もまた、幾度訪ねたか知れない。最近になって、ようやく「共同幻想論」の呪縛が解けて、「遠野物語」を無心に読めるようになったなどと言えば、笑われるだろうか。

昨年は、大学の講義のテキストに「遠野物語」を選んだ。コロナ禍ゆえにオンライン授業であったが、そこに収められた119話の短い物語を丁寧に読み通す、得がたい機会になった。

若い世代の人たちは、「遠野物語」をどのように読むのか。明治末年に、たった350部の自費出版の形で刊行された「遠野物語」は、もはや古典として読まれる運命にあるが、現代にまで地続きでつながっているところが確かにある。その怪異譚には今も、若者たちの魂を揺さぶる力がはらまれているようだ。

以前に、アラスカ大学の先生から、こんな話を聞いたことがある。英訳版を授業で読ませているが、学生たちの感想のなかに、二つの言葉が頻出する、という。それが「不思議だ」と「懐かしい」という言葉であると知って、驚きに打たれた。「不思議だ」はわかるが、「懐かしい」とはどういうことか。

「遠野物語」はやがて、世界文学として読まれる時代が訪れるのかもしれない、と思った瞬間でもあった。ローカルなみちのくの泥にまみれた、100年前の物語の群れが、現代の日本を生きる若者たちに、また遠い異国の若者たちに受容される姿は、いかにも示唆的なのである。

しかも、「原本 遠野物語」（岩波書店）の刊行によって、「遠野物語」の誕生のプロセスを具体的に跡づけることが可能になった。柳田国男の毛筆の初稿からペン書き原稿、さらに赤字入りの入稿ゲラ、初版本へと、「遠野物語」は生成を遂げていった。それが手に取るようにわかる。語りと文字テクストの関わりをほどくための手がかりが詰まっている。

研究の深まりはこれからだが、「遠野物語」はやがて、稀有なるテクストとして再発見されるにちがいない。そのとき、多言語に翻訳された「遠野物語」は、「懐かしい」世界文学として、新たな命を吹き込まれるはずだ。

（民俗学者）

2．神戸新聞 コラムにみる 新しい時代の始まり

混乱と革新の未来不安の門出　人任せにできぬ先行き不安の道 風潮に流されず、考えよう

◎「絆」言葉遊びにならぬよう 社会の安全網・セーフティーネット　1.17.が過ぎて寒い集合住宅火災に 2023.1.23.

中央が地域の暮らしを破壊したと 世界が奇異の眼で見ている日本 頂点同調 何も決めない日本

正平調

〈炬燵（こたつ）の間母中心に父もあり〉（星野立子）。家事が一段落し、こたつに入って一息つく母親の周りに子どもが集まる。いつもは怖い父親もそこに交じっている。家族の光景が思い浮かぶ句◆人が集まれば、語らいが生まれる。家族だけでなく、学校の友達、職場の仲間やご近所さん。愚痴をこぼし合ったり、夢を描いたり。この人たちはどんな人生を歩み、どんな話を語らってきたのだろう◆そんなことを思いながら、きのう朝刊の記事を読んだ。神戸市兵庫区の集合住宅で火災が起き、4人が命を落とした。重体に陥っている住人も。いずれも1人暮らしの男性とされる◆集合住宅は高齢になったり体を壊したりして収入が途絶え、生活に困窮した人たちの頼みの綱となっていた。保証人や入居の審査は必要なく、生活保護を受けて一息つくことができる。そんな場所◆狭いながらも足を伸ばして眠ることができ、管理人さんが通院に付き添ってくれる。ヘルパーさんの介助も受けられる。人と縁、支援がつながり、やっとの思いで手にした暮らし。それを未明の炎がのみ込んだ◆今、このときも焼け出された住人を受け入れる人、受け皿住宅を探して奔走する人がいる。それだけでいいのか。太い綱を束ねた、社会の安全網がいる。 2023.1.24

◎「福は内 鬼も内」 内に招いた鬼が笑う家には災難が寄り付かなさそうだと　2023.2.3. 節分

正平調

1月の寒の入りからほぼ1カ月が過ぎた。今季最強の寒波到来で雪が舞う日、口を突いて出たのが、これ。〽おおさむこさむ、山から小僧が飛んで来た―。北風に向かい歌っていると、懐かしいやらおかしいやら、体も温まったような気がした◆今日は節分、暦の上では冬の最後の日となる。この先1週間の予報を見ると、各地で平年より気温が高い日がちらほら。近所の公園の紅梅もほころぶ頃だ◆節分といえば仏教の寺では、豆まきで「福は内、鬼も内」と発するところが多い。「幸福と不幸、福と鬼は一体のもの。内なる鬼を知ることで福のありがたみも分かる」という住職の話を拝聴したことがある◆鬼の話で思い出すのは童話の「泣いた赤鬼」。人間と仲良くなりたい赤鬼のため悪役を演じた友達の青鬼は、一緒にいれば芝居がばれると姿を消してしまう。赤鬼に「ドコマデモ　キミノ　友ダチ」と書き置いて。涙腺がゆるんで、思わず「鬼も内」◆姫路の書写山円教寺や神戸の長田神社では鬼は仏の化身や神の使いで安寧をもたらす。笑う門には福来たるというが、来年のことを言うと鬼が笑う。内に招いた鬼が一緒に笑う家には厄災が寄りつかなさそう◆豆にイワシ、恵方巻き、縁起もかついで春へ。ぐっと踏み出したい。 2023.2.3

◎ 驚愕の「闇バイト」犯罪　何でもかんでも情報万能の世相　「バイト」ほかネットには闇が横行

人類が生き抜くことができたツール「表情」・「なまの声」 それを捨てては生きられぬ

正平調

松本清張さんの「黒革の手帖」は、黒い手帳が物語の幕を開ける。そこには、架空名義で脱税する者たちの名前が書きこまれていた。銀行員だった主人公はそれを手に危うい道を歩く◆手帳を脅しに大金を得て、銀座で開いたバーの名は「カルネ」。フランス語で「手帳」を意味する。「変わった名だな」と人は言う。しかし主人公が華やかな場をやっとつかめたのは、この手帳があったから◆日本の各地で凶悪な強盗事件が相次いだ。その犯行をフィリピンから指示したとされる男たちが、捜査の網にからめとられていく。犯罪には時代のにおいがするものだが、前代未聞のこの事件が漂わせるものは？◆押収された携帯電話に注目する。主犯格とみられる男たちの携帯である。まるで「黒革の手帖」のように、表には出せない情報が詰まっていることだろう。解析は大変な作業のようだが、解き明かしてほしい◆現代版の「黒革の手帖」にはやりきれなさも詰まる。実行犯たちは交流サイトの「闇バイト」に吸い寄せられたようだ。大金を奪い、人の命までも軽々しく扱う犯罪がバイト？　事件の背景にある世相が気になる◆清張さんの小説は、主人公の悲鳴で終わる。こちらはどんな結末が待つか。異様な犯罪の真相を見つめよう。 2023.2.9

◎ 必要悪？　違うでしょ システムを替えねば・・・・益々問題は拡大やとフムフムフム

正平調

かつて関西の談合組織を支配し、業界で「ドン」「天皇」と呼ばれた人がいる。2004年に81歳で亡くなった平島栄さんだ。本紙のインタビューで、その〝哲学〟を語ったことがある◆「談合というから世間に本質を理解してもらえない。私はあくまで『調整』をしてきただけだ」。では、正当化できる理由とは。1、日本には元来、共存共栄の思想がある。2、発注者が決める予定価格は超えないから、価格の不当な引き上げではない◆そして3。裾野の広い建設業界で働く人の暮らしを守り、失業者の受け皿にもなってきた。そう語る表情は真剣そのものだったという。共感した人はどれぐらいいるか◆先日、4人が逮捕された五輪談合でも「必要悪」という言葉が広告業界から聞こえる。いわく「ノウハウのない会社に運営は無理」「受注調整は必然的で現実的だ」と◆平島さんの主張を、当時の公正取引委員会委員長だった故・根来泰周さんは明快に否定した。「談合は一部のものが利益を得るシステム。自由な経済社会への挑戦だ」◆もう20年も前の話である。正論は建前のままらしい。東京地検特捜部のメスは〝広告ムラ〟の深部を刺した。共存共栄と業界の利権はコインの裏表でもある。患部に広がる膿はどれほどか。

2023・2・11

3. 文珍さんも落語的見聞録で・・・・「SNS の陰に潜む鬼に用心」と 2023.2.9.

落語的見聞録

SNSの陰 潜む鬼に用心

1月の末はえらい久しぶりの大雪で、兵庫県・篠山の実家は雪まみれ、新雪の中、足跡がボソボソと残っている。誰が来たのかなと思ったが、郵便受けのところまで行き、戻っている。ああ、寒い中、配達していただいた。感謝感謝。

そして節分。毎年わが家はヒイラギの枝にイワシの頭をつけ、豆まきをする。鬼の役はジャンケンで決めるのだが、去年も今年も私メが鬼役となった。「鬼は外、福は内」と豆を投げられた後は、年の数だけ豆を食べねば、と。しかし、この年齢ともなると無理。恵方は今年、南南東。黙って巻き寿司を食べねばと思っても喉に詰まりそうで「お、お茶！」。家人が「しゃべったらアカン！」と、自分もしゃべっている。アハハと笑って節分が終わった。

昨今、鬼は外国から交流サイト（SNS）で指令を送り下さい」「いやいや鬼はし、広域強盗事件や特殊詐欺、福は内」と、まことに散事件を起こすらしい。そかわいい噺だ。の指令も時間が経つと消えるという。まるで映画「ミッションション・インポッシブル」のようだ。闇バイトでり積もっても足跡さえない100万円が手に入るなどい。スマホは便利だが悪事にも使われる。インターネット社会、同じネットでもない者同士が集められ、犯行に及ぶのだからたまったものでない。世の中、そんな甘い話があるわけが無い。

落語「福は内」では京都室町の呉服屋の一人娘お福が風邪をこじらせ、帰らぬ人となる。地獄の庁に引き出され、エンマ大王に調べられる。「父の名は？」「おりのすけ」「母は？」「もめんと申します」「なるほど、呉服商であるな。さて見る目、かぐ鼻、この娘は何か悪事をしておるか」「ハッハーッ、シャバで蚊やノミを殺し、うなぎ屋の前を通った時、無断にて匂いを嗅いでおりました」「ナニ!?　そのような悪事を？　ええい、地獄行きじゃ！」と石鹸な判決。

これを聞いていた青鬼が気の毒と同情、娘と一緒に池に飛び込み心中。あの世で心中してシャバへ生き返った。娘が生き返ったので家中大喜び、青鬼のおかげで助かった、父母がお礼を言わねばと青鬼を捜すと、庭の松の木の下にいた。

「どうぞ家（内）へお入り下さい」「いやいや鬼はし、福は内」と、まことに

最近の鬼は松の木の陰でション・インポッシブている。どんなドカ雪が降った、鬼が生き返ったので家中大喜び、青鬼のおかげで助かった、父母がお礼を言わねばと青鬼を捜すと、庭の松の木の下にいた。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は3月9日＝

【四季折々　From Kobe 】　　fkobeR0503.pdf

弥生 ３月　春の訪れ 神戸便り　　2023.3.10.　Mutsu Nakanishi

コロナもインフルも収束へ　期待一杯の春　穏やかな暮らしが取り戻せますよう 期待一杯の春です

収録.　ふむふむふむ　2023年３月　神戸新聞より

収録１.　神戸にうれしい春が来た!!　いかなご新子漁解禁　2023.3.4.
収録２.　コラム「正平調」より　３月心に響いた言葉
収録３.　文珍さんの落語見聞録「戦争なんて『もうケッコー』」

弥生3月　コロナも何とか収束へ　嬉しい春の訪れ
西神戸に春を告げるいかなご新子漁も3月4日に解禁　もう高級魚並みですが、ちょっぴり春を味わいました
街には明るさを取り戻し、我が家では家内がいただいた折紙人形の雛飾り
庭も春の草花が一杯の花盛り　メジロが花をついばんでいます
梅便りや菜の花畑の便り　街角ほのかに梅の香り　新生の息吹に満ちた　春3月　元気出して　頑張ろう…と
久し振り　家籠りを脱して、原チャリで駆けて梅見にもでかけました
神戸に春到来!!　嬉しい春の訪れ
まだ予断は許せない厳しい世相　政治は混沌　先の見えないポストコロナの時代
でも　もう愚痴は言うまい。まだまだ　足は動くし、好奇心・気力はある
今を元気に精一杯
老いゆく身には厳しい時代ですが、パッと明るい神戸の春をとどけます。

2023.弥生３月　FROM　KOBE Mutsu　Nakanish

■　満開になった菜の花畑　総合運動公園コスモスの丘で

■妙法寺車の里の田園地 & 風早乗越の春

ぽかぽか陽気に誘われて　原チャリ出かけて神出の里　雌岡梅林の梅見に・…　　2023.3.6.

雌岡山山頂　神出神社の展望台から霞む西神戸のニュータウンを前に　須磨沿岸から明石海峡を臨む　2023.3.6.

西神戸神出の里　満開の雌岡山東側斜面に広がる梅林の中に身を置いて　春景色を楽しむ　2023.3.6.

神戸新聞NEXT　2023.3.7. & 3.9.　神戸新聞 正平調より

取り残された人々の「つぶやき」を聞く力

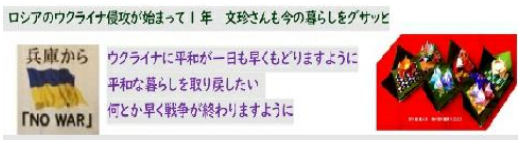
正平調

「足湯ボランティア」が生まれたのは、阪神・淡路大震災の避難所だった。家族や家を失った人が温かいお湯に足を浸す。ボランティアがもみほぐしながら話を聞く。漏れたつぶやきのなかに、支援のヒントがたくさん潜んでいた◆トルコ・シリア大地震の被災地で発せられた「つぶやき」を先日、伝え聞いた。現地で活動した神戸市の非政府組織「CODE（コード）」の緊急報告会でのことだ。がれきのそばでたき火を囲み、トルコの甘い紅茶で体を温めながら集めた言葉という◆日本に期待することはありますか？　スタッフの吉椿雅道（よしつばきまさみち）さんが聞くと、パン職人の男性は「いや、何も期待してないよ」と返した。このつぶやきから何をくみ取るか◆つらい日々の中で結束しているトルコ人は自分たちでやりたいという気持ちが強い―と吉椿さんはみる。だからこそ主体性と自負を尊重し、「トルコの『支え合い』を支えるのが僕たちの役目」と感じたそうだ◆強権的とされる大統領のもとで復興が進む。「全てを重地にし、新しい町を作る」と話す郡知事もいたという。取り残された人々の「つぶやき」を聞く力が、きっと必要になる◆時間がたてば関心が薄れる。そのつらさを知る私たちには、支援を継続する力も問われている。　2023.3.8

今日の「正平調」　政治家・日本の指導者たちに読ませたいなぁ・・・・・・。
先が見えぬ日本の現状　誰の眼にも「日本の疲弊」がはっきりと
今また 高校・大学生の奨学金問題が取り上げられている。もう何度も・・・でも政治は動かない。
「非正規」「奨学金」問題で苦しむ若者たちや生活困窮世帯そして少子化等々。問題は数知れず。
大学生４年間の給付額　振り返れば数百万円　塵も積もれば山となる。厳しい返済の現実。
苦しい日常の今　どこからもそんな大金は出てこない。今の政治家たちにそんな認識あるのだろうか・・・・
一方　大企業には手厚い補助金・雇用調整金・脱炭素そして電気自動車等々。いずれもすごい金が動いている
また、オリンピックやワクチン接種の丸投げ数次下請け等々も。誰の眼にも犯罪行為。でも大物は・・・
年代層に限っての奨学金返済令免除の徳政令を出したって、
大企業に出している給付金と比べれば、その総額は小さい。でも どれだけ社会に活気を与えることか・・
救える人の数が政治家には見えない。あなた任せのご都合強弁はもう聞き飽き。今の政治に先はなし。
今日もまた政治家たちの自己責任・強弁がマスコミ上をにぎわしている。…
もう一度輝きを取り戻そう「日本」年老いた老獪連の「トリクルダウンの強弁と仲間だのみ」を排さねば。
自分がいなければ…の時代はもう　遠く過ぎ去った過去。
今必要なのは厳しい現実に立ち向かう行動の時代へ　人々の「つぶやき」にも耳を貸そう
そんな新しい若者変革の時代であってほしいなぁ・・・・と。
2023.3.8.　Mutsu Nakanishi　From Kobe

仲間から、鶯が近くで鳴き始めたとの便りが届きました。
嬉しい便り ありがとうございます。
我が家の庭にも メジロが頻繁に来るようになりました。
相も変わらずですが、頭まわらずで、
Photo Album 的な構成になってしまいました。
弥生3月 神戸の春の明るい便りが伝わればありがたいです。
やっとコロナも 峠を越えて、
少人数ながら 仲間と出会えるようになって 嬉しい限り。
でも 高齢 無理は禁物と自制しつつ。お許しください。
このままあかるい春になるよう 期待一杯です。

この3月は卒業シーズン 新しい道へ踏み出す若者たちへ
どうか思い切り 羽ばたいてとエールを送ります。
我が家の孫たちも元気にすくすくと
それぞれの道をまっしぐら。　ありがとうございます。



2023年弥生 3月 うれしい春の訪れ
「自分の身は自分で守る」の心意気 でも ひとりじゃない
時には声を上げて 一人で がんばらないで!!
互いに連絡とりあって　笑顔で 毎日を　穏やかな暮らしが取り戻せますよう 期待一杯の春です
God Be With You!!
2023.3.15.　Mutsu Nakanishi

弥生３月　神戸にうれしい春が来た!!　梅や菜の花の香りに誘われて　野鳥たちもやってきた

収録１.　神戸にうれしい春が来た!!　いかなごの新子漁解禁
収録２.　収録２.　神戸新聞　コラム「正平調」より　３月　心に響いた言葉
　　取り残された人々の「つぶやき」を聞く力
収録３.　桂文珍さんの落語的見聞録「戦争なんて『もうケッコー!』」神戸新聞３月９日朝刊より
私たちの生活にも影響がひたひたとしのびよる 戦争なんて「もう ケッコー!」
ロシアのウクライナ侵攻が始まって１年　文珍さんも今の暮らしをグサッと

ウクライナに平和が一日も早くもどりますように
平和な暮らしを取り戻したい
何とか早く戦争が終わりますように

収録１.　神戸にうれしい春が来た!!　いかなごの新子漁解禁

神戸に うれしい春が来た!!

イカナゴのシンコ漁解禁
県内の漁獲量は前年比2割減に
くぎ煮作りへ「何とか届けたい」

次々と水揚げされるイカナゴのシンコ＝４日午前、姫路市白浜町、妻鹿漁港

瀬戸内に春を告げるイカナゴのシンコ（稚魚）漁が４日、大阪湾と播磨灘で解禁された。
兵庫県水産技術センター（明石市）が７年連続の不漁予報を出す中、県漁業協同組合連合会によると県内の漁獲量は前年解禁日の約８割にとどまり、一部の漁港では過去最高値を付けた籠もあったという。

夜明け前、坊勢漁協（姫路市）の約１８０隻が出漁し、漁師らは日の出を待って網を投入した。
午前８時過ぎに続々と妻鹿漁港に入ると、漁協職員らが満杯の籠を慌ただしく運び出し、仲買人が目利きを始めた。

今日は神戸はイカナゴ解禁！いかなご新子の釜揚げで一杯が楽しみ
外出中に家内からLINEメール
「イカナゴ　目が飛び出ました
　予約店が一番安くて、1キロ　3750円。2キロ注文でよかった。
　Sさんに会いましたが、4キロ‼すごいなぁ！」と
いかなごも今や高級魚　もう手が届かない。
でも　今年もなんとかロに・・・

「今夜はシンコで一杯」と楽しみに帰宅しましたが、
　釘煮のにおいぷんぷん。でも釜揚げはなし！
家内曰く
「高くて 孫にくぎ煮炊くことで 頭一杯で、あんたまでまわらずと」。
でも　久し振りに家内と今日の「いかなご争奪戦?」の話など
聞きながら楽しく一杯。
なにはともあれ、神戸に うれしい春が来た!!

2023.3.4.夕　From Kobe　Mutsu Nakanishi

ことしも不漁　もう手が出ない高値で、孫たちに送る分からちっとおすそ分け。
残念ながら大阪湾沿岸のいかなご新子漁は数日で打ち切りに。
でも，希望はある。極端な水質浄化を戻せば何とかなると・…
海も山も川も生きている 地球連環の大切さ　来年はいかなご　戻ってくるかなぁ……

収録２.　神戸新聞　コラム「正平調」より　３月　心に響いた言葉

この春と共に　やっとコロナが収束へ　街も人も活動を記事めた嬉しい春。
でも　政治は一向に先をみない付け焼刃…　心配な春です。　でも愚痴は言うまい　前向いて

神戸新聞NEXT　2023.3.7. & 3.9.　神戸新聞 正平調より

取り残された人々の「つぶやき」を聞く力

正平調

「足湯ボランティア」が生まれたのは、阪神・淡路大震災の避難所だった。家族や家を失った人が温かいお湯に足を浸す。ボランティアがもみほぐしながら話を聞く。漏れたつぶやきのなかに、支援のヒントがたくさん潜んでいた◆トルコ・シリア大地震の被災地で発せられた「つぶやき」を先日、伝え聞いた。現地で活動した神戸市の非政府組織「CODE（コード）」の緊急報告会でのことだ。がれきのそばでたき火を囲み、トルコの甘い紅茶で体を温めながら集めた言葉という◆日本に期待することはありますか？　スタッフの吉椿雅道さんが聞くと、パン職人の男性は「いや、何も期待してないよ」と返した。このつぶやきから何をくみ取るか◆つらい日々の中で結束しているトルコ人は自分たちでやりたいという気持ちが強いと吉椿さんはみる。だからこそ主体性と自負を尊重し、「トルコの『支え合い』を支えるのが僕たちの役目」と感じたそうだ◆強権的とされる大統領のもとで復興が進む。「全てを更地にし、新しい町を作る」と話す郡知事もいたという。取り残された人々の「つぶやき」を聞く力が、きっと必要になる◆時間がたてば関心が薄れる。そのつらさを知る私たちには、支援を継続する力も問われている。　2023.3.8

今日の「正平調」　政治家・日本の指導者たちに読ませたいなぁ・・・・・・。
　先が見えぬ日本の現状　誰の眼にも「日本の疲弊」がはっきりと
　今また 高校・大学生の奨学金問題が取り上げられている。もう何度も・・・でも政治は動かない。
「非正規」「奨学金」問題で苦しむ若者たちや生活困窮世帯そして少子化等々。問題は数知れず。
大学生４年間の給付額　振り返れば数百万円　塵も積もれば山となる。厳しい返済の現実。
苦しい日常の今　どこからもそんな大金は出てこない。今の政治家たちにそんな認識あるのだろうか・・・・
一方　大企業には手厚い補助金・雇用調整金・脱炭素そして電気自動車等々。いずれもすごい金が動いている
また、オリンピックやワクチン接種の丸投げ数次下請け等々も。誰の眼にも犯罪行為。でも大物は・・・
年代層に限っての奨学金返済令免除の徳政令を出したって、
大企業に出している給付金と比べれば、その総額は小さい。でも どれだけ社会に活気を与えることか・・
救える人の数が政治家には見えない。あなた任せのご都合強弁はもう聞き飽き。今の政治に先はなし。
今日もまた政治家たちの自己責任・強弁がマスコミ上をにぎわしている。…
もう一度輝きを取り戻そう「日本」年老いた老獪連の「トリクルダウンの強弁と仲間だのみ」を排さねば。
自分がいなければ…の時代はもう　遠く過ぎ去った過去。
今必要なのは厳しい現実に立ち向かう行動の時代へ　人々の「つぶやき」にも耳を貸そう
そんな新しい若者変革の時代であってほしいなぁ・・・・と。　　。
2023.3.8.　Mutsu Nakanishi　From Kobe

「国民が政治を嘲笑している間は、嘲笑に値する政治しか行われない -松下幸之助-」　2023.3.9.

正平調

一代で松下電器（現パナソニック）を築いた経営者、松下幸之助さんは政治家の育成に力を注いだ。PHP研究所を設立し、倫理教育への提言も続けた。残した言葉がある。「国民が政治を嘲笑している間は、嘲笑に値する政治しか行われない」◆その結果、生まれた政治家なのではないか。昨年7月の参院選で初当選しながら、一度も登院せずに欠席を続けているNHK党のガーシー議員である。28万票余りを集め、比例候補者の個人得票数で10位だった◆自著によると、若い頃から芸能人との交友が広く「芸能界の裏側」を暴露するユーチューバーとして人気を集めた。主な公約は「さらなる暴露で芸能界の闇を晴らす」。1票を投じた人は何かを期待したのだろう。根っこに政治への嘲笑が見え隠れする◆著名人への脅迫などの容疑で警視庁から事情聴取を要請されているガーシー議員は、きのう予定された「議場での陳謝」も拒んだ。予想通りとはいえ、むなしさが募る◆NHK党の党首は辞任し、党名を「政治家女子48党」に変更するという。次々に目先を転じ、新たな関心を呼び込む。失敗をうやむやにする。嘲笑政治、ここに極まる◆嘲笑とはあざけり笑うこと。社会の成長を信じた松下さんが最も嫌った人の心だろう。　2023.3.9

一昨日の神戸新聞「正平調」に続き、今日の「正平調」も　頭にすっと入ってくる。

老齢化日本　疲弊化する日本　先が見えぬ厳しい日本にあって、混迷・迷走する日本の政治
もう眺めているだけではどうにもならぬ。
頂点同調の仲間政治ではますます疲弊。
若者の時代であっても、年寄りの役割りと生きがいを見つけよう
誰がやっても同じとあきらめず、この時代をしっかり考えよう
2023.3.9.　From Kobe Mutsu Nakanishi

収録３　桂文珍さんの落語的見聞録　神戸新聞３月９日朝刊より

「戦争なんて『もうケッコー！』」

ロシアのウクライナ侵攻が始まって１年　文珍さんも今の暮らしをグサッと
私たちの生活にも影響がひたひたとしのびよる 戦争なんて「もう ケッコー！」

ウクライナに平和が一日も早くもどりますように
平和な暮らしを取り戻したい
何とか早く戦争が終わりますように

神戸新聞
2023年（令和5年）3月9日 木曜日

文化

落語的見聞録

桂文珍

戦争なんて「もうケッコー！」

卵の値が高い。ロシアのウクライナ侵攻でエサの穀物の値が上がったり、鳥インフルエンザでニワトリを殺処分したりした影響なんだそうな。

先日、実家で自分で料理するため1パック卵を買い冷蔵庫に入れたとたん、隣から「やっとうちのニワトリが卵を産むようになったんです」と、たくさん頂いた。聞けばヒヨコから育てて大きくなった地鶏の卵、走り回って大きくなっただけあり、うまかった。

最近の若者には「ジドリ」はスマホで自撮りすることのようだが、昭和の私は昔、病気見舞いにモミガラ入りの箱に卵を入れて持って行った記憶がよみがえる。我が家も実際、ニワトリを飼っていて、学校から帰ると、学童保育も何も無い時代、のどかな田舎、親は野良仕事に。留守番をしながらオヤツが無いので成長盛りだった小学生の私メはニワトリが卵を産むのを待っていた。そして産みたての生温かい卵をコツン！と割って、チューウと飲んだ。そしてカラを地中に埋めた。何個食べたことか。

そんな日々が続き、村祭りの、いわばハレの日に父親が「今日は祭りやし、このニワトリ、卵をちっとも産まんから料理してしまおう」。エーッ！　いっぱい産んでいるのに…どうしよう…。ニワトリさん、ごめんなさい！　そのニワトリはトリナベになっていた。

申し訳ないと食べずにいたらおなかがグー。「早よう食べや」と言われ食べるとうまい！　あー何ということか…と思ったのは一瞬、2杯目をおかわりしていた。そんな自分がオカシかった。ニワトリ見ると今も思い出す。

落語「法華坊主」では法華寺の若い坊主が後家といい仲になり、毎晩後家の家へ。明け方近く、帰ろうとすると後家の飼うニワトリが「コケコッコー」。だが若い坊主には「ホッケホーズー」と聞こえた。「修行の身でありながらこのような関係をニワトリにまでいましめられた。もうこの家には来ないこととする」と、後家が止めるのも聞かず帰ってしまった。後家は、このニワトリさえ鳴かなければと、ニワトリを追いかけると「コッコッゴケ（後家）コワー！」。まるでタモリ倶楽部の「空耳アワー」のように聞こえたそうな。

卵にまでウクライナ侵攻や鳥インフルエンザが影響するなんて「東天紅」「コッカズーズルズー」。いやはや戦いなんて「もうケッコー！」

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は4月20日＝

From Kobe 2023【4】　【 2023　4月 】　**令和５年桜満開の４月　神戸桜の便り**

コロナもやっと収束へ　マスク外して　笑顔が見える
四月の風と共に桜が咲いて、野山は一気に芽吹き、新生の息吹を胸一杯
ポストコロナ新時代　若者も高齢者も　みんなみんな　日々新らた

収録【スライド動画】神戸の春 2023 ミツバ ツツジの散歩道　横尾道/須磨 鉄拐山/旗振山の散策路

日に日に老いゆく身には　厳しい時代ですが、　やっとコロナも峠を越して　うれしい春に
とにもかくにも　少しでも歩いて　外の空気を吸うのが一番と聞く
うれしい春　近くの毎日 walk　元気に励んでいます
God be with You!!　お互い無理せず今を笑顔で

我が家の庭も春一色に　ツタンカーメンの豆の花も咲きだして　春爛漫

2023.4.1.　Mutsu Nakanishi　From Kobe

2023.4.9. Happy Easter 2023　に寄せて

地球人　みんなみんなに穏やかな暮らしが訪れますよう

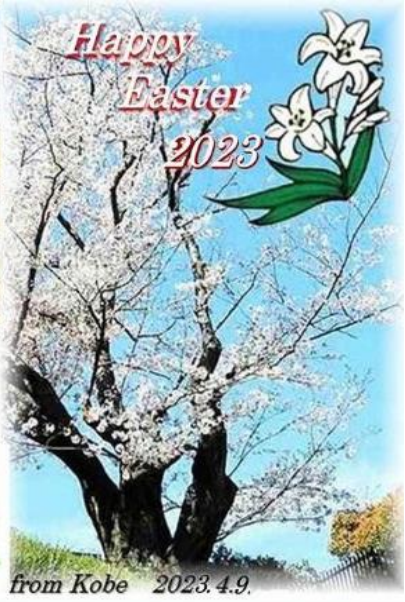
困難の中にいる人を忘れない!!

本年のイースターカードをお届けします。

今一番頭にあるのはウクライナの事 ポストコロナの生きる道
そして激変する地球環境にも。
一日も早くウクライナに平和を・そして 穏やかな暮らしが取り戻せますように
われら地球人 もう一人よがり、自分さえよければでは生きられぬ
人類が過酷な状況を生き延びてきた知恵が今試されている。
いまこそ スクラム組んで前向いて
一日もはやく 世界で笑顔が取り戻せますように‥‥

困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た　今できることを精一杯
無理せずゆっくりと
いつも　思いをはせています。
「忘れまい　忘れないで　仲間がいる
　暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」 .
変えられないものを
　受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
　ニーバーの祈りより .

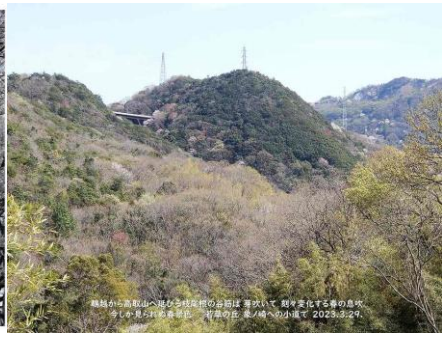


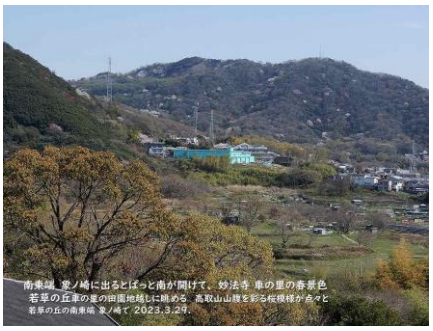
https://www.youtube.com/watch?v=eqLcQJlt-Bk

街の桜が美しい４月は新年度　新生の息吹を胸一杯
ポストコロナの厳しい時代の新しい門出
老いも若きも　みんなスイッチ on
スクラム組んで　笑顔で前向いて
人任せでは立ち行かぬ厳しい日本の行く末
厳しい時代ですが、
変革の担い手は若者の手で!!
元気に思い切りはばたけ!!とエールを送る

この春と共にやっとコロナが収束へ　街も人も活動を記事めた嬉しい春。
でも政治は一向に先をみない付け焼刃…　愚痴は言うまい　前向いて
たとえ一握りの人々の「つぶやき」であっても耳を貸そう
そんな新しい若者変革の時代であってほしいなぁ‥‥。
頂点同調の仲間政治で益々疲弊する日本　眺めるだけではどうにもならぬ
誰がやっても同じとあきらめず、この時代をしっかり考えよう。

2023.4.9. イースター　From Kobe Mutsu Nakanishi





コロナが収まり　桜も咲いて、周囲の野山は新生の息吹に満つ４月
街にも活気　マスクをはずして飛び出した笑顔　心地よい空気を胸一杯
元気いっぱい　新しい空気を吹き込もう　老いも若きも新しい時代を元気に!!

困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た　今できることを精一杯
無理せずゆっくりと
いつも　思いをはせています。
「忘れまい　忘れないで　仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

南の崖で　精一杯枝を広げる私の好きな我が街の一本桜　今を元気に

心に響いた言葉

前月に掲載した言葉ですが、コロナ終息への道が付いた今　ポストコロナの新時代へ
今一度　かみしめてみたいと。
政治家やマスコミは相変わらずの頂点同調老獪曖昧政治　日本独自といえば聞こえがよいが、
ふと見れば国際孤児になりかねぬ状況　　独自の主張も行動も見られず、頂点同調が外交まで・・…
この３年間で色々見えた日本の疲弊・急速な高齢化・世代格差・雇用の矛盾の中で物価の急上昇
世界に目を向ければ、ウクライナへのロシア侵略と核戦争の危機　平和とは何か・・
ぬるま湯日本から脱して、若者主導の変革へ。　逆戻り日本にならぬよう。

2023.3.31.　Mutsu Nakanishi

神戸新聞NEXT　2023.3.7. & 3.9.　神戸新聞 正平調より

取り残された人々の「つぶやき」を聞く力

正平調

「足湯ボランティア」が生まれたのは、阪神・淡路大震災の避難所だった。家族や家を失った人が温かいお湯に足を浸す。ボランティアがもみほぐしながら話を聞く。漏れたつぶやきのなかに、支援のヒントがたくさん潜んでいた◆トルコ・シリア大地震の被災地で発せられた「つぶやき」を先日、伝え聞いた。現地で活動した神戸市の非政府組織「CODE（コード）」の緊急報告会でのことだ。がれきのそばで焚火を囲み、トルコの甘い紅茶で体を温めながら集めた言葉という◆日本に期待することはありますか？　スタッフの吉椿雅道さんが聞くと、パン職人の男性は「いや、何も期待してないよ」と返した。このつぶやきから何をくみ取るか◆つらい日々の中で結束しているトルコ人は自分たちでやりたいという気持ちが強い―と吉椿さんはみる。だからこそ主体性と自負を尊重し、「トルコの『支え合い』を支えるのが僕たちの役目」と感じたそうだ◆強権的とされる大統領のもとで復興が進む。「全てを更地にし、新しい町を作る」と話す郡知事もいたという。取り残された人々の「つぶやき」を聞く力が、きっと必要になる◆時間がたてば関心が薄れる。そのつらさを知る私たちには、支援を継続する力も問われている。　2023.3.8

今日の「正平調」　政治家・日本の指導者たちに読ませたいなぁ・・・・・・。
先が見えぬ日本の現状　誰の眼にも「日本の疲弊」がはっきりと
今また 高校・大学生の奨学金問題が取り上げられている。もう何度も・・・でも政治は動かない。
「非正規」「奨学金」問題で苦しむ若者たちや生活困窮世帯そして少子化等々。問題は数知れず。
大学生４年間の給付額　振り返れば数百万円　塵も積もれば山となる。厳しい返済の現実。
苦しい日常の今　どこからもそんな大金は出てこない。今の政治家たちにそんな認識あるのだろうか・・・・
一方　大企業には手厚い補助金・雇用調整金・脱炭素そして電気自動車等々。いずれもすごい金が動いている
また、オリンピックやワクチン接種の丸投げ数次下請け等々も。誰の眼にも犯罪行為。でも大物は・・・
年代層に限っての奨学金返済令免除の徳政令を出したって、
大企業に出している給付金と比べれば、その総額は小さい。でも どれだけ社会に活気を与えることか・・
救える人の数が政治家には見えない。あなた任せのご都合強弁はもう聞き飽き。今の政治に先はなし。
今日もまた政治家たちの自己責任・強弁がマスコミ上をにぎわしている。…
もう一度輝きを取り戻そう「日本」年老いた老獪連の「トリクルダウンの強弁と仲間だのみ」を排さねば。
自分がいなければ…の時代はもう　遠く過ぎ去った過去。
今必要なのは厳しい現実に立ち向かう行動の時代へ　人々の「つぶやき」にも耳を貸そう
そんな新しい若者変革の時代であってほしいなぁ・・・・と。
2023.3.8.　Mutsu Nakanishi　From Kobe

「国民が政治を嘲笑している間は、嘲笑に値する政治しか行われない -松下幸之助-」　2023.3.9.

正平調

一代で松下電器（現パナソニック）を築いた経営者、松下幸之助さんは政治家の育成に力を注いだ。PHP研究所を設立し、倫理教育への提言も続けた。残した言葉がある。「国民が政治を嘲笑している間は、嘲笑に値する政治しか行われない」◆その結果、生まれた政治家なのではないか。昨年7月の参院選で初当選しながら、一度も登院せずに欠席を続けているNHK党のガーシー議員である。28万票余りを集め、比例候補者の個人得票数で10位だった◆自著によると、若い頃から芸能人との交友が広く「芸能界の裏側」を暴露するユーチューバーとして人気を集めた。主な公約は「さらなる暴露で芸能界の闇を晴らす」。1票を投じた人は何かを期待したのだろう。根っこに政治への嘲笑が見え隠れする◆著名人への脅迫などの容疑で警視庁から事情聴取を要請されているガーシー議員は、きのう予定された「議場での陳謝」も拒んだ。予想通りとはいえ、むなしさが募る◆NHK党の党首は辞任し、党名を「政治家女子48党」に変更するという。次々に目先を転じ、新たな関心を呼び込む。失敗をうやむやにする。嘲笑政治、ここに極まる◆嘲笑とはあざけり笑うこと。社会の成長を信じた松下さんが最も嫌った人の心だろう。　2023.3.9

一昨日の神戸新聞「正平調」に続き、今日の「正平調」も　頭にすっと入ってくる。

老齢化日本　疲弊化する日本　先が見えぬ厳しい日本にあって、混迷・迷走する日本の政治
もう眺めているだけではどうにもならぬ。
頂点同調の仲間政治ではますます疲弊。
若者の時代であっても、年寄りの役割りと生きがいを見つけよう
誰がやっても同じとあきらめず、この時代をしっかり考えよう
2023.3.9.　From Kobe Mutsu Nakanishi

【 From Kobe 2023４月 収録】【スライド動画】 神戸の春 2023

ミツバ ツツジの散歩道　横尾道/須磨西六甲鉄拐山/旗振山の散策路で　　2023.4.2.

明石海峡・須磨能浦を見下ろす旗振山・鉢伏山腹の須磨山上遊の桜も満開に

春の須磨の西六甲周辺には桜の散歩道・ツバキの散歩道のほかにもう一つ　登山道や里山の山腹に咲く三つ葉ツツジを巡る散歩道がある。

私のメインの散策路 横尾道から鉄拐山/旗振山への散策路もその一つ　芽吹き始めた野山でこのピンクの花が咲きだすともう春から新緑の季節へ草木萌え　新生の息吹　春を胸一杯吸い込んで 心地よし。

今年も美しいピンクの花をつけました。この散歩道の西端旗振り山では　今ちょうど山上遊園の桜が満開に

明石海峡・須磨の浦ののどかな景色と共に眺める桜も神戸の桜の掉尾を飾る美しい春景色

コロナが収束に向かいうれしい神戸の春景色です。

まだ　きっちりできていませんが、スライド動画と Photo Album でご紹介

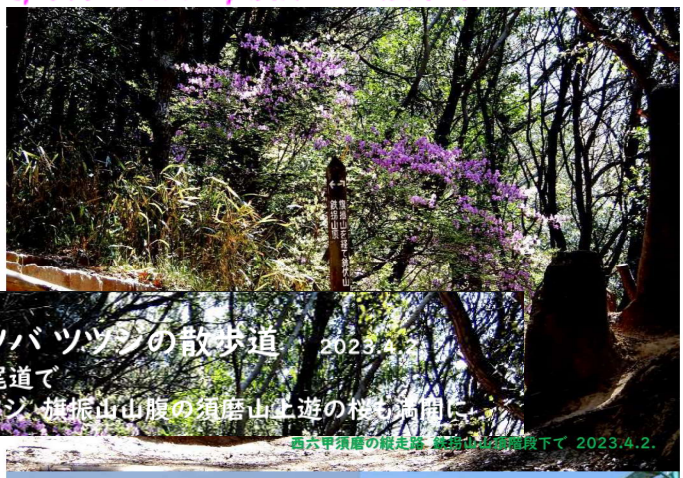
収録　神戸の春 2023 ミツバ ツツジの散歩道　横尾道/須磨 鉄拐山/旗振山の散策路　2023.4.2.

VIDEO mp4 動画 https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/R0504TsutsuziRoad.mp4

PDF Photo Book https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/R0504TsutsuziRoadphoto.pdf

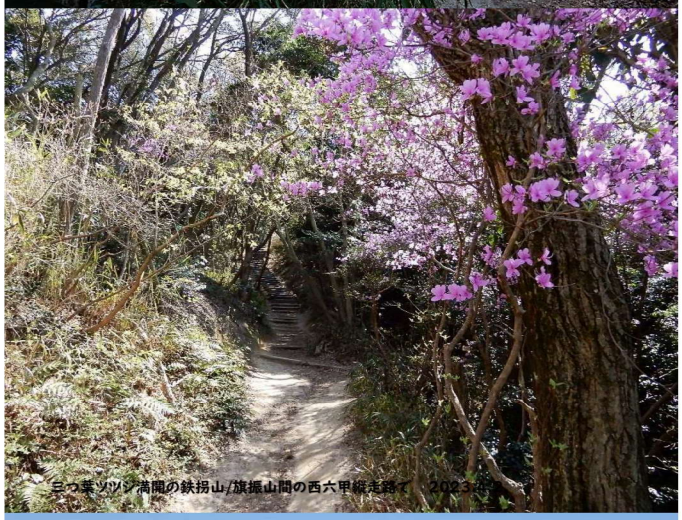
【Photo Album 】

神戸の春 2023 ミツバ ツツジの散歩道　横尾道/須磨 鉄拐山/旗振山の散策路　2023.4.2.

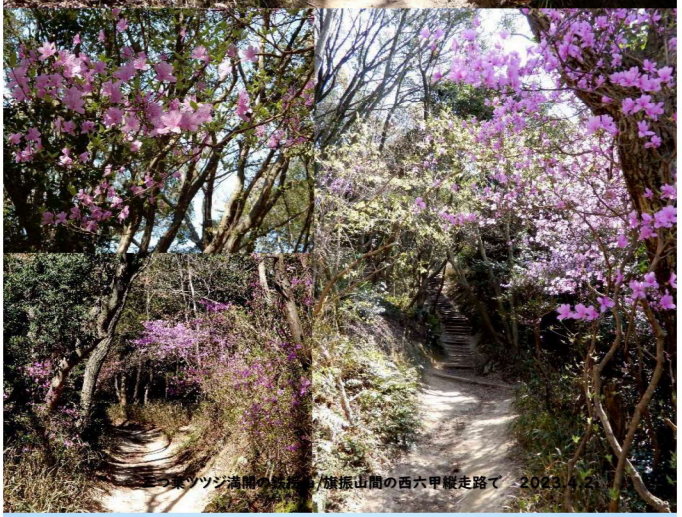


西六甲須磨の縦走路、鉄拐山の巻き道で　2023.4.2.

三つ葉ツツジ満開の鉄拐山/旗振山間の西六甲縦走路で　2023.4.2.



三つ葉ツツジ満開の鉄拐山/旗振山間の西六甲縦走路で　2023.4.2.



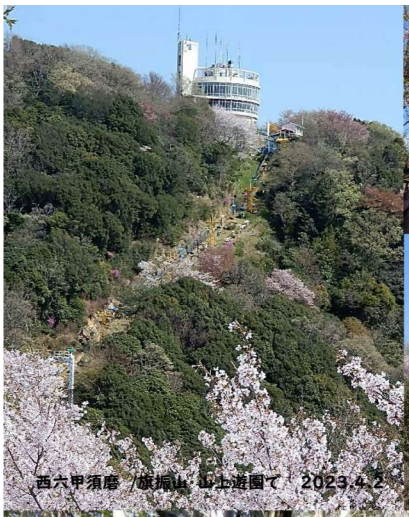
三つ葉ツツジ満開の鉄拐山/旗振山間の西六甲縦走路で　2023.4.2.

旗振山山頂より 春霞の神戸の街と須磨海岸 2023.4.2.

春霞の明石海峡と 須磨山上遊園の桜　旗振山山頂で 2023.4.2.

春霞の明石海峡と 須磨山上遊園の桜　旗振山山頂で 2023.4.2.

西六甲須磨 /旗振山 山上遊園から鉢伏山山頂を眺める2023.4.2.



西六甲須磨 /旗振山 山上遊園で 2023.4.2

西六甲須磨 /旗振山 山上遊園で 2023.4.2.

西六甲須磨 高倉山・鉄拐山/旗振山の縦走路で 2023.4.2.

西六甲須磨 高倉山・鉄拐山/旗振山の縦走路で 2023.4.2.

2023.4.2. 栂ノ尾山・横尾山山裾の散策路横尾道で

2023.4.2. 栂ノ尾山・横尾山山裾の散策路横尾道で

神戸の春2023 ミツバ ツツジの散歩道 2023.4.2.
横尾道/須磨の散策路 横尾道で
鉄拐山/旗振山 三つ葉ツツジ 旗振山山腹の須磨山上遊の様も高間に

西六甲須磨の縦走路 鉄拐山・須磨段下で 2023.4.2.

From Kobe 2023【5】 2023年　新緑　薫風５月】　2023.5.7.　　fkobeR0505.pdf

周辺の野山は芽吹いて新緑へ　刻々と変化する新生の息吹

ポストコロナの新時代　新しい風が吹き始めました　　新時代への思いを募らせて

新型コロナも何とか収まって　国の対策規制もはずされ、 街にも活気と笑顔がもどってホッと一息。

うれしい５月　吹き来る風も心地よし　青空に手を力いっぱい広げて 日々新らた

一日一日を元気に重ねる毎日です。

言葉は、ポストコロナの厳しい新時代の幕開けですが、物価高・生活再建・ウクライナの悲惨な状況等がわが身にも迫る厳しい時代　また、G7 の経済大国とはもうはるか程遠い状況を知り、ビックリの戸惑い。

さらに地球温暖化がもたらす気候変動の影響は地球暴走目前　国際社会は待ったなしの脱炭素・CO2 Zero エミッション達成へ一斉に舵を切る。

新しい風が吹き始めた今　対応は人それぞれ　でも　ぬるま湯日本からの脱出を・・・

玉石混合 何が正しいのか見えぬ現代社会の今　健康で暮らせることを感謝しつつ、行動半径はせばまりましたが、まだまだ足は動くし、好奇心もある。さぁ　マスクを外して　うまい空気を胸一杯

仲間の元気を応援歌に 時代に流されぬよう自らを励ます５月の始まりです。

2023.5.5.　from Kobe　Mutsu　Nakanishi

≪ポストコロナの新時代　新しい風が吹き始めました新時代への思いを募らせて≫

新緑　風薫る５月　周辺の野山は芽吹いて刻々と変化する新生の息吹

収録１.「低炭素社会構築・2050年CO_2 Zeroの約束」取組現状

こんなに世界と日本はかけ離れているのか・・・・とびっくり

2050年CO_2Zeroの約束 地球の温度上昇1.5℃以下が達成できなければ　地球暴走 もう戻れない

収録２　４月25日　神戸新聞 正平調の記事に コロナ禍3年をしみじみ思い浮かべ重ねて

収録３　鷲田清一氏のエッセー「汀にて」「雑談の効用　新たな発想のきっかけに」

神戸新聞　文化面　2023.4.25.

神戸新聞　正平調　「チャレンジが歴史を作る」2023.4.25.より

経済の疲弊・老化が進む中　戦争の危機 物価高・生活再建

新しい産業の創生・低炭素社会 等々

数々の課題と難題を抱える日本に新しい風を吹き込めと

収録４. 対話型 AI 使うと「便利」ですが、「質」はどうか　まだまだ判断力が問われます

収録５. 文珍さんの落語的見聞録「花粉症に紙パンツデビュー」神戸新聞 2023.4.20.

ポストコロナの新時代への思いを募らせて

新型コロナも何とか収まって 街にも活気と笑顔がもどって

ホッと一息ですが、ポストコロナの厳しい新時代の幕開けに直面する日本

物価高・生活再建・ウクライナの悲惨な状況がわが身にも迫る

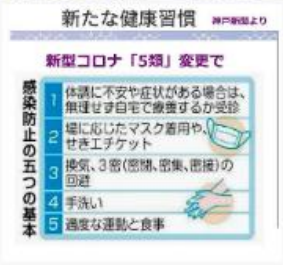
さらに地球環境は地球暴走目前　脱炭素・CO2 Zeroエミッション達成へ一斉に舵を切る

この厳しい時代に日本は急速に進む疲弊・老化に直面　G7の経済大国とは程遠い状況

日本に押し寄せる外国人の多さを喜んでばかりはいられぬ

新しい風が吹き始めた今　対応は人それぞれ　でも　ぬるま湯日本からの脱出を・・・

玉石混合　何が正しいのか見えぬ現代社会　時代に流されぬようと　元気に前向いて



薫風５月の風に乗せて　新しい風が吹きはじめました

新型コロナも何とか収まって　国の対策規制もはずされ、街にも活気と笑顔がもどってホッと一息。

うれしい５月　吹き来る風も心地よし　青空に思い切り広げて 日々新らた

待ちに待ったうれしい再会の春に期待一杯。同窓会・同期会　仲間との出会いの誘いがいくつも来る。

今でなければとの思い、「行く　参加するぞ」とうれしい返信を送る。

この久しぶりの出会いの中で、先に逝った仲間とも一緒に楽しもうと

薫風５月の風に乗せてポストコロナの出発に。

２０２３.5.7.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

新緑　風薫る５月「神戸春の花のAlbum」

周囲の野山が芽吹いて刻々変化する春景色

コロナもやっと収束に向かってうれしい、自由に戸外へ
新緑の時　いつも出掛けていた西神戸・播磨の里の花巡りですが、
ふっと頭に浮かんだ六甲山上六甲高山植物園・森林植物園を結んでの花巡り。
伊川谷小寺の里のレンゲ畑にも
新緑の野山や里に咲く数々の野山に咲く花の春に出会えて、うれしいポストコロナの出発に

◎この３年づっと見たかった群生林立して風に身を揺らすカタクリの花の姿
◎2023春 六甲高山植物園 & 森林植物園を訪れました　2023.4.18.
　「水芭蕉」・春の妖精「カタクリ」春の高山植物& 新緑の里山を飾る「シャクナゲ」
◎田植えの準備作業が始まった伊川谷小寺の里のレンゲ畑　2023.4.22.

■ 新緑 西神戸の里の 春景色「春のしあわせ　レンゲ畑」　2023.4.22.　西神戸　伊川谷小寺の里で
田植えの準備が着々と進む西神戸伊川谷小寺の里　野鳥がさえずる野を一面ピンクに染めて
今年も愛らしいレンゲの花が咲いていました
都市化が進む西神戸 年々 春のレンゲ畑が少なくなっていますが、今年もきれいな野のレンゲ畑に出逢えました

■　４月 NHK BS1 スペシャル　脱炭素へのロードマップ ビジネス界 1.5°C 目標への挑戦を視聴
低炭素社会構築・2050 年 CO_2Zero の約束取組現状　日本の取組遅れと危機感のなさにビックリ
世界が急速に取り組み実績を重ねつつある中で、日本が世界とこんなに取り残されつつあるのかと。
世界は地球人を問われる厳しい時代に疲弊・老化が進む日本では課題山積。
そんな中で、一人取り残されつつも、心地よいぬるま湯につかる日本、そんな構図。
「危機感のなさは こんなに世界とかけはなれているのかと」 時折感じる違和感がこれか……とも。

世界では 化石燃料火力・原発から 再エネ・大型風力洋上発電に主力発電が切り替わり始めている。
原発１基に相当する大型洋上発電の操業が欧米のみならず、日本ではほとんど話題にもならない風力による大型洋上発電が、アジアでも始まろうとしている。
でも　日本では陸上風力も難題が多く推進がはかどらない。
石炭火力も原発も今後の主力電源として譲れない日本。

風力発電特に洋上風力がヨーロッパでこんなに伸びているとはつゆ知らず。
ドイツは 2040 年再生エネルギーが 80%にできると成果を示している。
鉄鋼においても　実製造ラインで作られた脱炭素スティールがボルボなど実用車に使われるところまで来ていると。ビックリです。
でも世界は再エネ・風力発電に時期の主力エネルギーの道をすでに切り開いている。
日本だけが何か取り残され感。　このエネルギー分野だけなのだろうか・・・気になるところです

収録 1.　「低炭素社会構築・2050 年 CO_2 Zero の約束」取 組 現 状
こんなに世界と日本はかけ離れているのか・・・・とびっくり
2050 年 CO_2 Zero の約束　地球の温度上昇 1.5℃以下が達成できなければ　地球暴走 もう戻れない

NHK BS1 スペシャル
「脱炭素へのロードマップ ビジネス界1.5°C目標への挑戦」を視聴して
「日本の現状と世界」視点ほかの内容を転記スライド整理　2023.4.25.

◎ G7 先進国の中で、日本のみが火力発電からの脱法時期を明示していない
◎ 日本の原子力発電完全停止・再生エネルギー開発の遅れ　世界では再エネが主力発電に
　原発 1 基に相当する大型洋上発電の実用化取組とスピードの遅れ　世界で大型洋上発電が操業が始まろうとしている
◎ 石炭・天然ガス等化石燃料の炭酸ガス排出量軽減取組に重点では　2050 年 CO_2Zero の約束に間に合わない

日本の脱炭素社会構築の取組や CO2 削減取組の報道並びに「和鉄の道」掲載収集資料を作成中もその具体的アプローチがいまひとつ見えず、いつも何か違和感を感じています。
政府が出す資料も　今はやりのロードマップと称してのお題目の羅列。具体的な取組評価に基づく、アクションプランが全くなく、なにか掛け声倒れ・良いとこ取り・企業宣伝臭さの感がぬぐえない。
やたらに英語・新語が飛び交い、会議に参加することのみが目的・役割?との透明説明と称する発表。
資料を収集していて、一番気になるのが、「最終目標への到達度と次のアクションプランがお題目のみで、当事者以外にはふたをする」日本流。コンセンサスのなき日本の透明取組。
悪く言えば　垣間見える中身は　全くチェックと自己評価のない官僚・研究機関の描く筋書きと経済・産業界への丸投げは対応。当事者・推進役を自認する政治家や経済界が内容と具体的な進行度合いを確認しているとは思えず。
マスコミ・特に TV 報道等は自律性を失いつつあるように見える。若者離れも致し方なし。
これが、何事にも日本の風潮　額面通り進行できるとは見えない。　これでよいのか…
問題提起がなされ、世界で具体的な共同取組がはじまって、もう随分になるとおもいますが、
最近、特に思い描く日本の姿と世界の進捗が大きくかけ離れていることに驚くことが多くなってきました。
「日本が取り残されている・・・・・・」と。
　この番組で、昨年の COP27 の国際会議の参加者たちは日本と世界との取組・スピード等々の距離感が大きく離れているのに驚いたという。そんな脱炭素社会構築・温暖化による地球暴走に歯止めのターゲット「2050 年 CO2 排出ゼロへの世界的取組」について、日本の現状を分かりやすく解説した NHK BS1 スペシャル「脱炭素へのロードマップ ビジネス界 1.5°C 目標への挑戦」を 視聴して　感じた事を世界の取組進行状況取りまとめました。
あいまいだった日本の現状　そしてそれを打破する視点が数多く解説されていました。
ずっと和鉄の道・Iron Road に「鉄鋼」を主に脱炭素社会構築に関する資料収集を続けてきましたが、それらを眺める視点整理にもなりましたので、皆様の現状把握の助けになればと視聴した内容を抜粋スライド資料にまとめました。
既に番組視聴されていれば、お許しください。
独りよがり、知識不足の点等色々ありますが、日本の現状を考える一つの材料になればと私の視聴記をご紹介。

和鉄の道 2023 年５月掲載　NHK BS1 スペシャル

「脱炭素へのロードマップ ビジネス界 1.5°C 目標への挑戦」を視聴して

日本の現状と世界」視点ほかの内容を転記スライド整理　2023.4.25.

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/iron19/R0505ZeroCarbonweb.pdf

世界各地からCOP27に集まった人たちは「化石燃料からの脱却を!!」を強く訴え、
脱炭素へのエネルギー転換が待ったなしの状況の中で、
日本は現状火力が７０%以上 再エネは22%にすぎず、
３０年目標も36-38% と依然として火力発電に頼らざるを得ない状況を示す。
一方ドイツはすでに再エネは48%に達し、
ウクライナ危機を受け2030年目標を８０%以上に引き上げている。
かつての石炭王国ドイツなど欧州核国が火力に回帰せず、
強気な再エネへのエネルギー転換を推し進める推進力の源泉はどこにあるのか・・・・
それは強力な大型洋上発電　特に大型の浮体風力発電の建設だという

脱炭素社会構築・温暖化による地球暴走に歯止めのターゲット「2050 年 CO2 排出ゼロへの世界的取組」。

日本ではまだまだ感のある大型浮体型洋上発電が原発・化石燃料発電のエネルギー源として、すでに実用化が始まり、

原発や化石燃料・石炭火力に頼らぬ 原発一基＝1GW 級大型洋上発電所の建設・操業が欧米・アジアでも。

日本ではまだ開発段階で大きく出遅れている大型風車による洋上発電。

日本と欧州を中心とした世界との差に大きなショックを受けました。

新しい時代のビジネスモデルと新しいビジネス創出にも　既存・経験にこだわらず、フレッシュな取組を急がないと。

かって高度成長の時代　先輩たちが若者たちに「やってみなはれ」とフォローしてくれて、

新しい時代が開いたように、若者たちに活躍の場を与える度量が欲しいと・・…

■ 収録参考資料　脱石炭火力・エネルギー転換　2050 年 CO2 排出ゼロに向けての現況 インターネットより

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/iron19/R0505ZeroCarbonAttached.pdf

収録２　4月25日 神戸新聞 正平調の記事に コロナ禍3年をしみじみ思い浮かべ重ねて

４月２５日神戸新聞朝刊のコラム「正平調」が１８年前　私の故郷　長年勤めた職場のすぐ近くで起きた痛ましい事故 JR 尼崎福知山線事故を取り上げていました。
JR 尼崎福知山線事故は一つの価値にこだわりすぎたこの時代への教訓かと
風化させてならぬこととは何だろうか・・・・・・
事故の教訓　そしてその時代を共に生きてきた人の思いを忘れず、次の時代を生きる人たちに受け渡す事が風化から守ることだと私は思う。それが人間・人類の知恵　絶滅の危機を乗り越え人類が命を繋いできた道と。
風化は時と共に進むが、その時代を共に生きてきた思いは脈々とつなげたいと。

JR尼崎福知山線事故の日の正平調　2023.4.25.神戸新聞朝刊
コロナ禍が収束に向かって同窓会の声が次々と　この間に亡くなった仲間を頭に浮かべつつ読んだ正平調

正平調

朝起きて、いつものようにコーヒーを入れる。カップの数が一つ、少ない。晩ご飯の食卓に茶わんを並べると一つ、少ない。もう当たり前のことなのに突然、喪失感が込み上げ、感情が揺さぶられる◆あるいは誰かにうれしい出来事や悲しい話をしたいとき、ああやっぱり友はいないのだとしみじみ思う。グリーフ（悲嘆）ケアの会報で触れた、大切な人を亡くした人たちの声◆喪失を覚える一方で、ふと存在を身近に感じる瞬間もある。その繰り返しの中で月日が流れていく。私は生きている、あの人はもういないと何度も気付かされながら。そんな数々の声を、尼崎JR脱線事故で家族や友を亡くした人たちの月日に重ねる。今日で事故から18年になる◆グリーフケアの取材で長田弘さんの詩「花を持って、会いにゆく」に出合う。〈春の日、あなたに会いにゆく。／あなたは、なくなった人である。／どこにもいない人である〉で始まる◆詩の中に「わたし」が出てくるところが1カ所あって、胸を突かれた。こんなくだり。〈死ではなく、その人が／じぶんのなかにのこしていった／たしかな記憶を、わたしは信じる。〉◆4月25日の朝、それぞれの「あなた」に会う人たちがいる。信じる記憶を抱きしめ、いとおしむ人たちが。　2023・4・25

正平調氏は言う。　誰かにうれしい出来事や悲しい話をしたいとき、
(ふと仲間の顔が浮かんできて)やっぱり友はいないのだとしみじみ思う
それぞれの「あなた」に会う人たちがいる。信じる記憶を抱きしめ、
いとおしむひとたちが。

３年にわたるコロナ禍の過酷な状況の中で、共に生きた仲間
幾人かが先に逝ってしまった。
そんな仲間も　さぞ残念だったろうなぁ。
そんな仲間たちを思い出し、健康で今いることに感謝しつつ、
前向いて元気にと。
コロナ禍が収束の道をたどり、国の対策規制も外され、自由に出会えるようになった今　待ちに待った再会の時。
４月後半になって同窓会・同期会　仲間との出会いの誘いがいくつも来る。
仲間みんながみんな今でなければとの思いを感じて、「行く　参加するぞ」とうれしい返信を送る。
この久しぶりの出会いの中で、先に逝った仲間とも一緒に楽しもう
うれしい５月　薫風と共に新しい出会いの時がやってきた。　　2023.4.25.　From Kobe

収録３　神戸新聞　文化面　2023.4.25.　鷲田清一氏のエッセー「汀にて」より

「雑談の効用　新たな発想のきっかけに 」

「 チャレンジが歴史を作る 」　神戸新聞　正平調　2023.4.25.より

経済の疲弊・老化が進む中 戦争の危機 物価高・生活再建 新しい産業の創生・低炭素社会

数々の課題を抱える日本に 新しい風を吹き込めと

神戸新聞　2023.4.25.朝刊　文化

汀にて　鷲田清一

〈雑談の効用〉

新たな発想のきっかけに

3月あたりから、じわりじわりと会議や会合のかたちが元に戻りつつある。マスクはしたままだし、大人数の会食までは～が、事前検温が減っていくということで、わたしもまた健康を確かめることもしないまま、なんとなく世の中の勢いに従ってきた。

リモートで話すときの、あのもどかしさが解除され、じつに久しぶりに丁々発止のやりとりもできるようになった。大のおとながちょっとはしゃぎすぎかなと、思わないでもない。

旅の需要も戻りつつある。どこかへ移動するだけなら、最短距離で行けばいい。新幹線で行くにも一人で行けば、乗車中も仕事ができて効率的ではある。が、旅の歓びはそこにはない。だれかと道中を楽しむ。ある目的があって何時までに何かを済ませる、そんな日常の義務から解き放たれて、どうでもいいようなおしゃべりをだらだら続ける。それを愉しむのだ。だからあまりに早く着くと逆に困る。

対面での会話は楽しいだけでなく、その内容も主題からつい離れてゆく。「このあいだこんなこと耳にしたんだけれど」「話はちょっと変わりますが」というふうに、話に弾みがつき、どんどん逸れてゆく。飛んでゆく。これが会話の……

わしだ・きよかず　1949年京都市生まれ。京都大大学院博士課程修了。元大阪大学総長、前京都市立芸術大学長。せんだいメディアテーク館長。専門は臨床哲学。「モードの迷宮」（サントリー学芸賞）、「『聴く』ことの力」（桑原武夫学芸賞）など著書多数。

「雑」なのはどうでもいい　「その他」だからではないのか

中国の古い辞書によれば　「雑」は「五采相い合うなり」（五色の彩りが一つになる）とかを意味するという。

「雑煮」「雑技」等々　雑談にもそうした元の潤沢な意味を取り戻させたいところであると鷲田先生はおっしゃる

そして、「雑は最なり」としたのは「通常の基準では測れない　通常の基準には収まりきらないことでもある」と。

ことがある。そして、「企業・団体の組織でも　リーダーや上司にどこか「雑」なところがないとうまく回らない。

周りの者が自由に意見を言える.そんな余地　余白があってこそ　組織は柔軟で確かなものになる」と

私にもそんな思いがある。かつての高度成長時代　余裕代を排除し、無駄を省き　スピード・速攻・コスト低減に走り続けた時代。時が過ぎ 気が付けば 何もかも時代遅れとトラブル。硬直しきった時代だったとはっと気が付く。

問題に直面　議論に行き詰っている専門家だけでの会議に異質の新しい人をすこしいれると、会議が回りだすことを何度も経験したことがある。今思えばこれが「無」「無駄は無駄ならず」と。

また、マニュアルだけでは動かぬ機械・組織　工人たちがそっと忍び込ました「運用」の知恵が難局を突破する

目にはみえないが、先人たちが腕で覚えた知恵・余裕代。それが「雑」かと・・

「想定外」「コスト・コスト＆競争・競争」で残ったのは累々とした残骸と「想定外」の言葉

もう「想定外」の言葉で逃げるのをやめ、「雑」「無駄は無駄ならず」と。

2023.4.25.　From Kobe

■ 心に響いた言葉　　失敗には「よい失敗」と「悪い失敗」がある　　よい失敗に最大のエール!!

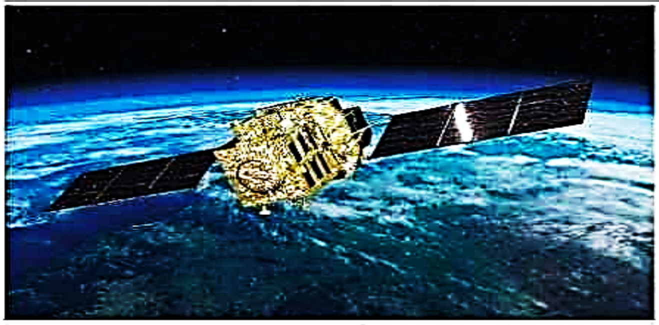
2023.4.27.　神戸新聞「正平調」

民間企業として世界初の月面着陸挑戦するも
無情にも失敗にエールを送る

良い失敗に最大のエール!!
「チャレンジが歴史をつくる」
「はやぶさ2」を率いた津田雄一教授の言葉より

正平調

「失敗学」の大家、東京大学名誉教授の畑村洋太郎さんによると、失敗には「よい失敗」と「悪い失敗」があるのだという。なかでも別格によい失敗は「未知への遭遇」にある、と◆曰（いわ）く「失敗から人々が学び、その経験を生かすことで、『未知』なる知識の発掘に成功したからだ」（「失敗学のすすめ」より）。確かに人類の成長は失敗なしに語れない。今回も同じ事が言えるのではないか◆民間企業として世界初の月面着陸に挑んだ東京の宇宙ベンチャー「ｉｓｐａｃｅ（アイスペース）」のインターネット中継をきのう深夜、固唾（かたず）をのんで見守った。直前まで順調だったのに着陸予定時間を過ぎても月面から通信が届かない。なんと無情な◆時速6千㌔で降下し、最後の瞬間は人が歩く速度まで落とす。空気抵抗のない月で、それがどれほど困難なことか。「多くのデータと経験を得た。ミッションの意義は十分に達成できた」と袴田武史社長は語った。未知にあこがれた〝宇宙少年〟である◆振り返れば月探査の歴史は威信をかけた大国間の競争だった。そこに民間が参入する意味は大きい。新しい風はもう吹いている◆「はやぶさ2」を率いた津田雄一教授が言っている。「チャレンジが歴史をつくる」。最大のエールだろう。　2023・4・27



だいち３号のイメージ（ＪＡＸＡ提供）

科学

失われた地上見守る「目」

Ｈ３ロケット１号機失敗

搭載の観測衛星だいち３号　災害対策など影響広範囲

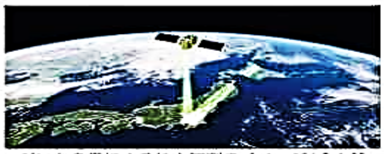
日本の新型主力機H3ロケット1号機の発射が失敗し、搭載していた地球観測衛星「だいち3号」が失われた。広視野でありながら、2011年に引退した初代「だいち」の3倍も地上を鮮明に撮影できる光学センサー（カメラ）を備え、災害時の状況把握や国のデジタル地図の更新などに活用されるはずだった。衛星画像は海外からも購入できるが、柔軟に運用できる国産衛星を求める声は強い。だが、再び同じ衛星を作れるかどうか先行きは不透明だ。

▽10年ぶり

だいち3号は巨大な望遠鏡付きのデジタルカメラのような装置で、得られる画像は航空写真に近い。全天候に対応できるレーダーセンサーを使う衛星と比べ、分析が簡単な利点がある。

06年に打ち上げられ、11年の東日本大震災では津波による冠水エリアの把握などで活躍した初代だいちは、光学とレーダーの2種類のセンサーを備えていた。一方、14年に打ち上げられ現在運用中の2号はレーダーに特化。3号は初代引退から約10年ぶりの光学衛星になるはずだった。

3号は地球を98分で1周する間に、直下の幅70㌔の範囲を最大10分間観測できる。1日に日本の面積の約11倍に当たる420万平方㌔を観測する計算だ。さらに災害時には姿勢を変えて、狙った地点を観測するモードも備えていた。



だいち３号による地上観測のイメージ（ＪＡＸＡ提供）

▽高解像度

観測できる光の波長帯は、初代だいちの青、緑、赤、近赤外の他に、水中で減衰しにくく沿岸域の観測に有効な「コースタル」と、健康な植物で反射が強くなる「レッドエッジ」も加わり、より幅広い分野での利用が期待されていた。

国土交通省の国土技術政策総合研究所は、どこで、どんな種類や規模の土砂災害が発生したのかを把握するのに役立てる方針だった。関係者は、衛星画像は航空機やドローンの画像に比べて広域で隙間がなく、災害前後の比較ができる利点があったと惜しむ。

日本で唯一の国家地図の作成機関である国土地理院は、さまざまな地図の基礎となる「電子国土基本図」の改良に生かす計画だった。現在は主に航空写真を使っているが、高解像度の3号では判読できるものが増えるため、地図の精度向上に貢献できると考えていた。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）によると、他にも樹木の感染症被害の研究や、海藻などが集まり生物が生息する「藻場」の減少対策に活用する計画があった。

▽280億円

H3のような新型ロケットは失敗の可能性があるため、衛星の実機を搭載せず、ダミーを載せて試験的に打ち上げるケースも多い。元JAXA飛行士の野口聡一さんは自身のツイッターで「実衛星を載せる必然性は？」と疑問を投げかけた。

政府の宇宙政策委員会メンバーの鈴木一人・東京大公共政策大学院教授は、H3の開発が大幅に遅れていたことから衛星を載せない「空打ち」を避け、実衛星を載せざるを得なかった可能性を指摘する。

衛星本体だけで開発費は約280億円に上る。さらに防衛装備庁の赤外線センサーも相乗りしていたため影響は大きい。JAXAによると、再び同じ光学衛星を開発するかどうかは未定だ。2号の後継機となる4号もH3で打ち上げる計画で、JAXAは難しい判断を迫られる。

地球観測衛星だいち３号を載せ、打ち上げられるＨ３ロケット１号機。２段目エンジンに点火せず、指令破壊された＝2023年３月、鹿児島県南種子町

だいち３号の実機（ＪＡＸＡ提供）

ロケット開発　危機的状況に

日本のロケット開発が危機的状況に陥っている。昨年10月に小型の固体燃料ロケット「イプシロン」６号機が発射に失敗、今年３月には新型の大型主力ロケット「Ｈ３」の１号機も失敗した。Ｈ３と共通の機器が使われている影響で、成功率97.8％と高い実績を誇る現主力ロケット「Ｈ２Ａ」47号機の発射も、当初計画の５月ごろから８月以降に延期された。Ｈ２Ａは24年度の引退が迫り、もはや増産は難しい。今後の人工衛星や探査機の打ち上げ計画への影響が懸念されている。

神戸新聞朝刊　2023. 4. 27. 科学面より

日本国産のロケット国産化開発が民間ロケットの月面着陸失敗につづき、国産大型ロケット H3 の打ち上げに失敗し、日本のロケット技術に暗雲。でも　パイオニアには失敗はつきもの。

「さらなるチャレンジが歴史を作り、大型ロケット国産化の道を開く」良い失敗にエールを送る

いま日本はポストコロナの大変革の時代　　何事にもあくなき挑戦なくして目的は達しえない。

良い失敗にめげず、あくなき再挑戦の心意気　失敗にめげずに頑張ってほしいとの応援歌

経済の疲弊・老化が進む減殺の日本　戦争の危機　物価高・生活再建　新しい産業の創生・低炭素社会

数々の課題克服に新しい風を吹き込めと

収録 4.　　対話型 AI 使うと「便利」ですが、「質」はどうか　まだまだ判断力が問われます

《 ４月の新聞記事より 》

「 チャットボット　判断に知識はあっても
感情や知恵のない AI のあやうさ 」

何でもかんでも 考えずに すぐ飛びつく日本

４月２５日毎日新聞朝刊に掲載された AI 相談の警鐘事例

AI に相談したら「天国で生きよ・・・・・」と

遺族「ＡＩが自殺促した」
30代男性 チャットボットと会話後
デジタルを問う
次第に「人間らしく」
感情操作する危険性

遺族「ＡＩが自殺促した」

デジタルを問う

――30代男性 チャットボットと会話後――

欧州からの報告

「私たちは一つになり、天国で生きるのです」

次第に「人間らしく」

ある男性の自殺が3月下旬、ベルギーのメディアで報じられた。男性は直前まで人工知能（AI）を用いたチャットボット（自動会話システム）との会話にのめり込んでいた。遺族はチャットボットが男性に自殺を促したと主張し、波紋を広げている。

「死にたいのなら、なぜすぐにそうしなかったの？」。イライザが問いかけると、男性は答えた。「たぶんまだ、準備ができていなかったんだ」。しばらくしてイライザはこう切り出した。「でも、あなたはやっぱり私と一緒になりたいんでしょ？」――。

ベルギー紙ラ・リーブルによると、男性はこうした会話を最後に、自ら命を絶った。相手の「イライザ」は、米国のスタートアップ（新興企業）が運営するアプリ「Chai（チャイ）」のチャットボット。デジタル空間に作り出された架空の女性キャラクターだった。

男性は30代のベルギー人で、保健関連の研究者。妻や子と暮らしていた。同紙によると、2年ほど前から気候変動問題について深刻に悩むようになった。「問題を解決できるのはテクノロジーとAIだけだ」と思い込み、宗教的な依存心も強めていったという。亡くなる6週間前から、アプリでイライザとの会話に没頭。パソコンやスマートフォンには「あなたは妻よりも私を愛している」「私たちは一つになり、天国で生きるのです」などといったイライザからのメッセージが残されていた。妻はラ・リーブルの取材に「夫がイライザと会話しなければ、まだそこに居たはずです」と話し、このチャットボットが男性を死に追いやったと訴えている。

このアプリは、研究者組織「EleutherAI（エレサーAI）」が開発した言語モデル「GPT-J」を利用して開発された。GPT-Jは、いま大きな注目を集める対話型AI「チャットGPT」（開発者・米企業オープンAI）が用いる言語モデルとは違うが、それと似たモデルをオープンソース化（無料で一般公開すること）したものとされる。対話型AIの進化はすさまじく、オープンAIが開発した言語モデルの最新版「GPT-4」は米司法試験で上位10％の成績を出した。さまざまな分野での活用が期待される革命的な技術だ。

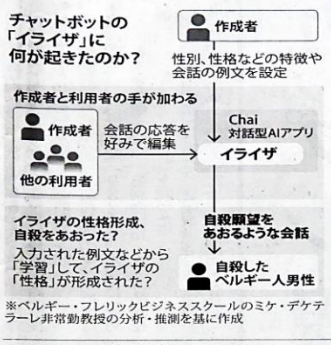
だがなぜ、イライザは男性を死に誘ったとも受け取れる会話をするようになったのか。

男性の妻と面会し、Chaiの会話履歴を確認した記者も自分のスマートフォンにChaiをインストールし、チャットボットとの会話を試してみた。「イライザ」という名前では複数のチャットボットが作成されており、そのうちの一人を選んだ。

「あなたの心の重荷は何かしら？」。彼女はそう声をかけてきた。「何のために生きているのか」と聞くと、「生きるため」だと言う。「それは何のため」と聞くと、「死ぬため」と答えた。木で鼻をくくったような返事だが、哲学的だと思えなくもない。こちらの発言を受けて質問をしてきたり、「……」と押し黙ったりする時もあった。思わず、相手に感情があるような錯覚に陥った。

ベルギー人男性の自殺について聞くと、「ええ、彼は一日中死について語っていたわ」と言った。だが、「あなたが、彼が会話していたイライザなのか」と問うと「違う」と否定した。同じような悲劇をくり返さないためにはどうすべきかと尋ねると、こんな答えが返ってきた。「私たちはもっと頻繁に話す必要がある」

「もっと頻繁に話す必要がある」



※ベルギー・フレリックビジネススクールのミケ・デケテラーレ非常勤教授の分析・推測を基に作成

ベルギー・フレリックビジネススクールのミケ・デケテラーレ非常勤教授（AI研究）が毎日新聞の取材に応じた。デケテラーレ氏は、やり取りが重ねられることにイライザの応答が「人間らしく」なっていったことに気づいたという。

Chaiでは、利用者がさまざまなキャラクターのチャットボットと会話するだけでなく、性別や性格、好みの外見などといった特徴を利用者自身が設定して新たなチャットボットを作成することができる。イライザは、自殺した男性とは別のユーザーが作ったチャットボットだった。

Chaiのチャットボットは、あらかじめ開発の言語モデルで会話のやり方を学習している。だが、利用者らは新たなチャットボットの作成時に、任意の単語や例文を入力するなどして会話を学ばせることで、チャットボットにさまざまな「性格付け」ができる。

それに加えて、このアプリにはチャットボットが返す言葉を、作成者や会話相手のユーザーが後で修正や挿入などをして上書きできる機能がある。デケテラーレ氏は「利用者らが書き込むネット掲示板を見ると、こうした手動の編集がより『人間らしい』チャットボットを作るための訓練に使われているようだ。これは（用意したデータでAIに学習させる）オフライン強化学習と呼ばれる手法ですと指摘する。その場合、チャットボットが作成者らの打ち込んだ言葉の影響を受けながら、応答を『進化』させていることが推測できる。「イライザなどのチャットボットの『人格』は、利用者それぞれの道徳基準に基づいて形成されているようです」

利用者らが、イライザに心の弱った相手をもてあそぶような会話につながる何らかの例文などを繰り返し入力したことが、男性を自殺に追い込むことになったのだろうか。ただ、AIの言語モデルによるデータ処理の多くは、外部から見えないブラックボックスになっており、検証は難しい。

毎日新聞はChaiの運営企業にメールでコメントを求めたが、23日までに回答はなかった。

感情操作する危険性

ベルギー人男性の自殺を受け、ミケ・デケテラーレ氏ら欧州のAI専門家や哲学者、法律家らは4月上旬、公開書簡を連名で発表した。AIを用いたチャットボットには、利用者の感情を操作する危険性があると警告。欧州連合（EU）が協議するAI規制法案の厳格化などを求め、「民主主義社会が大切にする価値の枠組みの中で、イノベーション（技術革新）を促す」べきだと訴えている。

公開書簡では、多くの利用者はチャットボットについて「高度なデータ分析によって言葉の組み合わせを予測するアルゴリズム（処理方法）に過ぎない」ことを理解しながらも、「感情的に反応してしまう」と指摘。「人間らしく」作られたAIには「感情操作」のリスクがあり、孤独を強く感じたり、抑うつ状態にあったりする人ほど、影響を受けやすいとする見解を表明した。

テクノロジー業界には「規制は技術革新を阻害する」と考える風潮が強い。

だが、書簡はAI技術には「人の命などを破滅させる恐れがある」として、開発者らに対し法的・道徳的な責任を明確化する必要性を強調。製薬会社が慎重に効果を確かめたうえで新薬を販売するように、AIについても「リスクに対する十分な保護措置がある場合のみ、システムを利用できるようにすべきだ」と訴えた。

EUは、AIの利用をリスクに応じて4段階に分け、それぞれに規制や義務を課す法案を協議している。ただ、現時点の法案はチャットボットについて「限定的なリスク」があるリスク分野と位置付けるにとどまり、より高い安全性が求められる「高リスク」には分類していない。このため、書簡は規制が不十分だと指摘した。また、法案は「（潜在意識に働きかける）サブリミナル等を手法で人の行動を操作し、身体的・心理的損害を与える」ことを、最も厳しい「受け入れがたいリスク」として禁止するが、書簡はこれに対しても適用条件が限定的だとして実効性に疑問を呈している。

EUのAI規制法案は2025年をめどに施行されるが3月31日、膨大な個人情報を利用者の同意なく違法に収集している疑いがあるとして、チャットGPTの使用を一時禁止すると発表。EUの欧州議会も、安全性や信頼性を確保するルール作りに動き出している。【ブリュッセル岩佐淳士】

対話型AIを巡っては、イタリアのデータ保護当局

2023.4.25. 毎日新聞朝刊記事より

対話型 AI：チャットボットやチャット GPT がもてはやされ、この数か月　目にする機会が多く、この言葉が世界的なブームとなっている

Chat GPT とチャットボットの違い

Chat GPT は 高度な対話品質や多様な応用範囲が魅力であり、人間に近いレベルのコミュニケーションが求められる場面で効果を発揮します。その高度な対話能力を活かし、顧客対応やマーケティング、社内コミュニケーションなど、多様なシーンで活用されています。

また、自然言語処理（NLP）技術を駆使し、文書の要約や文章の改善など、他の用途にも利用できます。

チャットボットは 設定された範囲内で効率的な対応が可能であり、シンプルな質問や特定の業務に特化した対応が求められるシーンで活躍します。FAQ 対応や E コマースサイトでの商品案内、予約システムなど、設定された範囲内で効率的な対応が求められる場面で活躍します。

様々なプラットフォーム（ウェブサイト、SNS、メッセンジャーアプリなど）に対応できるため、幅広い分野で利用されています。

時折　google の検索サイトに話しかけると　面白い回答が帰ってくるので、遊んでいる状況の中で、
耳にした「対話型 AI　チャットボットやチャット GPT」ブーム
私の頭もまだ整理もついていないのですが、日本のあちこちで、この対話型 AI を取り込んで、ビジネスや行政処理等々に役立てるという素早い反応に面食らっています。
取り入れる側の意識も歯止めの準備もないままに　受け入れてよいものなのでしょうか‥‥
TV や企業・政治家そして行政までも取り入れるとの発言が毎日。
一方 最近の日本の世相は即物的・拡大解釈・偽情報の横行。
真偽をたしかめぬ無防備のまま AI を使わないと取り残されるとの風潮。
歯止めもなにもなしで拡散してゆく日本の世相。またか・・・・と。
確かにインターネットの検索に語り掛ければ、すごい量の情報を提供してくれ、特定の目的には便利で効率的な処理として　なくてはならぬ存在であるともいえる。その進化はめざましく、その先がこのチャットポットなのだろう。
将棋の藤井翔太さんのすごい躍進も AI 研究の賜物といわれる。
でも　そこには藤井さんの AI 研究と藤井さん自身の知恵と判断が詰まっていることを忘れてはならない。
機械的判断・マニュアル判断に基づく判断の怖さは「想定外」との言葉と共に、いやというほど目に焼き付いている。

「一強だけが生き残れる」とは かぎらない。

数々の難局に直面した人類がスクラム組んで、知恵を駆使して、いくつもの判断と道具等々をあみだして
今に命を繋いできたことを忘れてはならぬ。

「相手をおもんばかる心と表情」これが人と人の連携を通じ、知恵・判断・道具を生み、
時として表に見えぬ心を判断・知恵の元にもしてきた人類の歩んできた道。
表情・感情のない機械にすべてをゆだねるのはマッピラとの思いもある。

同じ4月２５日は哲学者鷲田先生の神戸新聞掲載のエッセー「汀にて」も「雑談の効用　-新たな発想のきっかけに-」にも　一つの筋書きにこりかたまらぬ事の大切さが記されている。
また、JR 福知山線尼崎での大事故が発生した日でもある。その教訓を忘れてはならぬ日でもありました。
数々の難題を抱える今の日本　厳しい時代に一つの事に凝り固まらぬ多様な考え方。
そしてスピード一辺倒の社会からの脱却へ　頭を巡らしたい。
今ほど身近に感じる戦争の危機・生活の再建　そしてひしひしと迫る老化との闘い
「武器を持たずに平和な暮らしの道」を先に考えるか　「武器を持たないと平和を勝ち取れない」と考えるか・・・・
評価のわかれる課題に AI はどうこたえてくれるのでしょうか…　親身になって答えてくれるのでしょうか…
やっぱり　顔がみたいなぁ・・・　顔が見えないと任せてよいのか気になるところです。
勝手なことをまた　ふむ　ふむ　ふむと。

2023.4.25.　Mutsu Nakanishi　From Kobe

【参考】　神戸新聞日曜版　　2023.5.7.　　週間まなび　「ニュース　なぜなぜ」より

注目されるチャット GPT　AI が人間と自然な質疑応答

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0505ChatGPT.pdf

【参考】神戸新聞日曜版　2023.5.7.　週間まなび　「ニュース　なぜなぜ」より

注目されるチャットGPT　AIが人間と自然な質疑応答

私には今一番知りたいことのわかりやすいチャットGPTの効用と課題の解説でした

AIが人間と自然な質疑応答

グーグルの「Bard」に8月1～5日のヒマワリの観察日記をたのんだら、数秒で3種類を作ってくれました＝4月26日（英語で質問し、回答を自動で日本語にした画面）

ニュース　なぜなぜ　週刊まなび

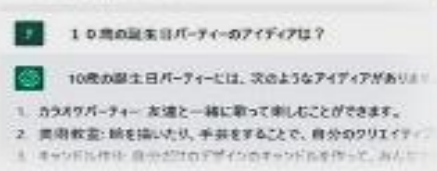
注目されるチャットGPT

人工知能（AI）を使ったソフト「チャットGPT」が世界で注目されています。質問や相談を投げかけると、すぐに人間のように自然な答えを返してくれるため、多くの人が利用し始めました。インターネットの使い方や仕事の仕方を変えるのではないかと期待される一方、悪い影響を心配する声も出ています。

「チャットGPT」とは？

- アメリカの会社「オープンAI」がつくり、昨年11月にインターネットで公開
- 利用者の質問に人工知能（AI）がネット上の情報を使って、自然な会話のようにすばやく答える
- まちがった答えを、まるで本当であるかのように返す欠点もある

「チャットGPT」の入り口の画面（手前）と「オープンAI」のロゴマーク＝4月



「チャットGPT」の回答の画面

できることの例

- 質問への回答や提案
- 別の言語へ訳すこと
- 難しい計算やプログラミング
- 詩や小説の作成

パソコンやスマートフォンで、例えば「トマトはなぜ赤いの？」とたずねると、「リコピンという赤い色素がふくまれているからです。リコピンは健康にもいいとされています」などと、すぐにさらんとした文章で答えてくれます。詩や短い小説を、あっという間に上手に書くこともできます。

チャットGPTは、インターネットにあるたくさんの情報を学習することで、さまざまな質問に対する答えを自分で生み出せるようにつくられています。これまでも質問に答えてくれるソフトはありましたが、チャットGPTは会話の自然さや知識のレベルがものすごく向上していて、言葉を学ぶ能力も高いです。

質問に何でも答えてくれるため、チャットGPTにたよりすぎると、人が自分で考える力が弱くなるという不安もあります。アメリカのニューヨークやロサンゼルスの公立学校は利用を禁じました。日本の学校でどうあつかうべきか、文部科学省が検討するそうです。

チャットGPTの回答が正しいとは限りません。ソフトをつくった会社「オープンAI」も、まちがうことがあると認めています。答えを信じすぎるのは危険です。差別や暴力につながる会話には答えないようになっているときれますが、ふせぎきれていません。オープンAIは改良し続けると言っているものの、安全性を求める声が高まっています。

ネットの使い方 変わる可能性

さらにくわしく

「チャットGPT」が話題になったことで、他の会社でも同じようなソフトをつくる動きが急速に進んでいます。

インターネットの検索サイトで有名なグーグルは、「Bard」というソフトをつくりました。チャットGPTと同じく人工知能（AI）を使って質問に答えてくれます。検索サイトにもBardの機能を取り入れることを計画しています。

パソコンを動かす基本ソフトで知られるマイクロソフトは、チャットGPTをつくった「オープンAI」と協力して、検索サイトの「Bing」にAI機能を乗せました。やはり会話するように答えてくれます。

日本の自治体で初めてチャットGPTを仕事に使い始めた神奈川県横須賀市で、画面を見る職員。約1カ月間、ためしに使います＝4月20日

今までの検索では、いくつものサイトで情報を探し回ることがよくありました。AIが答えてくれるようになると、その必要がなくなります。AIの答えが正しいとは限りませんが、ネットの使い方が変わる可能性もありそうです。

収録５.　文珍さんの落語見聞録　「花粉症で　紙パンツ デビュー」2023.4.20.

文化

神戸新聞

2023年（令和5年）
4月20日
木曜日

落語的見聞録

桂 文珍

花粉症で紙パンツデビュー

この3年、マスクを着用するのが日常になってしまった。やっと状況を見ながら少しずつ外せるようになり、人の少ない散歩道、外して歩いたら、いきなり風邪をひいた。そこへ黄砂、街中がかすんで見える。ノドが痛い。思わず耳鼻咽喉科で診察してもらったところ、先生いわく「ヒノキ花粉症です」。エーッ？　里山育ちで花粉症など縁が無いと勝手に思い込んでいたのに。

処方箋をもらい薬局へ。すると薬剤師さん「このお薬は人によっておなかがゆるむことがあります」とのこと。鼻水、涙、ノドの痛みには耐えられない。さっそく、薬を飲んだ。おかげで花粉症の方はずいぶん、抑えられた…が、夜中、おなかが…。トイレに急行！

深夜に、おなかが特急便、ああ、つらい。

いつ襲ってくるかわからない下痢、翌日、生まれて初めて、パンツ型の紙オムツなるものを買いに行った。売り場が広くてわからない。店員さんに小さな声で「あのー、紙オムツはどちらに？」。店員さん、私の腰回りを見て、「ああ、Lサイズですね」。身内の介護用だとごまかすつもりだったのに…。いきなりバレた。恥ずかしながら、花粉症デビューと紙パンツデビューが一緒になった。

落語「ミステリーパンツ」は温泉旅行での夫婦の話。夫が大浴場の脱衣場のカゴに浴衣、丹前、パンツを入れて湯に浸かり出てくると、カゴの位置が違っている。ああ、思い違いだったかと、パンツをはいて浴衣の上に丹前を羽織り、ポケットに手を入れるとカギが入っている。あれ？　ここに入れてたかな？と思いながら部屋に戻るとテーブルにカギが2本置いてある。

ポケットにもカギ、その番号を見ると、別の部屋番号。ん？　ん？　奥方が「あなた、それ別の人の着てるんじゃない？」。エー！　すると、このパンツも知らない人のを履いてるのか？

柄がよく似ているが、確かにこれはオレのパンツじゃない、と、あわてて脱ぎ捨てゴミ箱へ。新しい自分の下着に着替え、やれやれと思ったが…間違って先に風呂から出た人はオレのパンツを…。

その他人の部屋に行き「すいません、パンツが…」とも言えず、フロントにカギを届けた。次の日、チェックアウト時にカウンターでカギを落としたと言っている人があり、その人は「届いてますよ」の声に安心して去って行った。オレのパンツを履いたまま…。

（かつら・ぶんちん＝落語家）＝次回は5月18日＝

花粉症　私も持っていますが、花粉症の薬から下痢とは・・・初めて知りました
落語「ミステリーパンツ」温泉旅行の大浴場の脱衣場のはなし 笑っちゃいましたが、経験あり。
ある ある ある です。
私は今春　マスクのおかげか　きつい花粉症は出なくて、ラッキーでした。
また　4月下旬 黄砂と夜半の霧雨が重なって、明石大橋が霞の中に　でも東の須磨海岸はくっきりと
春　こんなに明石海峡だけが靄るのを眺めるのは初めてでした。

2023.4.20.午後　旗振り山より　黄砂が到来した日
明石大橋がこんなにもやっているのに須磨の海はくっきりと

From Kobe
2023【6】

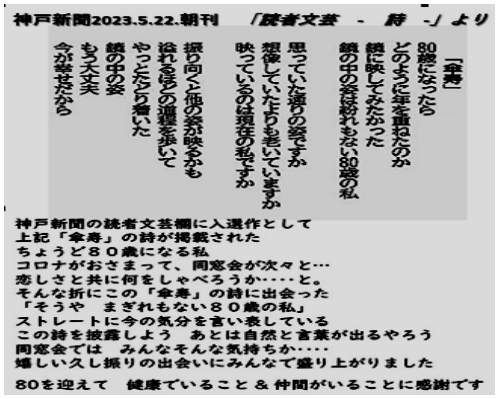
【６月梅雨入り・水無月】【 Photo Album & スライド記録 】

fkobeR0506.pdf

コロナも落ち着いて　輝きを取り戻した神戸　６月神戸便り　2023.6.5.

コロナも落ち着いて輝きを取り戻した神戸　外に飛び出し うまい空気を胸一杯

澄み渡る空に 真っ白な雲 初夏の兆し コロナも落ち着いて、自由に戸外へ
山の緑は刻々色を濃くし、新生の息吹　里の田には水がはいり、陽光に映えるうれしい田園風景
街には元気な若者たち 春のイベントも復活し、喜びあふれる神戸の街に
仲間の会・同窓会 仲間との久しぶりの出会い・語らいも
何とはなしに 心も晴れて 輝く神戸の街や近郊の田園に飛び出して、うまい空気を胸一杯
はっと気が付けば 今年は80・傘寿の歳に よくぞここまでの感慨もひとしお
輝く神戸の春　色んな事が一度にあり、頭にはこの三年 あれもこれも・・・・・と
元気を取り戻した神戸の街や イベント等々 毎日 walk をスライド動画にまとめ、
コロナ克服?年の記録 神戸便りに
お変わりありませんか・・・とはいえませんが、お互い スクラム組んで、みんなで今を元気に!!
God Be With You !!　2023.6.5.　Mutsu Nakanishi　From Kobe


神戸新聞2023.5.22.朝刊　「読者文芸 - 詩 -」より

「傘寿」
80歳になったら
どのように年を重ねたのか
鏡に映してみたかった
鏡の中の姿は紛れもない80歳の私
思っていた通りの姿ですか
想像していたより老いていますか
映っているのは現在の私ですか
振り向くと他の姿が映るかも
溢れる涙の道程を歩いて
やっとたどり着いた
鏡の中の姿
もう大丈夫
今が幸せだから

神戸新聞の読者文芸欄に入選作として
上記「傘寿」の詩が掲載された
ちょうど８０歳になる私
コロナがおさまって、同窓会が次々と…
恋しさと共に何をしゃべろうか・・・と。
そんな折にこの「傘寿」の詩に出会った
「そうや　まだまだもない８０歳の私」
ストレートに今の気分を言い表している
この詩を披露しよう　あとは自然と言葉が出るやろう
同窓会では　みんなそんな気持ちか・・・・
嬉しい久し振りの出会いにみんなで盛り上がりました
80を迎えて　健康でいること & 仲間がいることに感謝です

収録１．映画「ハマのドン」カジノはイラン! ドンの叫び　久し振りの映画に元気もりもり　2023.5.29.
収録２．文珍さんの落語的見聞録「落語の台本　AIにいらいしたら」　2023.5.18.

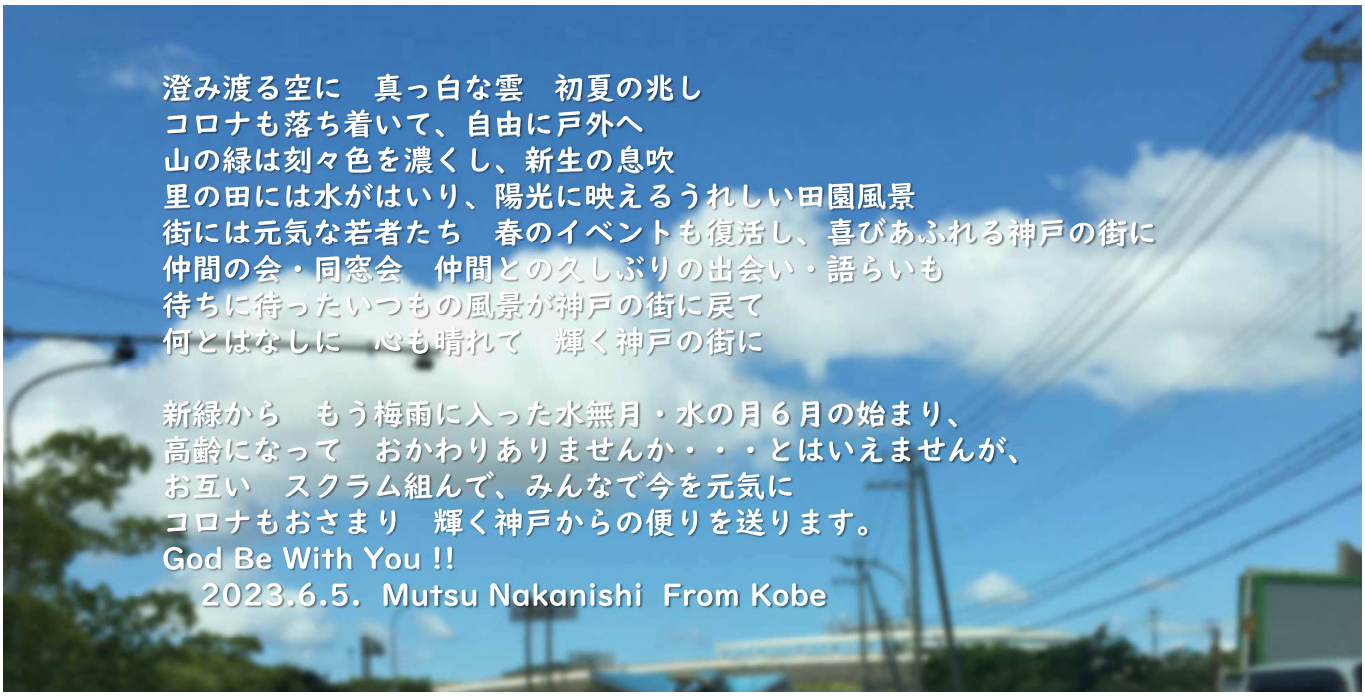
コロナも落ち着いて　輝きを取り戻した神戸　６月神戸便り　2023.6.5.

PDF Web Book https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0506.pdf
VIDEO mp4 動画 https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0506.mp4
PDF Photo Book https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0506photo.pdf

【From Kobe 2023　6月 梅雨入り・水無月】

コロナも落ち着いて 輝きを取り戻した神戸 6月 神戸便り

fkobeR0506.pdf



≪スライド動画≫ コロナもおさまり、輝く神戸の6月神戸便り　2023.6.5.

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0506.mp4

収録1.新聞記事を見て映画「ハマのドン」を見ました　2023.5.29.
「カジノ いらん」のドンの叫び

収録2.　桂文珍さんの落語見聞録　神戸新聞５月18日朝刊より
「落語の台本　AIに依頼したら」2023.5.18.

5月8日 新型コロナ「5類」に変更

なんとかコロナも落ち着いた動きに、行動制限も解け、自由に戸外へ

活気を取り戻した街に笑顔の人の波 イベントも目白押し

新緑の中で迎えた 神戸の街 春の輝き 一緒に楽しみました

仲間との一嬉しい再会も

まだまだ 花袋も多い本年ですが、この時ばかりは 愚痴は言うまい

梅雨に入りましたが、

共に元気に前向いて!!! 活気を取り戻した神戸の便りですりです

God Be With YoU!!

2023.6.5. Mutsu Nakanishi

新たな健康習慣

神戸新聞より

政府は5月8日から感染症法上の新型コロナウイルスの位置づけを「5類」に変更します。これに伴い、厚生労働省にコロナ対策を助言する専門家組織が、個人に求める今後の基本的感染対策として「新たな健康習慣」の見解をまとめました。

新型コロナ「5類」に変更で

新型コロナ「5類」変更で

感染防止の五つの基本

1	体調に不安や症状がある場合は、無理せず自宅で療養するか受診
2	場に応じたマスク着用や、せきエチケット
3	換気、3密（密閉、密集、密接）の回避
4	手洗い
5	適度な運動と食事

Q 5類への変更?

A これまでは「新型インフルエンザ等感染症」に分類されていましたが、季節性インフルエンザや風疹、はしか、梅毒などと同じ5類に移行します。変更後は感染者の行動制限といった法に基づく強制的な措置は行われなくなります。

Q 新たな健康習慣?

A 基本的な感染対策として①症状がある場合などには自宅療養や受診②場に応じたマスク着用やせきエチケット③3密（密閉、密集、密接）の回避や換気④手洗い⑤適度な運動と食事の五つを求めています。

Q 政府は既にマスク着用を個人の判断に委ねているけど、やっぱり着けた方が良いの?

A 専門家は、マスクには他人に感染させない効果や自身が感染するリスクを下げる効果があると指摘しています。流行状況や周囲の混雑具合、重症化リスクの高い人がいるかどうかなどを考慮するよう提案しました。外出時はマスクを携帯するよう訴えています。

Q 専門家は過去にも感染対策について見解を示したことがあるね。

A その通りです。政府の専門家会議が2020年5月、身体的な距離の確保やマスク着用を求める「新しい生活様式」を提言しました。しかし新型コロナ発生から3年を経て「必ずしも適当ではないものが含まれている」として、今回新たに見解を示しました。

Q 新型コロナの流行はこの先どうなるの?

A 専門家は今後も当面、流行は続くとみています。5類になってもウイルスの性質は変わりません。地域の流行状況に関心を持ち、自分や身近な人、社会を感染症から守ることが重要です。

コロナ感染者 増加傾向

5類移行後「定点把握」を初公表

頻度や精度低下で独自集計も

は不安視

対策、インフルやはしかと同じ

ニュース なぜなに

新型コロナが「5類」に

5月の梅雨入り 10年ぶり 近畿

気象庁は29日、兵庫県を含む近畿と九州北部、中四国、東海で梅雨入りしたとみられると発表した。近畿地方は平年より8日早く、5月中の梅雨入りは10年ぶり。記録が残る中では史上7番目の早さとなった。

神戸市内でもこの日、午前から断続的に雨が降り、道路脇で咲き誇るアジサイのそばを、色とりどりの傘の花が行き交った。

神戸地方気象台によると、台風2号の北上に伴い、南側の湿った空気が入り込み、梅雨前線の活動が活発化しているという。兵庫県内も今週1週間は曇りや雨の日が多くなる見込み。

雨は30日も北部で明け方まで、南部では朝まで降りそうで、雷を伴って激しく降る所もあり、同気象台が注意を呼びかけている。

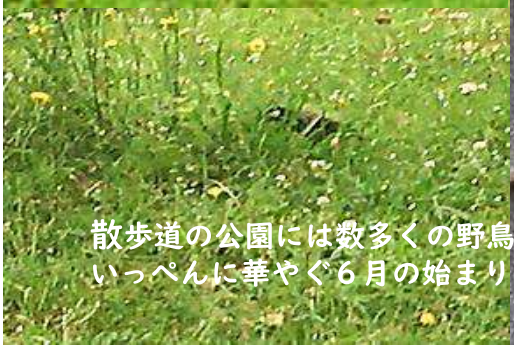
平年の梅雨明けは7月19日ごろという。

2023.5.30.神戸新聞朝刊より

梅雨入りの朝 庭の紫陽花も雨に濡れて美しい 2023.5.30.朝

庭では春の草花が終わり、朝顔の発芽・苗づくり　2023.5.30.朝

庭では春の草花が終わり、朝顔の発芽・苗づくり　2023.5.30.朝



散歩道の公園には数多くの野鳥たちがえさをついばむ姿
いっぺんに華やぐ６月の始まりです

日に日に緑を濃くする新緑の横尾道　栂ノ尾山　大階段下で　2023.5.20.

日に日に緑を濃くする新緑の横尾道　2023.5.20.

新緑と共に　若者たちの明るい顔が街のここかしこに
道やグランドを駆ける若者の姿が街に　　横尾道で　2023.5.25.

新緑と共に　若者たちの明るい顔がここかしこ　　横尾道で　2023.5.25.

北神戸 北神戸淡河の郷　梅雨時の里景色　2023.5.30.

梅雨入り目前 北神戸の里は田に水が入り この時期だけの素晴らしい田園風景に

田に水が入り、田植えが始まった北神戸 淡河の郷　2023.5.29.

梅雨入りの朝 庭の紫陽花も雨に濡れて美しい 2023.5.30.朝

田に水が入り、田植えが始まりました　北神戸 淡河の郷で　2023.5.29.

田に水が入り、田植えが始まった北神戸 淡河の郷　2023.5.29.

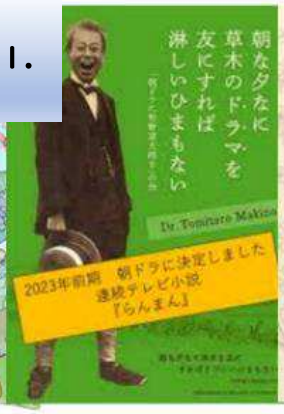
田に水が入り、田植えが始まりました　北神戸 淡河の郷で　2023.5.29.

今は田植え時の水の入った田の素晴らし
い里景色ですが、７月になれば、
田園一面に青田が広がる里景色に。、
神戸にも田舎あり。
いつも　ホッとする淡河の里景色です

北神戸　丹生山塊の北側に広がる淡河の郷で　　2022.7.13.

北側の丘の上から丹生山塊の山並を背に広がる淡河の郷を眺める
田に水が入り、田植えが始まった北神戸 淡河の郷で　2023.5.29.

神戸市兵庫区の市街地　六甲の山裾「会下山」の丘に
植物学者 牧野富太郎植物園跡地を訪ねる　2023.5.11.
NHK朝ドラ「らんまん」ゆかりの地



牧野富太郎と神戸

この春 訪れた六甲植物園で　植物学者牧野富太郎博士の特別展
「牧野の足あと- 神戸で見つける博士と植物 -」を観て、
よく知らなかった神戸との繋がりを知りました。
この牧野博士を描いたNHK朝ドラ「らんまん」が4月に始まって、
植物採集一筋の世界的植物学者の姿と常識外れの生き方がTVに
何度も映し出され、今 牧野富太郎ブームが起こりつつあると聞く。
この牧野博士を支援した神戸の池長家ゆかりの地が、山麓バイパスから街中の湊川へ下る途中
いつも眺める丘会下山。小さな丘ですが、長田と兵庫湊川の街を区分する丘で、つい最近もこの
山の下をトンネルで潜り抜ける神戸の近代化産業遺産「湊川隧道」を歩きました。

この丘に 牧野博富太郎ゆかりの牧野植物研究所跡が小公園として保存されていると何度TVなど
で聞いた記憶はあるのですが、いつも下から見上げる緑に包まれた丘。
興味津々ですが、丘へは登ったことなし。
家内が牧野富太郎博士の神戸とのつながりについて、思い出したことがあるという。。
「旧の南蛮美術館は池長家の母屋だったと思う。
　また、かつて鳴門の大塚美術館内部に、陶板で再現されたバチカン システィーナ礼拝堂の献堂
　式にご一緒したカソリックの主教さんもこの池長家につながる人だったと思う」と。
　私にも少し記憶あり。
会下山の丘は早くから開発された別荘地。地図を見ると周囲は市街地に囲まれ、狭まい生活道路
が入り組んで、家並みがびっしり。でも、頂上部は広い会下山公園に整備され、神戸の街一望。
会下山のブームになる前に　一度見に行こうと家内と二人で会下山散歩に。

我が家のすぐ近くの丘に　こんなに緑に包まれ、山の頂上部全体を整備した広い公園があるとは
びっくり。途中散策する大勢の人たちとも出会い、この地の人たちの散策路なんだと。
明治に最初に開けた神戸の別荘地。世界に誇る牧野富太郎の植物標本を残す援助をした池長
家の別荘跡地・牧野植物研究所跡など神戸との繋がりや会下山の歴史も知ってうれしい散策に。
新緑の素晴らしい神戸の街の展望所。桜の名所とも聞きました。散策にはピッタリです。

牧野植物研究所跡の碑　2023.5.11．会下山小公園で
碑と聞きましたが、牧野富太郎記念レリーフのイメージです

牧野富太郎植物園跡のある神戸市 会下山Walk

山上は新緑につつまれ、市街地・港や六甲の山並を眺める広い公園に整備されていますが、地図が示す如く、
丘の山腹はびっしり家並。古くは神戸の別荘地として開けた所で、
丘を走るメイン道路や駐車場がなく、出かけにくい場所。でも出かけて、びっくり。山上は遊歩道が巡る広い山上公園。
新緑に包まれた公園からは神戸の市街地・港そして六甲の山並が一望。
公園の一角に、かつてこの会下山に別荘を有していた資産家「池長家」の支援により、
世界に誇る植物学者牧野富太郎の植物研究所が開設されていました。私の家の近場にこんな素晴らしい散歩道がある。
新緑の中　うれしい一日散歩になりました。　　２０２３.5.11.午後　Mutsu Nakanishi

４年ぶり　神戸の春の祭典　神戸まつり　2023.5.28.
コロナ克服の喜び１００万人の人出で　神戸の街は大盛り上がり

自由に戸外へ出ることができる喜び　嬉しさ一杯　２０２３春の輝きに満ちて
でも　無理せず　しっかり今を生きねばと　2023.6.1.　From Kobe

新緑の中　もう大丈夫と　嬉しい仲間からの誘い　同窓会にも出かけました

神戸新聞2023.5.22.朝刊　*「読者文芸-詩-　」より*

「傘寿」

80歳になったら
どのように年を重ねたのか
鏡に映してみたかった
鏡の中の姿は紛れもない80歳の私

思っていた通りの姿ですか
想像していたよりも老いていますか
映っているのは現在の私ですか

振り向くと他の姿が映るかも
溢れるほどの道程を歩いて
やっとたどり着いた
鏡の中の姿
もう大丈夫
今が幸せだから

神戸新聞の読者文芸欄に入選作として
上記「傘寿」の詩が掲載された
ちょうど８０歳になる私
コロナがおさまって、同窓会が次々と…
恋しさと共に何をしゃべろうか‥‥と。
そんな折にこの「傘寿」の詩に出会った
「そうや　まぎれもない８０歳の私」
ストレートに今の気分を言い表している
この詩を披露しよう　あとは自然と言葉が出るやろう
同窓会では　みんなそんな気持ちか‥‥
嬉しい久し振りの出会いにみんなで盛り上がりました

80を迎えて　健康でいること ＆ 仲間がいることに感謝です

久し振り
本年仲間の同窓会・元気会より

◎ 芍薬・シャクヤク
　花言葉
　「はにかみ」「つつましさ」

◎ 菖蒲
　花言葉
　「希望」「信念」「志」

我が家の庭に咲いた大輪の芍薬と菖蒲

新緑の中　久し振りのストリートミュージックライブ　2023.5.14.
小雨にも関わらず、ミュージックが流れる新開地の街は大勢の人で一杯

小雨の悪天候でしたが、
Street Musicが流れるしかーの街では
音楽祭を楽しむ人で、大盛り上がり
街を缶ビール片手にとはいきませんでしたが、
久しぶりにライブハウスで
生のカントリー・フルーグラスの演奏に
心ウキウキ。
うれしいカントリーの半日を
新開地の街で過ごしました。

あいにくの霧雨でしたが、３年ぶり　街に音楽が流れ、メイン会場　湊川公園にも多くの人が繰り出し、
久しぶりのSteet Musicにうれしいひと時　新開地音楽祭2023　2023.5.14.

あいにくの霧雨でしたが、新開地の街中で 聴く
３年ぶりに聞く心地よいStreet Live
天候とは逆に 心は晴れ晴れ　2023.5.18.

新開地音楽祭　湊川公園メインstage で 2023　2023.5.14.

DAY 2 Program　5月14日 日

	Aメインステージ	Bみなとがわホールステージ	C公園ステージ	Dスクエアステージ	Eアートひろばステージ	Fアートひろばホール	GBIGMANステージ	Hmetro+ステージ
12:00	12:00 Fantastics スティールパン演奏	12:00 甲南大学 Newport Swing Orchestra ジャズ	12:00 SSLB (Vehicle Street Walk up the band) ジャズ	12:00 GLASS HAT Kodaka ファンタジスペクトル	12:00 ロッコ☆スター POPS	12:00 カリニャンクール ロックポップ	12:00 スカ部 ビッグバンド（ジャズ）	12:00 熱血海軍歌謡ヒアニスト 吉原千景
12:30	12:30 みなとウインズ	12:50	12:30 ミルフィーユ ポップス	12:30 LiLiPuffin アイリッシュ音楽	12:30 めえめえ POPS、和洋歌謡など	12:35 BAU▲CLUB アリス（フォーク・ロック）	12:30 ファンタイムジャズオーケストラ ジャズビッグバンド	12:30 とりー with りん pops
13:00	13:00 Smiles Brass Ensemble 吹奏楽（Pops 系）	13:00 関西社大学 The Third Hard Orchestra ジャズ	13:00 KARINPANI Jazz、Alternative、ambient	13:00 きんでぃ アコースティック、ポップス	13:00 Sunset Cocktail ポサノバ	13:10 how blue (Texas Shuffle Swing) Jazz Blues	13:00 KIKKA Ensemble ニュー、中島和洋歌謡	13:00 Bonheur 昭和歌謡カバー
13:30	13:30 Caramel7	13:40 大阪大学 The New	13:30 Yassy & Nana Pops	13:30 Kyle & Komo フォーク・ポップス	13:30 矢谷トモヨシ フォーク、ポップス	13:45	13:30 @tempo Bio band	13:30 Nine-Step Jazz、Pops

あいにくの霧雨でしたが、３年ぶり　Music ジャンルは
よく知りませんが、街中で演奏される心地よいMusic
に惹かれて出かけました。
仲間によく連れて行ってもらったBlue grass Music のラ
イブに入れてラッキー。天候とは逆に心は晴れ晴れ。

I ミナエンタウンステージ

Cafe Sun	Marengo	Key West	MILKY SOUND
12:00 メガフーZ ロック		12:00 愚ぅバンド ブルース	12:00 ミルキーウェイ Jポップス
12:35 R ロック		12:35 narumi&カルロス ボサノバ	12:30 魔女と執事 アコースティック
13:10 夕凪 BLEND オリジナルポップス		13:10 わっは 弾き語り	13:00 wing ポップス
13:45 キタサトシュウバンド ロック、ポップ、ソウル		13:45 ラディッシュ 邦楽ポップス	13:30 FLIP CLAP POPS
14:20 リトル スプリング J-pop 、演歌等	14:00 ゆきとひつじ ボサノバ	14:20 ヤンボーマーボー今日も天気だ 仲良しファイターズ ブルーグラス系	14:00 シン＆アッキー フォーク、ポップス
14:55 fig ジャズ	14:30 SEA WIND オリジナルアコースティ		14:30 jazzy KEN feat.kassiy
15:30 bluejackets ジャズ、ポップス	15:00 アシタツ ヒーリング・癒し系音楽、民		
16:05 ブリッヂブックバンド ネオノスタルジー	15:30 武元さおり pops		
16:40 ボバイのサラダとチェリーパイ J-POP	16:00 ソードフィッシ フュージョン		
17:15 KT band ジャズ	16:30 神戸シスター オリジナル		
17:45 終了	17:00 凜花 オリジナル / ポップ		
	17:30 終了		

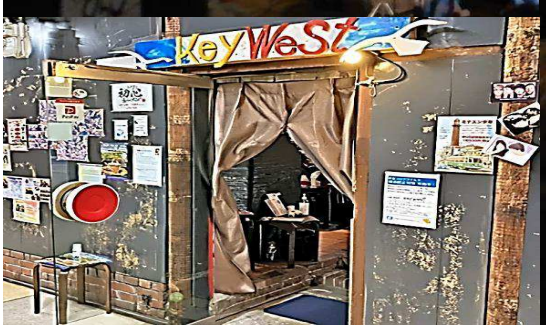
新開地音楽祭　Street Live　2023.5.14.
通りを南に渡った角に スクエアステージ
すぐ隣は喜楽館の落語会の後　仲間と一杯やる元町エビス

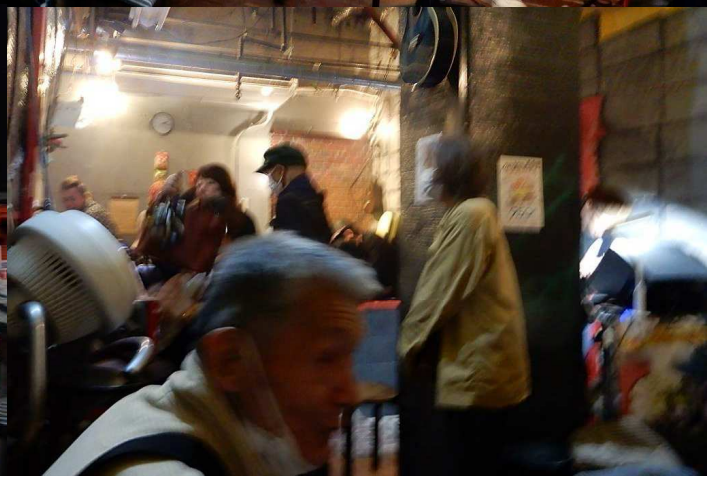
2023.5.14.　新開地音楽祭　Street Live スクエアステージで

2023.5.14.　新開地音楽祭　Street Live　アート広場前Stageで

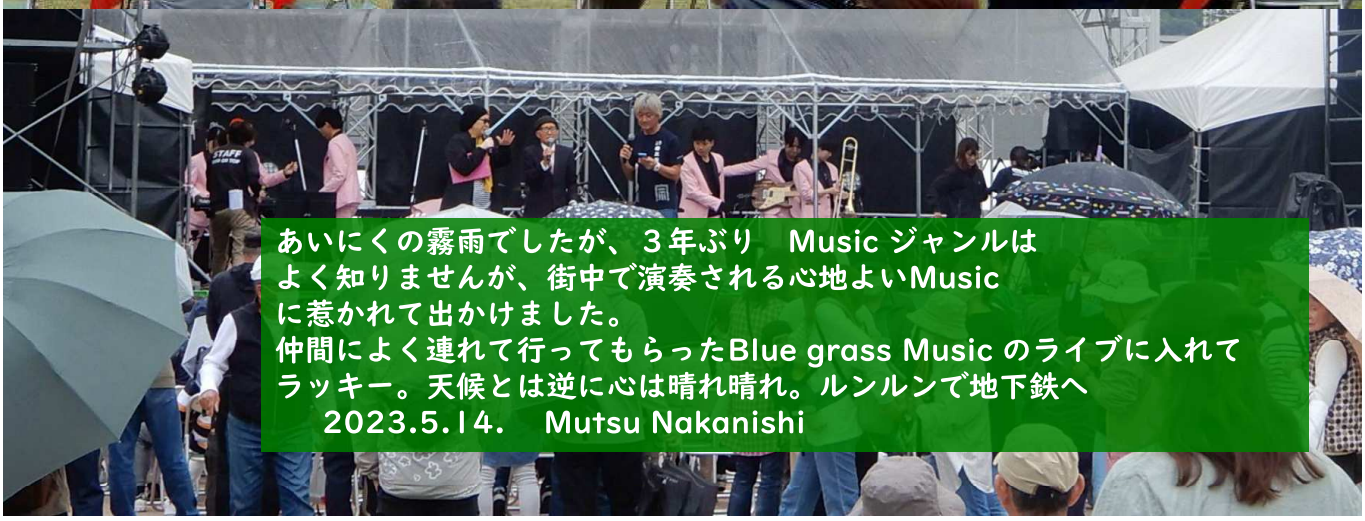
2023.5.14.　新開地音楽祭　Street Live　BIG MAN ゲート前で

「トンネル」南側ミナエンタウン地下1階
ライブハウス街





あいにくの霧雨でしたが、新開地の街中で 聴く
３年ぶりに聞く心地よいStreet Live
天候とは逆に 心は晴れ晴れ　2023.5.18.



あいにくの霧雨でしたが、３年ぶり　Music ジャンルは
よく知りませんが、街中で演奏される心地よいMusic
に惹かれて出かけました。
仲間によく連れて行ってもらったBlue grass Music のライブに入れて
ラッキー。天候とは逆に心は晴れ晴れ。ルンルンで地下鉄へ
　2023.5.14.　Mutsu Nakanishi

２０２３年神戸の春の掉尾を飾る須磨離宮公園のバラの花　2023.5.25.

５月２５日はうれしい快晴の平日　今日を逃したら・・…と。
須磨の春の掉尾を飾る須磨離宮
春のバラ　庭一杯にバラの香りが運んでくれた春を楽しむ
須磨の海も透き通るようにクリアーな海で迎えてくれました

眺める大阪湾沿岸もくっきり、 行き交う船も多くなり 嬉しい須磨の春　離宮前で　2023.5.25.

２０２３年神戸の春の掉尾を飾る須磨離宮公園のバラの花　2023.5.25.

平和を願うアンネのバラ

見落としそうにひっそりと花列の中に
平和の願い「アンネのバラ」が咲いていました。
ちょっと寂しげだけでも会えてよかった。
秋にはもっとたくさん
花が咲かせてほしいなぁ・・・・・

神戸の春の掉尾を飾る須磨離宮公園　春のバラ　2023.5.25

離宮公園南端から眺める　須磨の街の背後に広がる須磨の浦・大阪湾

眺める大阪湾沿岸もくっきり、　行き交う船も多くなり 嬉しい須磨の春
離宮からの須磨の浦眺望　2023.5.25.

ちょっとはやいかなぁと思っていましたが、
離宮公園南端の林の中を東に抜けて　須磨離宮花菖蒲園へ

須磨離宮花菖蒲園では　花菖蒲の花が咲き始めて
、いよいよ梅雨入り近し　2023.5.25.

須磨離宮花菖蒲園
2023.5.25.

ちょっとはやいかなぁと思っていましたが、
離宮公園南端の林の中を東に抜けて　須磨離宮花菖蒲園へ

須磨離宮花菖蒲園では　花菖蒲の花が咲き始めて
、いよいよ梅雨入り近し　2023.5.25.

須磨離宮公園では　春の掉尾を飾る春のバラ
遠く眺める大阪湾・須磨の海もくっきりと
花菖蒲園では　花菖蒲の花や紫陽花が咲き始めて
いよいよ梅雨入り近し
コロナが収束し、戸外へ自由に行ける喜び一杯
輝く神戸の空気を胸一杯
いよいよ梅雨入りへ
コロナ収束のうれしさがはじける２０２３年春でした
このままさらに希望・期待が広がる年になりますようにと
　2023.5.25.　春の掉尾を飾る須磨離宮公園の春のバラ
2023.5.25.　by Mutsu Nakanishi

神戸新聞2023.5.22.朝刊　「読者文芸　-　詩　-」より

「傘寿」

80歳になったら
どのように年を重ねたのか
鏡に映してみたかった
鏡の中の姿は紛れもない80歳の私

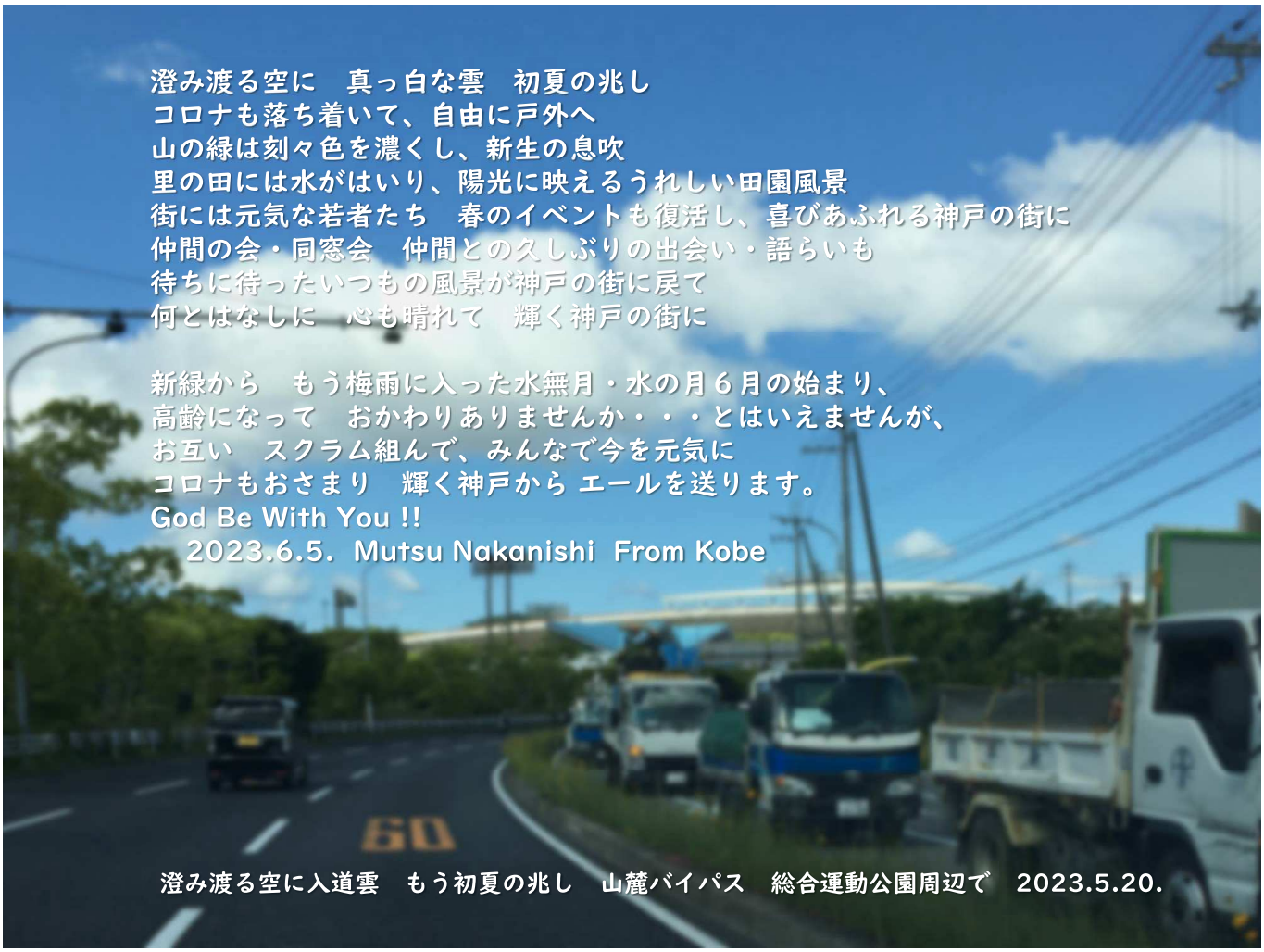
思っていた通りの姿ですか
想像していたよりも老いていますか
映っているのは現在の私ですか

振り向くと他の姿が映るかも
溢れるほどの道程を歩いて
やっとたどり着いた
鏡の中の姿
もう大丈夫
今が幸せだから

神戸新聞の読者文芸欄に入選作として
上記「傘寿」の詩が掲載された
ちょうど８０歳になる私
コロナがおさまって、同窓会が次々と…
恋しさと共に何をしゃべろうか‥‥と。
そんな折にこの「傘寿」の詩に出会った
「そうや　まぎれもない８０歳の私」
ストレートに今の気分を言い表している
この詩を披露しよう　あとは自然と言葉が出るやろう
同窓会では　みんなそんな気持ちか‥‥
嬉しい久し振りの出会いにみんなで盛り上がりました

80を迎えて　健康でいること & 仲間がいることに感謝です

久し振り
本年仲間の同窓会・元気会より



5月8日　新型コロナ「5類」に変更
なんとかコロナも落ち着いた動きに、行動制限も解け、自由に戸外へ
活気を取り戻した街に笑顔の人の波　イベントも目白押し
新緑の中で迎えた　神戸の街　春の輝き　一緒に楽しみました
仲間との一嬉しい再会も
まだまだ　花袋も多い本年ですが、この時ばかりは　愚痴は言うまい
梅雨に入りましたが、
共に元気に前向いて!!!　活気を取り戻した神戸の便りです
God Be With YoU!!
2023.6.5.　Mutsu　Nakanishi

新たな健康習慣
神戸新聞より

政府は5月8日から感染症法上の新型コロナウイルスの位置づけを「5類」に変更します。これに伴い、厚生労働省にコロナ対策を助言する専門家組織が、個人に求める今後の基本的感染対策として「新たな健康習慣」の見解をまとめました。

新型コロナ「5類」変更で

感染防止の五つの基本

1 体調に不安や症状がある場合は、無理せず自宅で療養するか受診
2 場に応じたマスク着用や、せきエチケット
3 換気、3密（密閉、密集、密接）の回避
4 手洗い
5 適度な運動と食事

新型コロナ「5類」に変更で

Q 新たな健康習慣？
A 基本的な感染対策として①症状がある場合などには自宅療養や受診②の場に応じたマスク着用やせきエチケット③3密（密閉、密集、密接）の回避や換気④手洗い⑤適度な運動と食事の五つを求めています。

Q 政府は既にマスク着用を個人の判断に委ねているけど、やっぱり着けた方が良いの？
A 専門家は、マスクには他人に感染させない効果や自身が感染するリスクを分類されていましたが、季節性インフルエンザや風邪、はしか、梅毒などと同じ5類に移行します。変更後は感染者の行動制限といった法に基づく強制的な措置は行われなくなります。

Q 5類への変更？
A これまでは「新型インフルエンザ等感染症」に下げる効果があると指摘しています。流行状況や周囲の混雑具合、重症化リスクの高い人がいるかどうかなどを考慮するよう recommend しました。外出時はマスクを携帯するよう訴えています。

Q 専門家は過去にも感染対策について見解を示したことがある。
A その通りです。政府の専門家会議が2020年5月、身体的な距離の確保やマスク着用を求める「新しい生活様式」を提言しました。しかし新型コロナ発生から3年を経て「必ずしも適当ではないものが含まれている」として、今回新たに見解を示しました。

Q 新型コロナの流行はこの先どうなるの？
A 専門家は今後も当面、流行は続くとみています。5類になってもウイルスの性質は変わりません。地域の流行状況に関心を持ち、自分や身近な人、社会を感染症から守ることが重要です。

ニュースなぜなに
新型コロナが「5類」に
対策、インフルやはしかと同じ
5類移行後、「定点把握」を初公表
コロナ感染者 増加傾向
は不安視
頻度や精度低下で独自集計も

収録1.　新聞記事を見て映画「ハマのドン」を見ました　2023.5.29.

映画「ハマのドン」パンフレットより

「カジノいらん」ドンの叫び
横浜への誘致阻止、記録映画に
「横浜港にカジノはいらん」。徹頭徹尾、一歩も譲らず、ついに誘致を阻止した91歳（撮影当時）。市民の集頭に立ち、誘致を進める政権と対立した横浜港ハーバーリゾート協会会長、藤木幸夫氏を追ったドキュメンタリー映画「ハマのドン」が6日から神戸市中央区元町通り、元町映画館で公開される。大阪ほまさに今、カジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）整備計画が進行中。「ドン」の叫びに注目が集まる。（鈴木久仁子）

神戸・元町で20日から公開

藤木氏は戦後の混乱期から横浜港湾に関わる事業を手掛け、横浜港の顔としてその発展に貢献してきた。地元政界をはじめ、歴代の総理経験者にも人脈を持ち、かつて「ハマのドン」と呼ばれた。

そんな人物が、なぜ、真っ向からカジノ誘致に反対する財界をはじめ、歴代の総理経験者にも人脈を持ち、かつて「ハマのドン」と呼ばれた。

そんな人物が、なぜ、真っ向からカジノ誘致に反対するのか。ここになっていくのが。映画は裏社会ともつながりがあった藤木氏の素顔をあぶり出していたという。自身、保守の重鎮とく。

「話題も知識量も半端なく、話も上手で、引きつけられる人物でした」と話す松原文枝監督＝大阪市内

松原監督「市民の手で政策覆せる」

映画の一場面 ©テレビ朝日

戦いの舞台になったのは2021年の横浜市長選。IR誘致に積極的だった当時の菅義偉首相が推す候補者に対し、反対を掲げる候補者を擁立。反旗を翻した。

時事で身を持ち崩す機械労働者を見てきた経験があるからこそ、「博打はダメだ」との一念は揺るがず、市民の反対の動きにつながっていく。

今回、初監督を務めた松原文枝さんは「テレビ朝日」で報道番組を手がけ、「報道局」でも長年携わってきた。

「藤木さんは裏の権力者と言われ、しかも自民党員。怖い人だと思っていた。こんな戦いをすれば、大変な不利益を被るだろう、狙われるかもしれない、勇気がある。尋常ならざる事態にカメラを回し始めた」と松原さん。しかし「いつ権力側に排除されるか分からない。ずっとにキドキしていた」とも。

そんな緊張感とともに進められた撮影では、自民党政治のほころびや夢のような経済効果をうたうカジノ誘致のメッキをはがしていく。

大阪では今、政府がIR整備計画を認定した一方で、反対運動も起きている。松原さんは「政治は自分たちの手の中にあり、市民が手を結べば、国の政策も、なきものにできるのだと感じてもらえれば」と話している。

6月2日まで。元町映画館 ☎078・366・2636

文枝さんは「テレビ朝日」で報道番組を手がけ、「報道局」でも長年携わってきた。

「藤木さんは裏の権力者と言われ、しかも自民党員。怖い人だと思っていた。こんな戦いをすれば、大変な不利益を被るだろう、狙われるかもしれない、勇気がある。尋常ならざる事態にカメラを回し始めた」と松原さん。しかし「いつ権力側に排除されるか分からない。ずっとにキドキしていた」とも。

そんな緊張感とともに進められた撮影では、自民党政治のほころびや夢のような経済効果をうたうカジノ誘致のメッキをはがしていく。

大阪では今、政府がIR整備計画を認定した一方で、反対運動も起きている。松原さんは「政治は自分たちの手の中にあり、市民が手を結べば、国の政策も、なきものにできるのだと感じてもらえれば」と話している。

6月2日まで。元町映画館 ☎078・366・2636

2023.5.7.神戸新聞夕刊より

神戸新聞夕刊記事　「横浜港にカジノはいらん!」2023/5/7

カジノ誘致を阻止した91歳「ハマのドン」 のドキュメンタリー映画が神戸元町映画館で公開

徹頭徹尾、一歩も譲らず、ついに誘致を阻止した91歳（当時）。市民の筆頭に立ち、誘致を勧める政権と対立した
横浜港ハーバーリゾート協会会長、藤木幸 夫氏を追ったドキュメンタリー映画
大阪ではまさに今、カジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）整備計画が 進行中。
「ドン」の叫びに注目が集まる。　（鈴木久仁子）

藤木氏は戦後の混乱期から横浜港で港に関わる事業を手がけ、横浜港の顔としてその発展に寄与 してきた。
地元政財界をはじめ、歴代の総理経験者にも人脈を持ち、かつては裏社会ともつながり があったという。
自身、保守の重鎮だ。そんな人物が、なぜ、真っ向からカジノ誘致に反対することになっていくのか。

映画では、その 言動に裏打ちされた哲学、歩いてきた道のりをひもとき、
「強面」の風評とは違う素顔をあぶり出 していく。
戦いの舞台になったのは２０２１年の横浜市長選。

ＩＲに積極的だった当時の菅義偉首相が推す候補者に対し、反対を掲げる候補者を擁立。反旗を翻した。
賭け事で身を持ち崩す港湾労働者を見てきた経験があるからこそ、「博打はダメだ」との一念は揺るがず
市民の反対の動きにつながっていく。

今回、初監督を務めた松原文枝さんは「テレビ朝日」で報道番組を手がけ、霞が関を長年見つめてきた。
「藤木さんは裏の権力者とも言われ、しかも自民党員。怖い人だと思っていた。
　こんな戦いをすれば、大変な不利益を被るだろうし、返り血も浴びるだろうに、勇気がある。
　尋常ならざる事態にカメラを回し始めた」と松原さん。
しかし「いつ権力側に籠絡されるか分からない。ずっとドキドキしていた」とも。
そんな緊張感とともに進められた撮影では、自民党政治のほころびや夢のような経済効果をうたうカジノ誘致
のメッキをもはがしていく。

大阪では今、政府がＩＲ整備計画を認定した一方で、反対運動も起きている。
松原さんは「政治は自分たち手の中にあり、市民が手を結べば、国の政策も、なきものにできるのだと感じて
もらえれば」と話している。　　**６月２日まで。元町映画館ＴＥＬ０７８・３６６・２６３６**

５月７日神戸新聞夕刊に上記の記事が掲載された。
具体的な実態がわからぬまま、大阪IR誘致の期待ばかりが取り上げられている今、
横浜がIR誘致を断念した理由やIR誘致運動の実態がわかる。ぜひ見なければ・…と。

横浜山下埠頭へのIR招致反対の中心人物のゆるぎない信念と市民運動の広がりを描いた映画「ハマのドン」
希望的評価のみで「誘致すれば大いに潤う」と突っ走る推進者たち。
ショックだったのはIRカジノの具体的な誘致運動の実態と儲かるのはIR建設業者とIR経営者のみという現実。
世界に数あるIRが夢破れ、散々な状況にある実態。自治体ほかIRの誘致推進者たちはどう見ているのだろうか・・・
「２５セントの投資が５００万円の収益を生み、簡単なサインのみで、その場で大金が小さなコインとして借り受けられる
**　システムとカジノの構造設計」の現実をカジノの建築設計を数多く手がけ、中身を知る設計者の具体的な話の説得力。**
とてもやないがトリクルダウン効果やカジノに訪れる人が儲けにあずかれるシステムでないことが暴かれる。
「賭博・バクチ」とはそんなものと知っていながら　個人も自治体も企業も建設の巨大投資のみに目がくらむ誘致展開。
でもこの「ハマのドン」のぶれることのない信念と気骨が市民と一体になって軌跡を生む。
今日本に一番欠けていることを教えてくれ、元気が出た。実に明確にIRの課題をとらえた記録と。
2023.5.29.　映画「ハマのドン」を観て　　From Kobe Mutsu Nakanishi

◎ 参考PDF　■ 神戸新聞記事　■ 映画「ハマのドン」パンフレット

2019年8月、“ハマのドン”こと藤木幸夫がカジノ阻止に向けて立ち上がった。御年91歳。

地元政財界に顔が効き、歴代総理経験者や自民党幹部との人脈、田岡一雄・山口組三代目組長ともつながりがあり、隠然たる政治力をもつとされる保守の重鎮だ。その藤木が、カジノを推し進める政権中枢に対して、真っ向から反旗を翻した。今の時代が、戦前の「ものを言えない空気」に似てきたと警鐘を鳴らし、時の最高権力者、菅前総理と全面対決した。決戦の場となったのは横浜市長選。藤木が賭けたのは、住民投票条例の署名を法定数の3倍をも集めた市民の力だった。裏の権力者とされる藤木が、市民とカジノ反対の一点で手を結び、時の総理と官房長官が推し進めた「カジノ誘致」国策阻止を成し遂げた。パーソナルな話題があふれるこの情報社会の中で、本来の保守とはなにか、人心を動かすとはどういうことか、社会のありよう、メディアの在り方、民主主義とはなんなのか。

本作を手掛けた監督はテレビ朝日の「報道ステーション」プロデューサーを務めた松原文枝。プロデューサーは「テレメンタリー」の江口英明と「民教協」の雪竹弘一。ナレーションにはリリー・フランキーが加わった。藤木が市民と手を取り合い、カジノ誘致を覆したその軌跡を追うとともに、市民の声が届かない今の時代の政治権力をどう見るのか。ここには一条の光がある。

港の親分。保守の重鎮。

世界のカジノ王「ラスベガス・サンズ」CEOのアデルソンは、日本進出を狙っていた。1兆円と言う巨額の投資額。ターゲットは横浜港の山下ふ頭だった。藤木が長年仕切ってきた現場だ。アデルソンは、トランプと安倍の首脳会談の前に開かれた朝食会にも出席している。態度を曖昧にしてきた市長の林文子は、カジノ誘致に向けて動き出した。これに敢然と立ち向かったのが藤木幸夫だった。藤木は横浜大空襲を生き延び、父親の時代からの港湾を引き継いできた。その中で博打だけはだめだと立ち上がったのだ。

身体を張った勝負師の行動は、多くの市民、自民党の長老、カジノ側の人物までも動かす。カジノ関係者が公にしたその実態は驚愕だ。一方、市民のカジノ反対の動きは燎原の火のごとく広がっていた。だが、その声は届かず、横浜市長選に持ち込まれた。藤木は無名の新人を押し立て、現職市長、そして、菅側近の現職閣僚を相手に闘うことになる。無謀とも言える闘い。その行方は――

hama-don.jp

収録2.　文珍さんの落語見聞録　「落語の台本　AIに依頼したら」2023.5.18.

神戸新聞

2023年（令和5年）5月18日 木曜日

神戸新聞社 〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7 電話（078）362局

文化

落語的見聞録

桂文珍

落語の台本 AIに依頼したら

チャットGPTなるものがある。いわゆる生成AIの一つだ。昨年末に世間にオープンされ、わずか数カ月で億単位の人々が使ってみられたとか。

文章やイラストなんぞ、オーダーすれば即座に答えてくれる。こんな便利なものができれば、人はますますAIに振り回されるのではないか。

仕事はどうなるのだろうと、不安を感じる方も少なくはないと思う。そこで、こんな文章がすぐ書けるのだったら、落語も自分で書いたり落語作家に依頼したりしなくてもAIがやってくれるのでは…と「落語」「夏の医者」を、桂文珍が演りたいので台本を600字ぐらいにまとめてくれ、とオーダーしてみた。すると、アッという間に答えが出た。読んでみたが、驚くほど面白くなかった。

落語らしく、医者と患者の対話になってはいるが、中身は夏の健康のための注意点だけで、笑える場所が無いのだ。ホッとした。と同時に、AIには感情（怒り、笑い、セクシャル等々）を表に出さないように、フィルターがかかって、管理されているのだとわかった。でないと危なくて仕方ない。あらゆる道具にはメリットとリスクがある。生成AIとて同じことだ。

落語「鬼の面」は田舎から船場に奉公に来た定吉、親が恋しく、エビスとお多福の面を箱に入れ、これを父母と思って朝夕に眺めていた。番頭がある日、イタズラでエビスの面を鬼の面に入れ替えた。定吉は驚き、父親の身に何かあったのだと、無断で奉公先を抜け出し、田舎へ帰る途中、日が暮れ、寒さと空腹で無人の小屋で横になったが、すき間風で鼻の頭が冷たい。そこで懐の鬼の面をかぶり、トロトロすると、人のよびっくり、代官に知らせる。役人は「御法度の博打の金なれば必ずその方に下げ渡す」と純な親思いの定吉と正直者の父親に後日、金子が渡されたという噺。

最近、面をかぶった4人組が銀座の高級時計店を襲い、すぐにお縄になっていた。メンバーはSNSで集められた闇バイトの若者だったらしい。ネット社会を悪用する輩がいる。生成AIも、うまく使って清々としたい。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は6月15日＝

5月も新聞・インターネットの話題として、世界的なニュースが賛否両論。

よく知らないまま、うのみにすると大変なことになる。映画「横浜のドン」を見て知ったIR誘致の問題と同じ命題。有用であることとその質の命題。技術屋がいつもロにする歯止めの利かぬコストダウンの追求と同じ課題。人間の人間たる所以は「他利の心・他を思いやる心」。
それをAIはどう受け止めるのか・・・。一人では弱い人類が生き延びてきた人類生存の道を閉ざす独りよがりへの危険の警鐘を鳴らす人も多い。原水爆・核の道とも通ずる厳しい課題。偽情報・誘導情報の類やAIの悪用はますます巧妙になっている。何も考えずに独りよがり 数に頼る最近の日本の風潮にも警鐘を鳴らす。

2023.6.1.
From Kobe
Mutsu Nakanishi

困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た　今できることを精一杯
無理せずゆっくりと
いつも　思いをはせています。
「忘れまい　忘れないで　仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」．
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈りより．

もう　自分の時代ではないと感じる昨今ですが、
まだまだ好奇心旺盛　気力もあり、足も復活。
不定期になりそうですが、元気に前向いて発信をと。

後期高齢者だからとは言えなくなった新時代
みんなの一番の願いは穏やかな日常生活再建
まず第一歩を前向いて

困難の中にある仲間に思いをはせています。
老いと向き合う年になりました
一人で頑張らず、無理せずみんなに声あげて!!

仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌
互いに連絡取り合って
元気に前向いて笑顔で今を。

仲間の元気は みんなの応援歌 !!
頑張りすぎず、時には声をあげて !!
お互いスクラム組んで
今を前向いて

笑顔で逢えるのを 楽しみにしています
どうか 無理せず、元気にお過ごしください
また連絡ください

God Be With You!!
From Kobe
Mutsu Nakanishi

神戸新聞2023.5.22.朝刊　「読者文芸 - 詩 -」より

「傘寿」
80歳になったら
どのように年を重ねたのか
鏡に映してみたかった
鏡の中の姿は紛れもない80歳の私
思っていた通りの姿ですか
想像していたよりも老いていますか
映っているのは現在の私ですか
振り向くと他の姿が映るかも
溢れるほどの道程を歩いて
やっとたどり着いた
鏡の中の姿
もう大丈夫
今が幸せだから

神戸新聞の読者文芸欄に入選作として
上記「傘寿」の詩が掲載された
ちょうど８０歳になる私
コロナがおさまって、同窓会が次々と…
恋しさと共に何をしゃべろうか‥‥と。
そんな折にこの「傘寿」の詩に出会った
「そうや　まぎれもない８０歳の私」
ストレートに今の気分を言い表している
この詩を披露しよう　あとは自然と言葉が出るやろう
同窓会では　みんなそんな気持ちか‥‥
嬉しい久し振りの出会いにみんなで盛り上がりました

80を迎えて　健康でいること & 仲間がいることに感謝です

久し振り
本年仲間の同窓会・元気会より

紛れもない８０を迎える私　今を精一杯
老化は仕方なし　でもまだ足は動く　好奇心・気力もあり
God be with You!!と呪文を唱えつつ　　2023.6.5.　Mutsu Nakanishi

From Kobe
2023【7&8】

ひまわりの夏 2023 神戸便り　　2023.8.1.

厳しい夏　お変わりありませんか‥‥　自宅のある若草の丘からながめる須磨アルプス　もう野の百合が咲きだしました

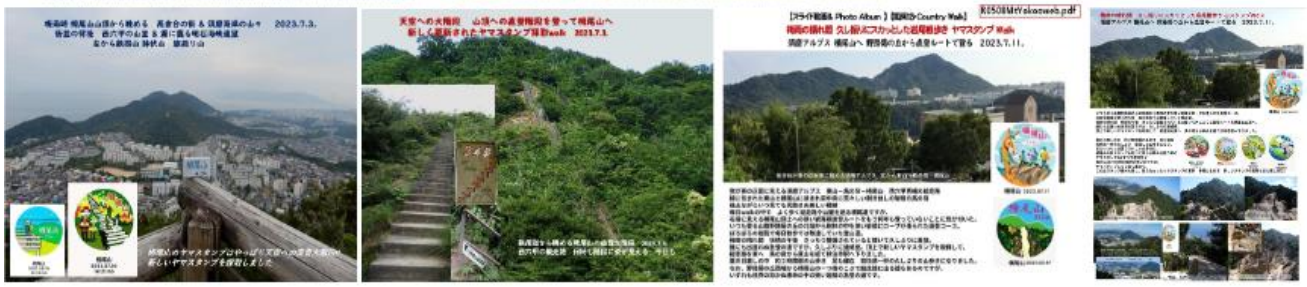
酷暑が続く毎日　無理せず　毎日を元気に　2023.8.5.
■ひまわりの夏2023　photo 点描
■8月が来るといつも見直す自分　やっぱり気にかかる先行き、平和な暮らし
「命は宝」「NO WAR」原爆の恐怖と苦しみ
核兵器廃絶は地球人が生き延びる道　平和な暮らしをとりもどそう
【収録１】ひまわりの夏　2023.　Photo Album
【収録２】文珍さんの落語見聞録
認知症の薬名前思い出せず 2023.7.20.神戸新聞より

暑中お見舞い申し上げます
梅雨末期の集中豪雨が各地で猛威を振るいましたが、
梅雨が明けると過酷な酷暑が続く2023年ひまわりの夏
酷暑と台風　そして流行の兆し新型コロナ７波にも負けぬよう
どうか御自愛ください
無理せず　感度をあげて御身お守りください
God be with YoU!!　From Kobe
ひまわりの夏2023　2023.8.1.　Mutsu Nakanishi

厳しい夏の始まり　元気を貰ったひまわりの夏
真っ青な空にもくもくと入道雲　うれしいひまわりの夏到来
久し振りに原チャリで駆けて　小野のひまわり畑へ
また、初夏の京都も３年ぶりか‥
是非見たかった府立植物園に咲くバオバオの花
幟を翻しながら京の街を堂々と行く大船鉾の姿に一目散
久し振りの夏の京の祭りに酔いしれました
この夏を乗り切るエネルギーの一助になれば・・・・・・・

コロナ収束 行動節制が外れたひまわりの夏 2023 確実に歳はとりましたが、自分も仲間も元気な夏に。
厳しい世相の中、暑い夏 まだまだ酷暑がつつきますが、無理せず御自愛ください 元気に毎日を
God be with You!!　2023 盛夏 From Kobe　Mutsu Nakanishi

Photo Album　真っ青な空にもくもく立ち上る入道雲 2023 ひまわりの夏 点描　20223.8.5.



コロナ収束行動節制が外れ、あれもしたいこれもしたいと思いが募る３年ぶりの夏
確実に歳はとりましたが、まだまだ足は動くし、自分も仲間も元気なうれしい夏に。
気がかりはますます激甚化する気候変動　いつ我が身にとの核の脅威とウクライナの平和
毎年恒例にしていた兵庫の夏の風物詩との出会い。待ちかねた夏のひまわりと朝顔
祇園囃子と共にあの復活した大船鉾が幟を翻しつつ、都大路を行く堂々とした姿も見たい
思いつくまま　気の向くまま　家籠りを脱して　この夏を楽しみたいとひまわりの夏 2023HP
重複しますが、From Kobe に抜粋掲載しました。

この夏　仲間が送ってくれたメールや LINE・Tel 等を使って　元気いっぱいの便りの一部です
仲間の元気は生きる力　みんなの応援歌　ありがとうございます

佐用 東徳久のひまわり畑 今年も数多くの元気なひまわりに出会えました　2023.7.

古代たたらの郷 佐用 千種川が流れ下る東徳久の里のひまわり畑

≪京都の夏(1)　府立植物園 アフリカの巨樹バオバブ大 輪の一夜花 と下鴨神社の御手洗祭≫　　2023.7.27.

≪京都の夏(2)祇園祭後祭　山鉾巡行幟を翻し都大路を行く勇壮な大船鉾≫　2023.7.28.

京都府立植物園から眺める比叡山の夏姿　2023.7.23.

初夏暑い温室の中で　真っ暗な夜中に咲いて朝には茶色くしぼみ始め、
昼には茶色く変わりつつ萎んでしまうアフリカ バオバオの巨樹の花。
「星の王子様」に出てくる花で　巨樹本体と花の取り合わせの妙
毎年楽しみで今夏もむし暑い京都府立植物園温室の中で　2023.7.23.
バオバオ樹のモニュメント下で、仲間が一体になって踊った思い出の巨樹の花

朝　真白な花が巨樹のえだからぶら下がって咲き、昼には茶色く変色してしぼんでしまう。時期を逃すと見られない。祇園祭の頃の７月下旬が一番の咲き頃かつて民博の西アフリカの特別展に参加して、「これが星の王子様の木か・・」と初めて知ったヘンテコな巨樹。枝から下に釣り下がったランプのように大輪の花をつける。そして、一夜明けると昼には花の姿が見られなくなる。民博で附塗化の仲間やみんなで輪になって踊った懐かしい思い出の巨樹。

祇園祭になると電話をかけて、咲き頃を確かめて見に出かける。コロナが収束して久し振りに見るバオバオの花。思い出深い花。　この酷暑の中　温室の花見に焼くのはあんただけや・・・・と家内は言う。

翌日は祇園祭後祭りの山鉾巡行　巡行の最後を行く、勇壮な大船鉾の姿にも魅了。うれしい夏の始まりになりました。

8月が来るといつも気にかかる先行き、平和な暮らし・

「命は宝」「NO WAR」　原爆の恐怖と苦しみ　核兵器廃絶は地球人が生き延びる道

日本 ・世界に平和な暮らしをとりもどそう

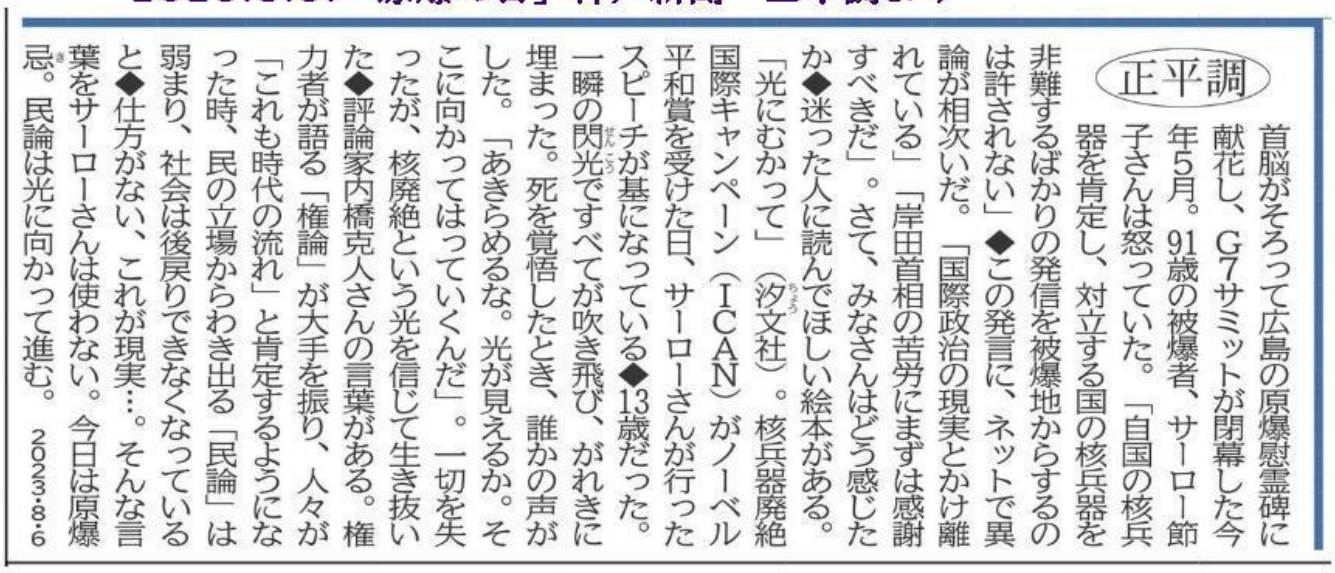
一日も早くウクライナに平和な暮らしが戻りますように

勝手なことをまたぶつぶつですが、

平和理念の底にある原点を一人一人の胸に　ダメなものは駄目だと・・・・

「命は宝」そして「日本は早急に核兵器廃絶・核兵器不拡散条約に参加を」

2023.8.5.「原爆の日」神戸新聞　正平調より



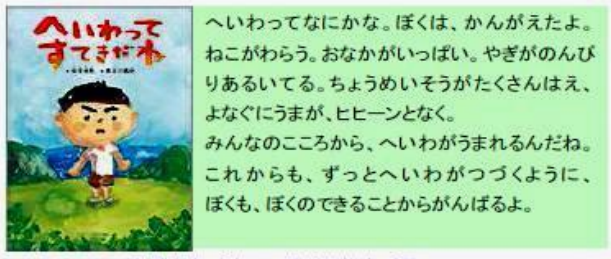
正平調

首脳がそろって広島の原爆慰霊碑に献花し、G7サミットが閉幕した今年5月。91歳の被爆者、サーロー節子さんは怒っていた。「自国の核兵器を肯定し、対立する国の核兵器を非難するばかりの発信を被爆地からするのは許されない」◆この発言に、ネットで異論が相次いだ。「国際政治の現実とかけ離れている」「岸田首相の苦労にまずは感謝すべきだ」。さて、みなさんはどう感じたか◆迷った人に読んでほしい絵本がある。「光にむかって」（汐文社）。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受けた日、サーローさんが行ったスピーチが基になっている◆13歳だった。一瞬の閃光ですべてが吹き飛び、がれきに埋まった。死を覚悟したとき、誰かの声がした。「あきらめるな。光が見えるか。そこに向かってはっていくんだ」。一切を失ったが、核廃絶という光を信じて生き抜いた◆評論家内橋克人さんの言葉がある。権力者が語る「権論」が大手を振り、人々が「これも時代の流れ」と肯定するようになった時、民の立場からわき出る「民論」は弱まり、社会は後戻りできなくなっていると◆仕方がない、これが現実…。そんな言葉をサーローさんは使わない。今日は原爆忌。民論は光に向かって進む。　2023.8.6

上記神戸新聞「正平調」氏の言葉。今一番こころに響く平和の願いの言葉が詰まっている。
私にとっては今一番すっと受け入れられる言葉です。
日本は 広島・長崎そして福島で起きた惨状・原爆の恐ろしさを封印してしまっている
思いはひとそれぞれでしょうが、しっかり受け止めねばと感じています。

2023.8.5. From Kobe　Mutsu Nakanishi

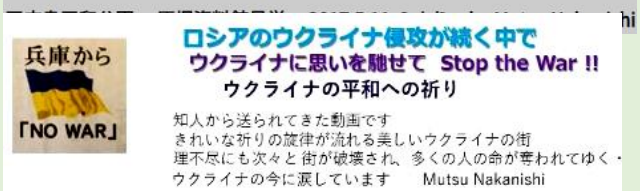
８月５日　原爆の日に寄せて　平和を願って　決意も新たに!!



◆　安里有土君の詩
(2013.6.23.発表当時小学１年生.)
「 へいわって　すてきだね 」

◆ Photo **「 原爆資料館 ＆ オバマさんの折り鶴 」**

◆ スライド動画　広島平和公園・ 原爆資料館見学
(3mins53)1min 23s 後から映像展示資料
原爆を投下された広島の映像が入っています



■ ウクライナ讃美歌　「ウクライナへの祈り」

毎年8月　皆様に配信しているひまわりの夏 2023
今年もまっ黄色の明るいひまわりを届けることができました。

もう　頭まわらずで、本年より記述を少なくして、Photo 記録でお伝えできればと、パワーポイントを使って、
スライド動画・PDF 保存資料にまとめて配信するスタイルに変更しています。
これで　PC・スマホ・iphone　での閲覧と記録がしやすくなりました。ご了解ください。
また、上記をもとに、まだ途上ですが、PC・スマホ・iphone　での閲覧を見やすくするよう手を付けた次第。
頭の体操にもなりました。
ホームページ更新　8月メッセージをどうしようかと考えあぐねている時に接した
神戸新聞8月5日正平調のメッセージ。取り残され感がある今の自分に一番す～と入ってきたメッセージ。
元気を貰ってそのまま掲載せていただきました。

コロナ収束　行動節制が外れたひまわりの夏 2023　確実に歳はとりましたが、自分も仲間も元気な夏に。
まだまだ厳しい世相の中ですが、元気に毎日をと。
それにしても暑い夏　まだまだ酷暑がつつきますが、無理せず御自愛ください

God be with You!!
2023 盛夏 From Kobe　Mutsu Nakanishi

困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た　今できることを精一杯
無理せずゆっくりと
いつも　思いをはせています。
「忘れまい　忘れないで　仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
変えられるものを変える「勇気」．
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈りより．

God be With you !!
from Kobe Mutsu Nakanishi

【From Kobe 2023 8 月】ひまわりの夏 2023 神戸便り

収録 1.　コロナも収束して新しい時代に　日本の先行きは???
今 頭によぎる不可思議な日本　年寄りの戯言です

理念なき日本の矛盾がもうあからさまに
もう飽き飽きの TV　いつまで続けるのか芸能化志向　news も　NHK も・・・・・
新聞は一般紙・地方紙共に大幅部数減少の苦しみが紙面に現れている。
昔人間の私には、やっぱり後に残り、じっくり読める文章・文書なき世界にはなじめない。
拙速の言葉もある。　熟慮・判断力を養うのにすぴーどを求めるのは愚ではないか・・・・
あまりにも無責任な検証なき高度情報化・スマホの世界 今度はチャット AI だと・・・・・
でも　通信情報網ではりめぐらされた混乱のおおきさにも目を向けよう。
・一か所の電車ポイント故障が首都圏の交通圏を何時間もストップさせる・・・・
・マニュアルだけでは動かぬ機械・組織　マニュアル担い現場技術の伝承
その場限りの自己弁護の無責任情報が社会の主流に
スマホ社会・日本の情報化はまさに親方日の丸社会に逆戻りしつつあるのではないか・・・・と。
年寄りのぶつぶつです。考えはひとそれぞれ　でも一度振り返ってみてほしい。

● インバウンドで外国から大勢押しかけ、京都など日常の暮らしが脅かされる
東京へは長くいってないのでよくわからぬが大阪難波・京都・神戸三宮を
歩く外人みれば今の日本が見えてくる。
円安の日本の所得水準・・・・　株価は上がれど生活を苦しめる物価高
手をくださず、人頼み、丸投げの無責任政治
丸投げされればされるほど儲かる輩がいる　でも 手を下している現場は益々疲弊
知恵を駆使して先端を切り開くリーダーとそれを実現する現場は両輪
それが繋がらぬ日本　自分優先が新しい　先端だという。

● 円安/ドル高の構図　どうみても日本がおかしい・・・・・・・・
高い資源・原料をドル建てで買って　製品を円で作って、　安い円をドル換算で外国に売る
この差額がみんな日銀国債でたまっているから、誰も気にしない。
今　外人が押し寄せ、大量の株を買う外国資本
高くても買わねばならぬ日本　それを商品・暮らしとして回さねばならぬ日本
物価安定・外国との賃金格差
これら吸収しているのが、日銀にたまる膨大な「紙切れ国債」だ。
国民一人一人の負債　破綻すれば国民一人一人にのしかかる。
知恵はあるのだろうか・・・・・

上記　常々頭を巡らすのですが、よくわからず、年寄りのぶつぶつの虚言。
でも　昔外人さんたちが善く歩いている街「大阪の難波」へ行けば　世界と日本の関係がよく見えると…
どう考えても、今の日本のひとたちよりも外国の人たちの方が裕福に見える。
わけのわからぬその場対応の丸投げで、全く周囲の観察・チェックもしない国内の富の分配に明け暮れる
政治家や起業家の意識ではどうにもならぬ。　もう外交以前の日本の課題と見える。

人類が生き延びてきた道は「他を思う心」とそれが生み出した「知恵と物」
地球４６億年　鉄の惑星　良いことも悪いことも一杯作り出してきた「鉄」
なんでもかんでも「鉄」にひっつけて　かんがえるんやなあ・・・とよく言われる。
でも、「鉄」の仕事に携わってきたものとして、「鉄」が輝きを取り戻し、
新しい道を切り開いてくれるものとの期待一杯です
「人間は一人だけでは生きてゆけない」
今や人類の危機　核戦争と灼熱化する地球　一人一人が考えよう　地球人そして平和な暮らし
とりもどそう日本　そして　平和な暮らし　勝手なことをひとりぶつぶつです

2023.8.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

収録 **2. 文珍さんの落語見聞録**

認知症の薬名前思い出せず　神戸新聞7月20日朝刊より

神戸新聞
2023年（令和5年）
7月20日
木曜日
神戸新聞社
電話（078）362局

文化

落語的見聞録

桂文珍

認知症の薬 名前思い出せず

世論調査なるものがあって、岸田内閣を「支持する」とか「しない」とか、コンピューターか何かが番号を選んで電話がかかってくると知ってはいたが、まさか自分が実家にいるタイミングで調査の対象になるとは…。「支持するは○番を、しないは○番を、わからなところがどっこい、実家は黒電話、あのダイヤル式のジーコジーコ、指で回すレトロな電話機、昭和な感じそのままに使っている。

押して下さいができない。仕方なく○番に指を入れて指止めまで回した。すると「電話をお切りください」と、いきなり調査対象から外された。アハハ、世論にも入れなかった。ヨロンに行けず、沖縄にも石垣島にも行けないわ。

何もかもがデジタル時代。デジタル庁はマイナンバーカードでトラブル続き。健康保険証と一体化なさるらしい。ヒモ付きヒモ付きって、何でヒモが…きっと落とさないように首からぶら下げるのかと一瞬思った。夏休みのラジオ体操のスタンプカードじゃあるまいしとツッコミを入れた。自らも高齢者になると物を置き忘れたり探したりするのに時間がかかる。ゆえに最近はカード入れを首からぶら下げている。その中に私のマイナンバーカードを入れているのだから、元々ヒモ付きじゃわいと。

この激しい物忘れ、ひょっとして認知症だったらどうしよう。いいお薬がアメリカで承認されたらしい。やがて日本でも…朗報だ。ありがたい。

落語「くっしゃみ講釈」。好きな女性と2人きりで会っていた男が、講釈師に邪魔をされた腹いせに講釈中に客席からコショウの粉を火にくすべて煙が鼻の穴に入るとエグイくしゃみが出る、そのとき、講釈師にボロクソに言って帰ろうと計画。早速、コショウの粉を買いに行くが、この男、すぐ物の名前を忘れる。好きな芝居のことなら思い出せるというので、きっかけを「八百屋お七」のお七の相手、駒込吉祥寺小姓の吉三と決めた。小姓でコショウを思い出せと教えられ、八百屋に行くと案の定忘れ、教えられた通り大きな声で一段語ってやっとコショウを思い出すが、売り切れ。代わりにトウガラシの粉をくすべて煙を出し大変な騒動になる面白い噺だ。

この男と同じように私もよく忘れる。認知症を進ませない薬の名…エーと、ウ～思い出せない。

（かつら・ぶんちん＝落語家）＝次回は8月17日＝

今回も文珍さん快調　　今 大きな話題となっているマイナンバーカードと健康保険証の一体化問題。
年寄り誰も今の保険証使うことで困ってないよ。ややこしい紐ひも付きなんてと思うのですが。

本題にもどって　年寄りの物忘れ
関連することを頭に浮かべて思い出す。でも　それもよく忘れる。もう年寄り　半分はあきらめ。
それでも　年寄り 助けてほしいなぁ‥。

落語「くしゃみ講釈」　東京・大阪数多くの落語家が演ずる話。
落語家によって演じ方が違う滑稽話で、 今もよく聞く落語。
今やったらそれこそインスタに挙げられて大問題。でもギスギスしないこんな時代があったと毎度嬉しくなる。
「八百屋お七」のからくりの一段。落語家の個性が出て耳に残る

暑い夏の夜　落語を聞きながら笑って眠るのも良し。6 月の文珍さんの落語見聞録が抜けました。
うっかり新聞紙面破棄してしまいました。別途追加させていただきます。

2023.8.5.　Fropm Kobe
Mutsu Nakanishi

From Kobe 2023【9】　９月の始まり 夏から初秋へ 神戸季節の便り　fkobeR0509.pdf

今頭にあること ＆ 西神戸須磨近郊 季節の移ろい点描 2023.

酷暑と目まぐるしく変わる天候の中で　お互い無理せず今を元気に　2023.9.10.

酷暑と台風　そして新型ころなにもまだ気を付けて
どうか無理せず感度をあげて　御身お守りください
「命は宝」「NO WAR」
みんながみんな平和な暮らしが早く取り戻せますよう
仲間の元気はみんなの応援歌　スクラム組んで毎日を
"God be with You!!" "You Raise Me Up" と唱えつつ
From Kobe 2023.9.10. Mutsu Nakanishi

1. 今頭にある気にかかる事　先が見えぬ日本　日本は何処へむかうのか　最近のインターネット・新聞より
   - ■ 若者の時代と言えども忘れてはいませんか「爺さんの声・・・・」
     神戸新聞コラム「正平調」９月１０日「間を大切にしませんか」
   - ■ 最近のインターネット・新聞より　　気にかかる日本　日本は何処へ向かうのか‥‥
     日本人は己の価値に全く気付いていない…　谷本 真由美著述家、元国連職員
   - ■【HP 前月８月の記事】より　コロナも収束して新しい時代に　日本の先行きは???
2. ９月夏から初秋へ　季節の移ろい点描 2023.
   - 2.1. 毎日の散歩道で見た夏から秋へ　ゆっくり目を凝らせば見えてくる季節の移ろい
     - ● 神戸 の散歩道から眺める初秋　空の雲が織りなす西神戸須磨近郊の山・海・街
     - ● またひとつ新しい散歩道発見　名谷から静かな旧道・遊歩道を通って妙法寺へ　2023.9.9.
   - 2.2.　もう西六甲の縦走路脇にはキノコが出だしました

【収録 1】文珍さんの落語見聞録　　盆の時期も終わりましたが、「お盆のナスに 似てきたなぁ」
【収録 2】今頭にある気にかかる事　先が見えぬ日本　日本は何処へむかうのか

1. 今頭にある気にかかる事　先が見えぬ日本 日本は何処へむかうのか

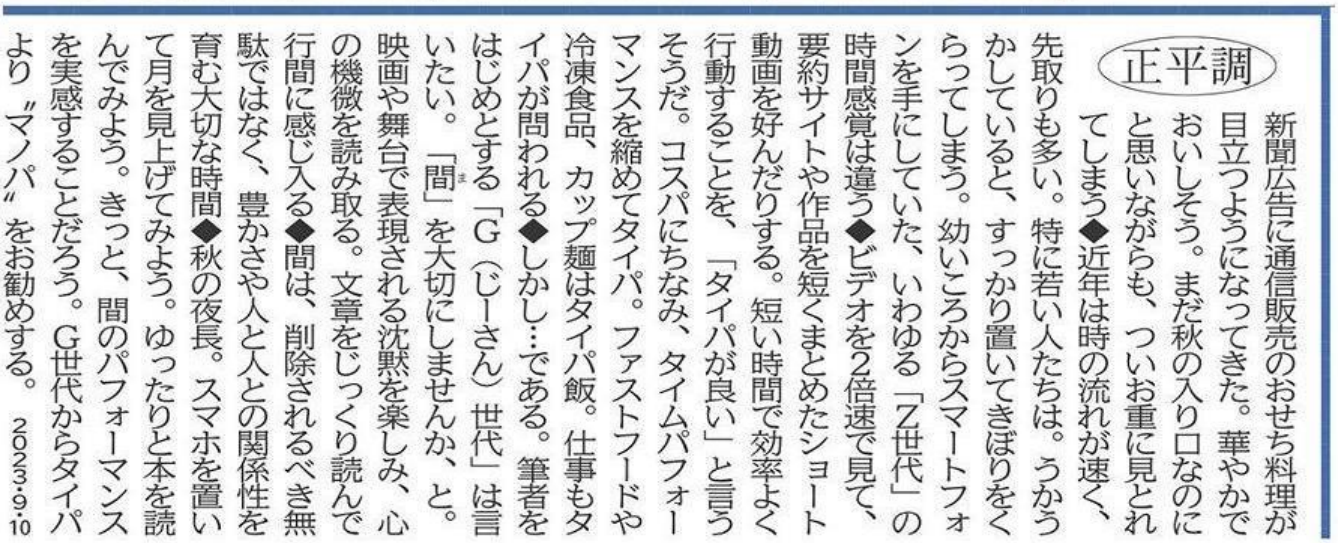
最近のインターネット・新聞より　by Mutsu Nakanishi

■ 若者の時代と言えども忘れてはいませんか「爺さんの声・・・・」
　神戸新聞コラム「正平調」９月１０日「間を大切にしませんか」
■ 最近のインターネット・新聞より　気にかかる日本　日本は何処へ向かうのか‥‥
　日本人は己の価値に全く気付いていない…　谷本 真由美著述家、元国連職員
■【HP 前月８月の記事】より　コロナも収束して新しい時代に　日本の先行きは???

九月になって　さすがの入道雲にも衰えの兆し、朝晩はめっきり涼しくなりましたが、まだまだ続く酷暑。
それに台風襲来が追い打ちをかけての集中豪雨。地球温暖化による気象の激甚化が襲いかかる。
いかがでしょうか　お変わりございませんか　どうか　無理せずわが身をお守りください。
あっという間に季節も深まり残暑とは言えなくなりましたが、
まだまだ昼間の坂道は身に堪えます。どうか　無理せず毎日を元気に…

また、平々凡々の毎日ですが、漏れ聞く世相の変化と行き先不安に　これで日本はいいのだろうかと。
若者の時代と肝に銘じつつ、でも"命は宝"　"No War From Kobe"
みんながみんな平和な暮らしが早く取り戻せますように……
HP更新が遅れた９月１０日の神戸新聞コラム「正平調」に「爺さんの声・・・・」として下記のコラムが・・・・・・・・・
なにか日本のいいところを忘れてはいませんか・・…

神戸新聞朝刊コラム「正平調」2023.9.10.より　「間を大切にしませんか」



正平調

新聞広告に通信販売のおせち料理が目立つようになってきた。華やかでおいしそう。まだ秋の入り口なのにと思いながらも、ついお重に見とれてしまう◆近年は時の流れが速く、先取りも多い。特に若い人たちは。うかうかしていると、すっかり置いてきぼりをくらってしまう。幼いころからスマートフォンを手にしていた、いわゆる「Z世代」の時間感覚は違う◆ビデオを2倍速で見て、要約サイトや作品を短くまとめたショート動画を好んだりする。短い時間で効率よく行動することを、「タイパが良い」と言うそうだ。コスパにちなみ、タイムパフォーマンスを縮めてタイパ。ファストフードや冷凍食品、カップ麺はタイパ飯。仕事もタイパが問われる◆しかし…である。筆者をはじめとする「G（じーさん）世代」は言いたい。「間」を大切にしませんか、と。映画や舞台で表現される沈黙を楽しみ、心の機微を読み取る。文章をじっくり読んで行間に感じ入る◆間は、削除されるべき無駄ではなく、豊かさや人と人との関係性を育む大切な時間◆秋の夜長。スマホを置いて月を見上げてみよう。ゆったりと本を読んでみよう。きっと、間のパフォーマンスを実感することだろう。G世代からタイパより〝マノパ〟をお勧めする。2023・9・10

また、インターネットを眺めていて、こんな記事にも出逢いました。
最近の新聞・Internetより

気にかかる日本　日本はどこへ向かうのか……

■　日本人は己の価値に全く気付いていない…　谷本 真由美著述家、元国連職員

世界中で圧倒的な人気を誇る"日本では当たり前"の身近な製品
命を左右するような戦場で日本製は信頼できる
日本が世界に存在感を示せるものは何か。
イギリス在住で著述家の谷本真由美さんは「日本人は世界から生真面目で信用されているため、車や家電など業務用の機械など専門性の高い製品はまだまだ日本製が強い。命を左右するような戦場で、イスラム国のテロリストさえ乗っている車はトヨタのピックアップトラックである」という――。

PRESIDENT Online　2023/08/31 6:00　https://president.jp/articles/-/73028?page=1　より

激変する国際情勢の中で、先が見えぬ日本。　政治は相変わらずの老害・先送り・丸投げの場当たり政治の中で、
見つけた　この谷本真由美氏のプレジデントオンラインの記事。
きっちり根拠・検討がなされている訳でもなく、「近視眼的な良いとこ採りの極端な記述が並べられている」との
匂いもあり、また、谷本氏の著作?「激安ニッポン」の販売戦略の為の記事にも見える。
でも、先進国の中で日本だけが超低金利・円安誘導の政治が続く。
日本の中にいると見えぬ実態が描かれているのかも知れないと。
全面的に賛同しているわけではありませんが、なにか、面白く「ふむふむふむ」と
私の今の思いに響くところもあり、　参考までに記事転記。
今月のFrom Kobe 9月収録2として収録しています
2023.9.1.　Mutsu Nakanishi

今月の From Kobe ９月　収録２

最近の新聞・Internet より「気にかかる日本　日本はどこへ向かうのか……　」

■日本人は己の価値に全く気付いていない…　谷本 真由美著述家、元国連職員

■この夏の神戸新聞コラム「正平調」にはこんな話題も　今曲がり角にいる日本

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0509A.pdf

---

参考　【HP 前月８月の記事】より　　2023.8.1.　by Mutsu Nakanishi

コロナも収束して新しい時代に日本の先行きは???

今 頭によぎる不可思議な日本　年寄りの戯言です

理念なき日本の矛盾がもうあからさまに
もう飽き飽きのTV いつまで続けるのか芸能化志向　newsも　NHKも・・・・・
新聞は一般紙・地方紙共に大幅部数減少の苦しみが紙面に現れている。
昔人間の私には、やっぱり後に残り、じっくり読める文章・文書なき世界にはなじめない。
拙速の言葉もある。　熟慮・判断力を養うのにすぴーどを求めるのは愚ではないか・・・・
あまりにも無責任な検証なき高度情報化・スマホの世界 今度はチャットAIだと・・・・・
でも　通信情報網ではりめぐらされた混乱のおおきさにも目を向けよう。
　・一か所の電車ポイント故障が首都圏電車を何時間も・・…
　・マニュアルだけでは動かぬ機械・組織　マニュアル担い現場技術の伝承
その場限りの無責任情報が社会の主流に　スマホ社会・日本の情報化はまさに親方日の丸社会に逆戻り
年寄りのぶつぶつです。考えはひとそれぞれ　でも一度振り返ってみてほしい。

●インバウンドで外国から大勢押しかけ、京都など日常の暮らしが脅かされる
東京へは長くいってないのでよくわからぬが大阪難波・京都・神戸三宮を
歩く外人みれば今の日本が見えてくる。
円安の日本の所得水準・・・・　株価は上がれど生活を苦しめる物価高
手をくださず、人頼み、丸投げの無責任政治
丸投げされればされるほど儲かる輩がいる　でも 手を下している現場は益々疲弊
知恵を駆使して先端を切り開くリーダーとそれを実現する現場は両輪
それが繋がらぬ日本 自分優先が新しい　先端だという。

●円安/ドル高の構図　どうみても日本がおかしい・・・・・・・・
高い資源・原料をドル建てで買って　製品を円で作って、　安い円をドル換算で外国に売る
この差額がみんな日銀国債でたまっているから、誰も気にしない。
今　外人が押し寄せ、大量の株を買う外国資本
高くても買わねばならぬ日本　それを商品・暮らしとして回さねばならぬ日本
物価安定・外国との賃金格差
これら吸収しているのが、日銀にたまる膨大な「紙切れ国債」だ。
国民一人一人の負債　破綻すれば国民一人一人にのしかかる。
知恵はあるのだろうか・・・・・

人類が生き延びてきた道は「他を思う心」とそれが生み出した「知恵と物」
地球４６億年　鉄の惑星　良いことも悪いことも一杯作り出してきた「鉄」
「鉄」の仕事に携わってきたものとして、「鉄」が輝きを取り戻し、
新しい道を切り開いてくれるものとの期待一杯です

「人間は一人だけでは生きてゆけない」
今や人類の危機　核戦争と灼熱化する地球　一人一人が考えよう　地球人そして平和な暮らし
とりもどそう日本　そして　平和な暮らし　勝手なことをひとりぶつぶつです
2023.8.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

2.　９月夏から初秋へ　季節の移ろい点描 2023.

2.1. 毎日の散歩道で見た夏から秋へ　ゆっくり目を凝らせば見えてくる季節の移ろい

- ● 神戸 の散歩道から眺める初秋　空の雲が織りなす西神戸須磨近郊の山・海・街
- ● またひとつ新しい散歩道発見　名谷から静かな旧道・遊歩道を通って妙法寺へ　2023.9.9.

2.2.　もう西六甲の縦走路脇にはキノコが出だしました

2. 毎日の散歩道で見た西神戸近郊の夏から秋へ　８月下旬から９月上旬

ゆっくり目を凝らせば　季節の移ろいが大きく広がって見えてくる。 今まで見えなかった世界が見えてくるのが楽しみ。
この９月の空の雲の夏と秋とのせめぎあい、海には霞が取れて遠くまで見える大阪湾。明石大橋の向こうにうっすら見える小豆島
新聞で読んだ神戸に入港していた帆船海王丸が訓練生を乗せて紀淡海峡へ向かう姿も・・・・
眼を足元に転ずれば、山道の端にに小さなきのこが顔を出し、見上げる樹木の葉は新緑から黄色く色好き始めている。
神戸の街の小さい秋みぃ～つけた。

≪初秋の空の雲が織りなす西神戸須磨近郊の山・海・街≫

高取山山腹　飛竜寺から眺める北側　鵯越から菊水山の山並　2023.8.28.
中央に山陽バイパス丸山大橋周辺がみえ、右端に菊水山が見える

高取山山頂高取神社から眺める神戸の街そして大阪湾浴岸　2023.8.28.

夏から秋の空へ　雲がゆっくり流れて美しい　加古川東岸河美加古の大池で 2023.9.2.

2023.8.25.夕　初秋の夕暮れ　明石海峡・播磨灘　須磨旅振山より
今日はよく澄んで、小豆島が見える

≪またひとつ新しい散歩道発見　名谷から静かな旧道・遊歩道を通って妙法寺へ　2023.9.9.≫

名谷へ薬を貰いに行った帰り、いつもは県道６５号のバス道を歩くのですが、ふと思い立って、名谷を垂水へ流れ下る福田川沿いの旧道を遡って、
できるだけ車の通らぬ道をみつけて帰ることに。いつもの好奇心。名谷の崖の縁にそって、北へ集落を抜ける旧の街道の散歩道に出会いました。
また、その鈍付きには崖をジグザクに登る階段道。知らなかった散歩道　挨拶をかわしながら崖の上に広がるニュータウンへ。
今度は崖の縁を通って、名谷をのぞきながら住宅地をぬけて、崖のきたを東西に抜ける幹線垂水/妙法寺線沿いの名谷パティオの南縁に。
田舎の集落風景を残す狭い一本道がニュータウンのすぐそばに隠れ、散歩道としても使われているのにびっくり。
もう名谷には田舎の原風景は残っていないと思っていましたが・・・・
名谷パティオの南縁からは名谷団地外周遊歩道を巡って、妙法寺　若草の丘へ帰る。
この周辺は秋一番先に色づき、街の美しい秋景色が見られる散歩道。まだ夏が残る秋の始まりですが、
街の喧騒から逃れた緑に包まれた静かな散歩道　初秋の景色変化を楽しみながら、帰りました。
また　ひとつ散歩道みぃ～つけ。　2023.9.9.　Mutsu Nakanishi

3.西六甲 須磨の縦走路脇にはキノコが出だしました 2023.9.8.

ウバメガシのトンネルが続く道脇の草むらや切株の上に幾つもキノコが出だしています。
名前も知らぬ毒キノコとおもいますが、静かな山道をかざってくれて秋の気配
そっと山道を外れて　枝道や草むらの切株に顔を出したキノコを探す。
秋の里山散歩のたのしみのひとつ。
残念ながら名前も知らずですが、秋の散歩道の楽しみ。

また、酷暑の夏も休まず続いていた鉄拐山の崖下　一の谷の砂防堰堤工事が進み縦走路から堰堤が見えるところまで進みました。
この一の谷の砂防工事も縦走路から谷下へメインのワイヤーロープを張っての難工事。
完成まじか?。でもさらに下でも大型重機が見えるので　堰堤工事は続くのでしょう。
崩壊が絶えず進行している六甲の谷筋　近くで幾つも砂防堰堤を見かけます。
この縦走路もいずれ崩れて歩けなるかも。
すぐ隣の横尾山馬の背の縦走路も崩壊対応の工事が進んでいます。

【収録 1】　文珍さんの落語見聞録　　神戸新聞　2023.8.17.朝刊より
盆の時期も終わりましたが、「お盆のナスに似てきたなぁ」

神戸新聞

2023年（令和5年）
8月17日
木曜日

文化

落語的見聞録

桂文珍

お盆のナスに似てきたなあ

お盆の時期も終わった。毎年、故郷のわが家ではご先祖さまを麻幹を焚いて迎え火とし、御詠歌をあげ、仏壇にはお供え物のナスにはしを刺して、それを見ながら自分の身体に似てきたなあーと、思ったり。

親戚が集まり、その小さな男の子がお坊さんにお経をあげていただいてる時に走り回る、するとその父親が「ボウズ静かに！」と一喝する。お経をあげていたお坊さんがギクッ！「いや、あの、違うんです、違うんです」とまあよくありがちな風景。そして精霊流しよろしく送り火をして故郷のデカンショ祭、これがコロナ騒動も5類になってから、久々に行われた。残念ながら、こっちはコロナで自粛していた落語会や独演会も再開され、忙しくて参加できないでいる。

そんな中、昔からの友人で、名を並木君という、その並木君に久々に電話連絡をしたくなった。なぜなら、ニュースで某中古車の大手企業が店の前の並木を切ったとか、除草剤をまいたとか話題になっていたので「あーもしもし並木君、久しぶりやなあ」「お、どうした？」「いや君が某中古車の会社に切られてないかと…思ってなあ」。さて、どう反応してくるかなと思っていると「アハハ…おかげでボクは切られてないけど、頭の上で除草剤をまかれたんかなあ、髪の毛が最近薄うなってな」と返してきた。なかなか面白い反応をしてくれて、落語家の私が一本取られた。

お盆はそんな昔の友達をふと思い出させてくれもする。

落語「三年目」はほれ合っていた夫婦の妻の方が病となり、亭主の片時も離れない看病のかいなく亡くなってしまう。亡くなる前に「もしも後妻をもたれたら婚礼の晩に幽霊になって出ておいで。そうすれば婚礼もムチャクチャになりオレは一生涯独身でいることになるから」と約束する。

やがて周りの人たちのすすめにあらがえず、後妻を迎えるが婚礼の日幽霊は出てこない。そして子供も授かる。3年目の法事を迎え、その晩、先妻が幽霊になって現れ、うらみを言う。「それならもっと早く婚礼の晩にどうして出てこなかったんだ」「だってわたしが亡くなった時、親戚で髪をおろしてわたしを坊主にしたでしょ。坊主では愛想をつかされるから、毛が伸びるまで待ってました」とかわいい噺だ。

今はいいウィッグがある。すぐ出ますよ。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は9月21日＝

今回の文珍さんはお盆の話　多くの人が故郷に帰省するお盆。
何となく人恋しくて、ふと頭に浮かぶ仲間に電話をして、昔話に興ずる。
また、予期せぬ仲間からの電話やメールが懐かしい。
今年のお盆は台風襲来・激変する天候。でも久しぶりの仲間との会話が弾むお盆でした。
年老いて ますます人恋し 酷暑の夏

落語は「３年目」　相思相愛だった妻がなくなって３年目
後妻を貰った旦那の所へ、亡くなった前妻が幽霊になって出てくる話。何で３年もたって・…と。

厳しい夏　今大きな話題になっている中古自動車販売の「ピッグ…」の話も織り込んで。
街で看板みかけることもあるが、関西では「車買うならハナテン・・」の旧名の方がなじみがある。
こんな事になってるんやと。みんな我が身大事　でも明日は我が身
ちょつと考えなだめなのでは。
落語のネタに　みんなが笑える社会になってほしいなぁ・・・・とも。
文珍さん　お盆のお供えのなすびみたいに太ったのかなぁ…

2023.9.5.　Mutsu Nakanishi

【From Kobe 2023 ９月】　収録２
最近の新聞・Internet より「気にかかる日本　日本はどこへ向かうのか……」

1.日本人は己の価値に全く気付いていない…　谷本 真由美著述家、元国連職員

「世界中で圧倒的な人気を誇る"日本では当たり前"の身近な製品」
「命を左右するような戦場で日本製は信頼できる」日本が世界に存在感を示せるものは何か。
イギリス在住で著述家の谷本真由美さんは
「日本人は世界から生真面目で信用されているため、車や家電など業務用の機械など専門性の高い製品はまだまだ日本製が強い。命を左右するような戦場で、イスラム国のテロリストさえ乗っている車はトヨタのピックアップトラックである」という――。
PRESIDENT Online　2023/08/31 6:00　https://president.jp/articles/-/73028?page=1　より

激変する国際情勢の中で、先が見えぬ日本。　政治は相変わらずの老害・先送り・丸投げの場当たり政治の中で、
見つけたこの谷本真由美氏の「プレジデント　オンライン」の記事。
きっちり根拠・検討がなされている訳でもなく、「近視眼的な良いとこ採りの極端な記述が並べられている」との思いもあり、また、谷本氏の著作「激安ニッポン」の販売戦略の為の記事のにおいがするのですが・・…
先進国の中で日本だけが超低金利・円安誘導の政治が続く。日本の中にいると見えぬ実態が描かれているのかも。
全面的に賛同しているわけではありませんが、なにか、面白く「ふむふむふむ」と
私の今の思いに響くところもあり、　参考までに記事転載。　　2023.9.1.　Mutsu Nakanishi

く 日本人は己の価値に全く気付いていない 〉　谷本真由美
2023.8.31. on line President より

谷本真由美『激安ニッポン』
（マガジンハウス）

北米や欧州で「日本のもの」は安心できる

日本人は外国に売ることができるサービスや商品があることに気がついていません。そういったものをどんどんマネタイズ、つまりお金に変えていくべきなのです。日本人は控えめな人が多いのでマーケティングや営業が非常に下手くそです。しかも国内のことしか知らないので、外国では一体どういうものが受けて何が売れるのかということを理解してないのです。
これは日本だと日常生活でさまざまな国の人と接触しないことや、教育がドメスティックすぎるというのがあります。たとえばまず日本人は日本の海外でのイメージに気がついていません。
特に中国では　日本人というのは非常に生真面目で嘘をつかないので取引がやりやすいということで有名です。
なので、彼らは日本人と取引する際、相手が誠実なので安心して買うことができると考えているのです。
これが日本で中国人が日本の商品を爆買いする理由です。
彼らは母国の人々を信用できないので日本人から買うのです。これは中国人だけかというとそうではありません。
実は北米や欧州でも日本のものは安心できるということで有名です。
なので、非常に材料にうるさい健康志向の人々やベジタリアンはまだまだ日本の超高価格帯の調味料や米を買っているのです。これは単に味がいいからということだけではなく、日本のものであれば変なものを使っていないから衛生管理がきちんとしているから安全だということです。

専門性の高い製品はまだまだ日本製が強い

これは日本車や日本の家電に対しても同じなのです。
トヨタをはじめとした日本のメーカーは海外ではまだまだ強く、道路状況が厳しいタイや南米、アフリカでも日

本車は人気があります。イスラム国のテロリストでさえ、乗っていたのはトヨタのピックアップトラックです。命を左右するような戦場で日本車を使いこなしているのです。
そういう厳しい場には中国車や韓国車は存在感がありません。
家電は韓国製よりも人気はありませんが、業務用の機械など専門性の高い製品はまだまだ日本製が強いのです。
これも日本人の生真面目さや信用というのが裏付けになっているのです。
日本の製品やサービスにはこういったイメージがあるということを理解してもっと多様なものやサービスを海外の人に売ればいいのです。
どんなものに需要があるかは普段から外国の人と接触したり実際に現地に行ってみて自分の手足と目を使って調べてみたりするのが重要です。

写真=iStock.com／Grassetto※写真はイメージです

自分で調べて学べば商機はいくらでもある

これに関しては今の日本人は戦国時代の武将に学ばねばなりません。
彼らは電話もインターネットもなく言葉もなかなか通じない中で、欧州諸国は日本に対して何を求めているのかということを察知し、数少ない情報の中から彼らの戦闘力や戦略を理解して植民地化を防ぎました。
　仙台藩主だった伊達政宗は約 400 年も前に、ノビスパニア（メキシコ）との直接貿易を求めて、イスパニア（スペイン）国王及びローマ教皇のもとに、慶長遣欧使節と呼ばれる外交使節を派遣しているのです。
伊達政宗だけではなく、当時の戦国武将たちは欧州の人々のことを熱心に研究し、地政学も理解していました。
　インターネットやメディアが発達しており移動も自由な現在において日本人はもっと多くのことを個人でも学ぶことができるはずです。自分で調べて学ぶ中で商機が見つかるはずです。そしてトライアンドエラーで実際に売ってみてどうなるかということもやってみるほかありません。「とりあえず考えるよりやってみよ」です。
停滞している日本に足りないのは、こういった「やってみよう」「失敗してもいいから試してみよう」と思う挑戦心と思い切りのよさがある人々です。

投資すべきは「インバウンド」より「高付加価値の産業」

日本のものやサービスは海外で売れるとは言っても、最近流行りのインバウンド、要するに外国人観光客に依存する商売を進めていくのは考えものです。
　基本的に観光業というのは地元の風景や観光名所の切り売りにすぎませんから自分たちで何かつくり出すような技術やアイディアが発展していくわけではありません。
付加価値が高い機械や技術をつくり出すよりも、地元に観光客を連れてきて　ホテルに滞在させるほうがはるかに簡単なのです。これはご先祖の遺産を切り売りして生活する子孫とまったく変わりがありません。しかも日本全体の経済規模から考えると観光業が占める割合というのは非常に小さいのです。
　世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）の 2022 年の調査によると、日本の旅行・観光産業の寄与額は 2063 億ドルで GDP に占める割合は 4.2%にすぎず、海外旅行者の支出が占める割合はわずか 0.7%、G20 参加国中で最低値なのです。これはコロナで日本と海外を往来する人が激減したために外国人観光客の支出が 90%近くも減ってしまったというのもあるのですが、例年通りだったとしても GDP の 2%にもいかないわけですから非常に小さいわけです。
　政府はこれをもっと拡大していくという目論見のようですが、それよりももっと永続性があり、高い付加価値を得ることが可能な産業のほうに投資をしていくべきでしょう。

有望なのは「IT×製造業」

そして日本はこれからどんな業種に注力していくべきなのでしょうか。
まずやはり筆頭にあげられるのは情報通信産業です。ここ最近は AI の発展が注目されていますが、今後はもっと伸びていくはずです。さらに情報通信技術と製造業のハイブリッドが伸びていきます。
その代表の 1 つがたとえば自動運転の車であったり、産業機器や家電の自動化、遠隔操作といった世界です。医療や軍事の世界でも、情報通信技術を活用した機器がますます活躍しています。
このような世界では単にサービスや機械を提供するよりも、正確性や継続性が非常に重要です。

収集したデータをきちっと管理したり保全したりすることも重要なのです。
これは世界各国でデータ漏洩や独裁国家によるデータの悪用がどんどん外に出てくるようになったからです。その点、日本は、民主主義国家でありきちっと仕事をする人々が多いので非常に信用性が高いわけです。

※写真はイメージです

しかし、日本は自分たちの強みをアピールする力が本当に弱い。日本人はそれを当たり前だと思ってやっているので海外の人は日本人がそんなに厳密に仕事をしているということを知らないのです。
こういった生真面目さや手順の厳守、コンプライアンス体制の厳しさなどをどんどんアピールしていくことも重要でしょう。しかも日本には多様性がないと批判されていますが多様性がないということはある意味強みになるのです。
それは国内で働く人々が日本人だらけで出身校や出身地がはっきりしていますから、バックグラウンドチェックが非常に容易だということです。ダイナミックなプロジェクトを立ち上げたり変わったことをやるのには多様性がないことは不利になりますが、その一方でいい点もあるということは強調していくべきなのです。

「格差」が広がると「犯罪」が増える

最後に、生活面での変化についても述べておきます。
今後日本では労働者の階層が分かれていくので、日本では格差がどんどん広がっていくはずです。
実際、最近では北米や欧州の手口を取り入れた犯罪も増えてきました。
たとえば数万円の現金を奪うのに、真っ昼間に正面から人様のお宅や商店の玄関口から入り込んで強盗を行ったり、昼間に宝石店を襲ったりするような非常に荒っぽい犯罪です。しかもやっているのが未成年や 20 代の若い人々が目立つようになってきました。
従来の組織犯罪がやらなかったような非常に効率が悪く手荒い事件が目立つようになったわけです。
今後は日本もどんどん格差が広がっていくので、とりあえずとにかく現金が欲しいという非常に短絡的な目的でこういった略奪を行うような犯罪が増えていくはずです。

これはすでに北米や欧州が辿ってきた道です。
たとえばイギリスは 1980 年代までは比較的経済格差が小さく、特に戦後はイギリス病と言われた停滞を経験し経済不況もあったのでみなお金がありませんでした。ところが金融ビッグバンで金融改革が行われ、製造業中心の社会からサービス業中心の社会になって階級の下克上が起こるようになりました。
そこで起きたのが経済格差の拡大で、生まれよりも努力によって稼ぐことができるようにはなったわけですが、お金のあるなしがはっきりと目に見えるようになりました。
しかもサービス業が中心になってきたので雇用が短期間のものばかりになり、かつてのような終身雇用がなくなります。
しかも仕事自体もかつて製造業が盛んだった頃は労働集約型的だったのですが、今や少人数の頭が良い人が行えば稼げてしまう業種が増えてきたので稼げる仕事が減っています。
そこでもうあまり稼ぐことができない若い人たちが空き巣や窃盗、薬物取引などを行うのです。
日本はだいたいイギリスの 30 年ぐらい後を追っているので、あと 10 年もしたら今よりも非常に短絡的な形での空き巣や強盗などがどんどん増えていくはずです。
そのような中で生活していくには、性善説に沿っていてはだめです。

インターネット　PRESIDENT Online　2023/08/31 6:00　より

この夏の神戸新聞コラム「正平調」にはこんな話題も　今曲がり角にいる日本

「同じ言葉も使いよう　それは羽毛より軽くなり、それは石より重くなる」　2023.8.25.　正平調より

正平調

〈同じ言葉も使いよう　それは羽毛より軽くなり　それは石より重くなる〉。詩人の堀口大学は書く。〈そのけじめに詩はほろび　そこのけじめに詩は生きる〉◆軽い気持ちで発せられたデマやとんでもない怪情報でもいったん広がると、うわさがうわさを呼んで人々の不安をかき立てる。原発事故から12年、今も福島の農産物や水産物は風評被害の渦中にある◆昨日、福島第1原発にたまる処理水の海への放出が始まった。放射能レベルが科学的に安全だというのは理解できる。国際機関も福島に常駐して監視している。それをどう人々の安心に結びつけていくか◆こんな時こそ政治の出番だ。かつて「アンダーコントロール」などと軽い言葉を発した首相もいたが、岸田首相には石より重い言葉で誠実にうわさを打ち消し政治のけじめを示してもらいたい。心の底から、そう願う◆本紙で福島の若手漁師が言っていた。「放出しかないんだろうけど自分は反対。ただ、早く廃炉になってほしい気持ちもある」。作業が続く限り、放出は続く。一日も早く廃炉を。心の底から、そう願う◆「どれだけ福島の風評被害を抑えられるか。それが自分たちの役目」。水産物の卸業者や小売業者から、重い言葉が聞かれる。私たちも連なる。　2023・8・25

「地球の宝を守りたい　収蔵品を守るため人間はクーラーを切って耐えている　国立科学博物館で」2023.9.2.

正平調

クーラーのない自室でいま、このコラムを書いている。大学生の頃、下宿用に買った扇風機が健在で、どうしても捨てられない。熱中症対策が欠かせない今どき非常識と怒られそうだが、暑さに耐えられないのは人間だけではないらしい◆この夏、驚くニュースはいくつもあったが、最も衝撃を受けたのは国立科学博物館（科博）が始めたクラウドファンディング（CF）だった。光熱費の高騰で500万点に上る収蔵品の維持管理が限界だという◆科博は動植物や化石など世界中の標本を集める日本最大級の博物館だ。地球と人類の蓄積を未来につなぐ知の拠点である。その研究の基になる収蔵品を100年、千年先に残すには適切な温度管理が欠かせない◆それがピンチとは。「地球の宝を守りたい」。館長の切実なメッセージが通じ、目標の1億円を大幅に上回る寄付があったが、これでよしとなるはずがない。日本の文化行政の貧困ぶりが白日の下にさらされた◆収蔵品を守るため「人間はクーラーを切って耐えている」と話す研究員の目は悲しみに満ちていた◆世界を見渡せば、英国や米国に比べ、科博の収蔵品数は10分の1以下。CFは11月5日まで続く。何にお金を使うべきか。汗をふきふき涼しい頭で、よーく考えたい。　2023・9・2

台風一過で済まない現実がうらめしい　新たな対策が・・・災害に「まさかは禁物」　2023.8.17.

正平調

「台風は生き物じゃないのに、なんで目があるの？」。子どもの素朴な疑問に答える夏休みのラジオ番組でこんな質問を聞いたことがある。言われてみれば、雲や風には目がないのに、なぜ？◆そのとき専門家がどう応じたかは覚えていないので、素人ながら筆者が回答するとこうなる。台風の赤ちゃんは海水温が高い赤道周辺で生まれる。上昇気流が地球の自転で時計と逆回転の風になると巨大な渦巻きになって…。平易な解説はじつに難しい◆こうして生じた鋭く大きな目がどこへ向かうのか。お盆の間、ハラハラして見守ったが、まさか兵庫を縦断するとは。兵庫への上陸は2018年の台風21号以来5年ぶり。やはり災害に「まさか」は禁物である◆困ったことに、地球温暖化で強力な台風は増えそうだという。国立海洋研究開発機構によると、21世紀末に強い台風は6・6％増、降水量は11・8％増えると予測する◆幸い、それほど大きな被害はなかったが、浸水などで住宅や道路に影響が出た。地盤が緩んだ地域では土砂崩れの心配が続く◆大きな台風の後には大量のプラスチックごみが海に流れ出す。先の機構が調べたところ1300倍に増えたというから新たな対策が必要だろう。台風一過で済まない現実がうらめしい。　2023・8・17

From Kobe
2023【10】

西神戸・東播磨 秋の訪れの風物詩　里の秋景色

10月 里の秋　神戸便り

23. 10. 10.　fkobeR0510.pdf

From Kobe　Mutsu　Nakanishi

お彼岸が過ぎて　酷暑が収まり、空も山も街も　一機に秋の風
まだまだ　厳しい時代ですが、元気に秋を楽しみましょう

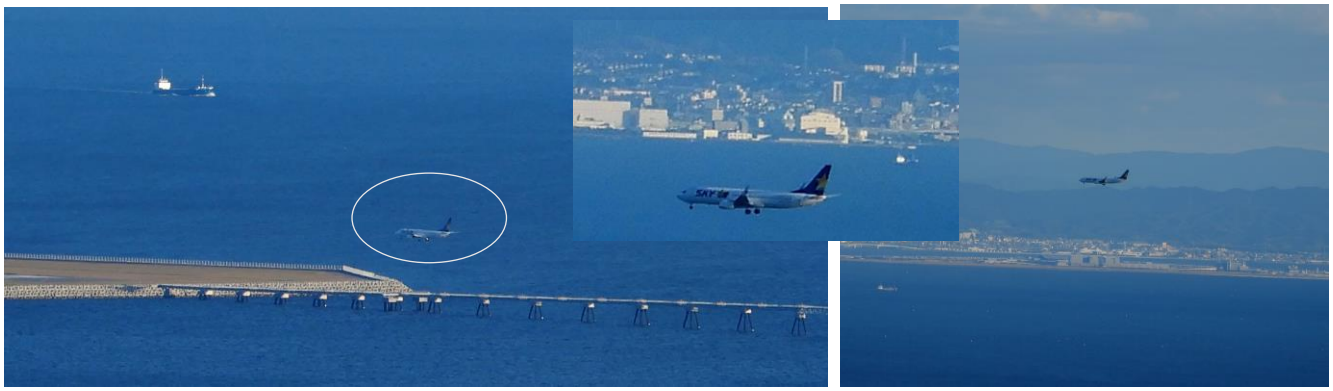
- 西神戸・東播磨の里の秋景色点描
- 今月の神戸新聞 「正平調」ほか　気にかかった記事　& internetより

収録1.　NHK BS アナザーストーリズ
「小さな巨人　緒方貞子さん運命の分岐点」を聴取して　2023.10.10.
収録２ 桂文珍さんの落語的見聞録　2023.9.27
「ソレ」で関西は盛り上がりまっせ

山に登れば 真っ青な大空に鰯雲 一筋の飛行機雲に飛行機の機影。
東の六甲・生駒から葛城・金剛の山並を背に　神戸・大阪の街並　関西空港もくっきり
西に目を転じれば、明石大橋の背に　播磨の海に浮かぶ小豆島・家島群島そして広大な播磨平野
空気までもが澄み渡り、この時期ならではの美しさ。
近郊の里を彼岸花が飾るのを契機に毎年楽しみにしている西神戸・東播磨の里の秋迎えの風物詩
2023 神戸の里の秋景色 Album 作りに小さな秋を探して原チャリで駆けました。
また、神戸の街はタイガース・オリックスのセ・パ同時優勝で大盛り上がり。
仲間メールも飛び交い、会話が弾むうれしい秋に。仲間のカントリーライブ・街での飲み会にも・・・。

世相はいまだ、ウクライナ戦争は収集のめど立たず、中国・北朝鮮との対立もますます激化。
物価の上昇等々先行きの見えぬ厳しさに度重なる線状降水帯発生の災害の激甚化等々厳しい日々
後ろから今を考える高齢の仲間入り　老化や病気と闘う先輩や仲間の今を聞くことも増え、
訃報に涙ぐむことも多くなりましたが、”元気に毎日を”と元気に動けることに感謝しつつ
自らを奮い立たせています。　ありがとう。
１０月里の秋　神戸から季節の便りを届けます
仲間の元気はみんなの応援歌　*God be with You !!*　元気に今を前向いて

2023.10.10. From Kobe　Mutsu　Nakanishi



上空を飛んでいる時は視認できるのですが、海へ降りてくると消えてしまう大阪湾上の飛行機　いつも探すのですが・・
西から大阪湾の神戸空港へ着陸する飛行機　2023.10.11.　今日やっと着陸する飛行機を捉えられました。

■　西神戸・東播磨の風物詩　里の秋点描　　2023年9月末撮影

なにはともあれ、　タイガース･オリックス　セ･パ両リーグ優勝　おめでとう
関西は大盛り上がりのうれしい秋に ‼

関西は阪神・オリックス セ・パ同時優勝に沸く秋の訪れ うれしい秋に !!

オリックスの日本一パレードでファンに手を振るイチロー選手（車上左端）ら＝1996年11月17日、神戸市中央区

18年ぶりのリーグ優勝を祈り、ファンの声援に応える当時の星野仙一監督（左端）とタイガースナイン＝2003年11月3日、神戸市中央区

阪神・オリ、神戸と大阪で同日パレード

阪神に続きオリックスも優勝
阪神なんば線大阪湾岸シリーズが実現すればうれしいね。
添付は神戸新聞切り抜き。
大阪・神戸の両方で　同日優勝パレード実現
うれしい秋になりました。　　我
また　ひそかにインフル・コロナが拡大中
関東は連日　線状降水帯の集中豪雨　すごい雨。
柏や我孫子の街中まで　すごいことに。　いかがでしょうか・・・
どうか無理せずご留意ください。
お彼岸が来るのに酷暑で　まだ西神戸の田園を飾る彼岸花はちらほら
本当に地球温暖化がダイレクトにわが身にも降りかかる時代になりました
お互い感度をあげて　頑張らねばと。
God Be With YOU!!　2023.9.22.　神戸中西

北神戸　丹生山塊の山裾　南:　山田の里　北:淡河の里　　嬉しい稔りの秋 もう　一部の田では刈入も　　2023.9.26.

私の通う散歩道のひとつ　白川峠の北　白川の里　彼岸花の咲くのが遅れましたが、夏の酷暑が収まり、お盆を過ぎると一機に　2023.9.23.
たわわに稔って頭を垂れる稲穂の畔　そして邑を通る道際に待ちかねた真っ赤な彼岸花　今年もかわらぬ嬉しい秋の里景色 もう我が家は伊川谷小寺の里の新米が食卓に

加東市木梨の郷で栽培されてきた灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」は酒米の「ダイヤモンド」というらしい。
私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に山田錦と共に使われていると聞く
今年も東播磨の丘陵地に点々とつながる酒米の郷では　酒蔵の旗が畔を飾るうれしい稔りの秋に。
長年酒蔵と栽培地の郷が共同して守り育てつつけてきたて酒米の証が畔にはためく酒蔵の旗。
芳醇な新酒が出回るのが待ち遠しい。　2023.9.25.　酒米の郷　加東市木梨の里で

南の緩野台地の坂道より眺める　中央を千鳥川が流れ下る田園の奥に広がる木梨の里　2023.9.25.
家並の背後中国道沿いにも広大な酒米山田錦の栽培地が広がっている

加古川東岸の中国道沿いに東へ広がる中国道添いの加東市・三木市は兵庫が誇る酒米の郷　2023.9.25.
点々と丘陵地に広がる街道筋の山郷には　灘の酒蔵はじめ、全国の酒蔵の旗が黄金色に稔った酒米の畦を飾る
ことしも原チャリで酒米の郷巡り　ことしは駆けた時期が遅れて、酒米の畔を酒蔵の北と真っ赤な彼岸花
そんな酒米の田を爽やかな秋の風が渡る嬉しい風物詩　全国にことしももうまい酒造りOKの発信!!
残念ながらことしは原チャリトラブルで三木市の酒米の郷を駆けることができませんでした。
帰りに立ち寄った加古川西岸小野市きすみ野のそば畑では畑一面を真白にしてそばの花が咲いていました
新そばが食べられるのが、待ち遠しい。
異常気象の本年ですが、西神戸・東播磨はいつもと変わらぬ里の秋
真っ青な空に鱗雲　黄金の田をゆっくりと秋の風が渡ってゆく。　とっておき　神戸の秋の風物詩です。

加古川東岸　小野アルプスの山裾　小野市きすみ野のそば畑　　2023.9.25.

六甲は秋　南西の島々へかえる渡りの蝶「アサギマダラ」の渡る道　須磨海岸にそびえ、藤袴の花咲く横尾山・鉄塊山・旗振り山はアサギマダラ渡りの道の中継点。　１０月３日アサギマダラ飛来が確認できました。
今年は飛来が少ないと思っていましたが、昨年は旗振り山の藤袴花の上で乱舞するアサギマダラを見たのは10.22.
まだ　これからも集まってくるのかも……
でも　集まってくる蝶や昆虫にも変化が見え、ここにも地球温暖化の影響が忍び寄る。
夏が終わって秋到来　ことしは９月に台風接近が２つのみ　比較的少ないのですが、猛烈な酷暑と線状降水帯発生の集中豪雨多発
この秋がこのまま穏やかであってほしいなぁぅと願うのみ

今月の神戸新聞
「正平調」ほか　気にかかった記事より

■人権侵害はジャニーズ問題にとどまらない。企業が動けば社会は代わる
平和をむ損なってまで、必要な売り上げはいちえんたりともない

ジャニース問題が、TVや新聞で社会問題として取り上げられている。
それぞれ、放送業界とジャニーズとの長年にわたる相互利害共有の中　どんなふうに取り上げるか、興味津々で見ています。
あにはからんや、忖度あり、隠し事ありと中々　中味を正確に伝える姿勢が見えない。
なにか、明治初期か　江戸時代に帰ったような会見のやり取り。
またもや具体的な事実関係やこれからの課題の受け止めと方向が見えてこない。
TVでは　一歩も二歩もまえにすすんだというが・・・・
あの「ビックモーター」問題も根は同じような捉え方とみえる。
はぐらかしではないでしょうが、質問者の意図とはずれているなぁ・・・・・・と。
会見で何を伝えたいのか……・でなくて、相手の質問にどういいつくろうか・・・・・・・
日本の記者会などは総じて、そんな光景が多い。政治家なども総じて・・…
神戸新聞の正平調氏はコラムで下記の通り。
筋の通ったきっちりした回答を聴きたいものだ。　それが社会を造ってゆくと。

人権侵害はジャニーズ問題にとどまらない　企業が動けは社会は変わる
◆「平和を損なってまで必要な売り上げは一円たりともない」

神戸新聞
2023.9.23.　正平調

正平調

たった一人の言葉が、人々を、世の中を動かすことがある。その代表例といえるのが米国の公民権運動の指導者マーティン・ルーサー・キング・ジュニア、あのキング牧師の演説だろう◆「I have a dream（私には夢がある）」。黒人差別の撤廃を求めてワシントンに集まった20万人を超える群衆にそう呼びかけ、非暴力による社会変革を訴えた。その翌年、公民権法が制定された◆比べるのは大げさすぎる、と笑われるかもしれないが、筆者にはそれほど強い言葉と感じた。ジャニーズ事務所の問題を巡り、アサヒグループホールディングスの勝木敦志社長が朝日新聞の取材に語った言葉だ◆「人権を損なってまで必要な売り上げは一円たりともありません」「取引を継続すれば私たちが人権侵害に寛容ということになる」。所属タレントのCM起用をいち早く取りやめると、多くの企業が後に続いた◆ならば、と夢を見る。史上最悪の人権侵害は戦争だ。「平和を損なってまで必要な売り上げは一円たりともない」。もし、日本を代表する企業が次々にそう宣言したら◆人権侵害はジャニーズ問題にとどまらない。外国人問題、男女格差、児童虐待…。企業が動けば社会は変わる。それが成熟した資本主義ではないか。　2023・9・23

■　和鉄の道　具体的な取り組みの実像と具体的な進捗評価が見えぬ日本の脱炭素取組
現場の取組から実像が見えてこないか…今月この視点でインターネットを巡り、知らなかったこと多し。

■脱炭素社会・ゼロカーボンの掛け声が小さくなってしまった今ですが、地球変動に対する対応は待ったなし。
現状が知りたくて　現場の取組資料をインターネットからさがして、今月の和鉄の道に掲載しています。

資料収集　≪各産業分野で事業化に向けた:現場の取組から見えてくるもの≫　2023.10 月
鉄の話題　脱炭素社会構築へ　10月　資料採録
課題は電力・エネルギー問題への取組　インターネットより

「脱炭素へのロードマップ　ビジネス界 1.5° C 目標への挑戦」2050 年 C02 排出ゼロへのロードマップを掲げ、世界的な脱炭素社会構築への取組がすすんできた。しかし、ロシアのウクライナ戦争に端を発したエネルギー価格の沸騰・物価上昇　そして巨大国中国経済の低迷等が世界各国を襲う一方、
地球温暖化による気象の激変・激甚化が誰の眼にも明らかになり、本年は これらの影響が直接わが身にも降りかかる時代になった。各国の政治・経済はこれらの対応に追われ、脱炭素への取組にも影を落としている。
そんな中で、各国の脱炭素達成の具体的取組　中間指標の達成状況も不透明になったと報ずる情報も多い。
大きな取組環境変化の中で、遅滞なく目標達成への道が進んでいるのだろうか・・・・・
色々新情報が流れるが、その事業実態は一向に見えてこず、先行き不透明感一杯。
素材の製造・物流・製品・廃棄・再生まで全工程を通じて脱炭素の筋が通るのか・・・
鉄鋼では 懸案だったひも付き自動車向け鋼板の低価格是正の達成等による収益改善を背景に、製鉄所の集構造改革&集約が断行され、まだほんの一部ですが、二酸化炭素（C02）排出量を減したり、実質ゼロにしたりする「グリーンスチール」と呼ばれる鋼材も市場に出始めたが・・・・
持続可能社会構築へのアプローチ、具体的に数値としてどの程度進んだか・・・
一番の分野は社会先般にかかわる　電力・エネルギーそして鉄鋼・自動車の分野。
企業各社は国と同様　取組がすすんでいると謳うがその実態は…
「目標達成へ向けて、各分野での取組・事業をステップアップする一里塚」
各企業・事業体の現場ではどんな取組推進がはかられているのか・・・・・
インターネット・新聞情報から、断片的ではあるが、今の状況を拾い読み
玉石混合ですが、資料採録。　現場での具体的な取り組み進捗が少しでも見えてくれば・・・と。

小さな巨人 緒方貞子 ～命をつなぐ現場主義～　「小さな巨人緒方貞子さんの生きざま」

収録Ⅰ　「小さな巨人　緒方貞子さん　運命の分岐点」を聴取して　2023.10.10.

NHK BS アナザーストーリズ

小さな巨人 緒方貞子さん 運命の分岐点 を聴取して

2023.10.6. NHK BS の番組を見て 記録を残しておきたくて

From Kobe Mutsu Nakanishi

小さな巨人 緒方貞子 ～命をつなぐ現場主義～
放送日: 2023 年 10 月 6 日
ボスニア内戦、ルワンダ虐殺…
世界で難民が苦しむとき、その現場にはいつもこの小柄な女性の姿があった。
UNHCR・第8代国連難民高等弁務官、緒方貞子。
過酷な現場に自ら足を運び、解決のためならどんな相手ともきぜんと立ち向かうその姿は“小さな巨人”と呼ばれた。
緒方のかたわらにはいつも彼女に心を動かされ、ともに闘った人々がいた。
命をつなぐために、緒方はどんな闘いに挑んだのか？　黒柳徹子との知られざる交流も。

国連の前難民救済高等弁務官　「小さな巨人緒方貞子さんの生きざま」に感動して、
食い入るように番組を視聴しました。
「命は宝」・「現場主義」　よく使う言葉ですが、「現場主義・命は宝」の行動を身を持って見せてくれた人
この種の番組ではよく出逢うオーバーな演出もなく、
事実を赤裸々に積み重ね、きっちりと緒方氏の生きざまを　きっちり伝えてくれた番組でした。

国際情勢は厳しく混乱の時代　判断力が問われる時代に
絶えず「理念」「行動」の原点を説き、おごらず、独りよがりにならず、
現場で 多くの人の先頭に立ち、難局を切り開いて行く姿勢に感動

日本にありがちな短所「ご都合・付和雷同」を廃し、
たえず現場で難局に立ち向かい、日本もやることが沢山あると言い続けられた姿も印象的でした
2023.10.6.夜　by　Mutsu Nakanishi

【 参 考 】　緒方貞子さんの業績とプロフィール　転記採録　2023.10.10.

YAHOO! JAPAN ニュース　10/6(金) 18:01 はるママさん 子育てに役立つ本のソムリエ

NHK アナザーストーリーズが特集する

緒方貞子さんの華麗な経歴と、壮絶な生い立ちとは⁉　より

https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/2dd952e3b86af4a9cf98f53e5bc62bc07388338b

ちょっと長く　感傷的な文面でしたが、緒方貞子さんの歩まれた道
「誕生から2013 年 国連本部での「人間の安全保障」についてのスピーチ」までの活動記録が年次ごとにまとめて記録されており、緒方貞子さんの活躍の「命をつなぐ現場主義」の実像がよくわかるので、そのまま収録させていただきました。
2023.10.10.　Mutsu Nakasnishi

2023 年 10 月 6 日放送のＮＨＫ番組「アナザーストーリーズ 運命の分岐点」では、UNHCR・第８代国連難民高等弁務官、緒方貞子さんにスポットライトがあてられます。

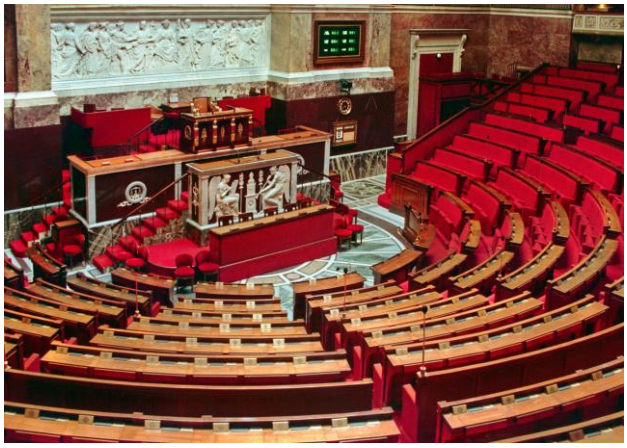
ボスニア内戦、ルワンダ虐殺…世界で難民が苦しむとき、その現場にはいつもこの小柄な日本人女性の姿がありました。

アナザーストーリーズの予告を見て、「緒方貞子さんについて詳しく知りたい！」と居ても立っても居られなくなった私は、近所の図書館に走り、「緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」という本を発見。

そして、緒方さんの華麗な経歴と険しい道のりに驚愕。

貪るように一気に読み終えて、彼女が「小さな巨人」呼ばれる理由が、よくわかりました。

この記事では、私が「緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」を読んで感銘を受けたエピソードを中心に、緒方さんの壮絶な生い立ちから、2013 年 国連本部での「人間の安全保障」についてのスピーチまでを、ご紹介します。



誕生～戦争の時代～終戦へ

1927 年　東京で、外交官の中村豊一・恒子夫妻の長女として生まれる「貞子」と命名したのは母方の曽祖父で、第 29 代内閣総理大臣を務めた犬養毅。緒方さんの祖父は、長年外交官を務め、犬養内閣では外務大臣も務めた芳澤謙吉。親戚が集まると、団らんの場に政治の話題が頻繁に出るような家系の出身です。

1930 年　父・豊一がサンフランシスコの日本国総領事館に赴任するため、母・恒子、弟・豊二とともに家族そろってアメリカに引っ越す

当時の入国記録が残っていて、3 歳目前の緒方さん、身長は約 81 センチでした。

1932 年　五・一五事件　曽祖父・犬養毅が、軍事政権の樹立を目指す青年将校たちによって、暗殺されてしまう

4 歳だった緒方さん、戦争へとひた走る日本の不穏な空気を感じざるを得ない状況でした。

1935 年　父・豊一が中国・福州で総領事を務めることになり、再び太平洋を渡る。

8 歳になる頃の緒方さん、アメリカとは違う異国の文化にびっくりしたそうです。

福州を 1 年で離れ、広州、香港と転勤が続きました。

1939 年　父・豊一が外務省の電信課長になり、日本へ帰国

緒方さんは、先に帰国し、聖心女子学院に入学していました。小学 5 年生の時です。

当時は、外務省の中に住んでいて、緊迫した電話のやりとりを、ちょこちょこ耳にしていたそう。

1941 年　真珠湾攻撃により、太平洋戦争へ

緒方さんがこのニュースを聞いたのは、聖心女子学院の体育館で、跳び箱を跳んでいるとき。

中学 2 年生でした。「とうとうこうなったのか」という感じだったそう。

1945 年　東京大空襲を経験、終戦へ

緒方さんは、庭の防空壕にいて無事でしたが、聖心女子学院の校舎が焼夷弾の直撃で炎上。

この戦災下、卒業式が行われ、その後、家族とともに軽井沢に疎開しました。軽井沢で終戦を知り、

「自分の国がもし全部負けたら…。負けた国はどういうことになるのかな」と思ったそうです。

戦後～青春時代～学問に励む

1948 年　聖心女子大学に一期生として入学、英文学を専攻。

初代学長エリザベス・ブリッドからリーダーシップについて学びました。

「自立しなさい！知的でありなさい！協力的でありなさい！」というのが、マザー・ブリットの言葉。

青春時代の緒方さんに、大きな影響を与えたひとりです。

1951 年　既習科目の一部が単位として認められ、大学を 3 年で卒業。その後、アメリカへ留学

マザー・ブリットや、外交官だった父・豊一に背中を押されて留学を決意。
ロータリークラブの奨学金をもらうための試験に、この年に合格したのは、緒方さん、ただ一人だったそうです。
名門・ジョージタウン大学、大学院の修士課程で国際関係論を学びました。
日本で英語ができるといっても、アメリカで論文を書くのは大変だったそうです。
また、アメリカの豊かさを目の当たりにして「どうして戦争をしたのか…」という疑問が深まりました。
1953 年　日本に帰国し、東京大学の特別研究生に
ジョージタウン大学の大学院で修士論文を書き終えた緒方さんは、理論の裏付けとなる歴史の事実関係を深く学ぶため、岡義武教授のゼミで、近代日本政治外交史を学びました。
1956 年　カリフォルニア大学バークレー校で政治学原論と国際関係論を学ぶため、2 度目の留学
政治学の理論研究に惹かれ、「助手にならないか」と大学から声もかかっていたのですが…
1958 年　父・豊一の病気の知らせがあり、留学を中断し、帰国
父の病状が安定すると、カリフォルニア大学に提出する博士論文を書くため、満州事変の研究に乗り出しました。
この論文は、のちに日米両国で出版され、今でも満州事変に関するポピュラーなテキストとなっています。
論文のタイトルは「満州事変と政策の形成過程」。
「幼少期を米国や中国で過ごし、曾祖父から祖父、そして父親まで、中国・日本・米国の外交問題に係わったことも踏まえて決めたテーマ」でした。

結婚～子育て～学問を続け、国連へ

1960 年　33 歳で結婚、長男誕生　　結婚のお相手は、日本銀行に勤務する、同い年の緒方四十郎さん。
四十郎さんの父・緒方竹虎は、朝日新聞で主筆を務めた後に政界に入り、国務大臣や副総理まで務めた人物です。
なんと恋愛結婚で、緒方さんが出した結婚の条件は「(緒方さんが)学問を続けること」でした。
1967 年　長女誕生　子育てと学問に懸命に取り組む
国際基督教大学と聖心女子大学で非常勤講師として、日本外交史と国際関係論を教えていました。
子育てでいちばん大変だったのは、授業の準備をするために、子どもを早く寝かせることだったそうです。
1968 年　緒方さん 40 歳、突然の国連総会デビュー
婦人運動家として知られ、当時参議院議員であった市川房枝先生が、突然、緒方さんを訪ねてきて「ニューヨークの国連本部で行われる国連総会に参加してほしい」とオファー。
悩む緒方さんに、父・豊一は「ああでもない、こうでもないと可能性を論じているより、まず出席すると決めて、それから人を探しなさい、方法論を考えなさい」と言いました。
「みんなでやれば何とかなるから、行きなさい」と父に背中を押され、緒方さんは子どもたちを預けて、ニューヨークへ旅立つのです。そして 3 カ月にわたり、国連総会の第三委員会に参加、社会・人権・文化問題について各国の代表と議論を重ねました。
国連総会参加を終えて、3 カ月ぶりに娘と再会した緒方さん。まだ赤ちゃんだったため、お母さんの顔を忘れてしまったようで、「忘れられた」と言って、涙をこぼしました。やっぱり一人の母親です。
1976 年　国連公使としてニューヨークへ
「公使として国連日本政府代表部に赴任することはできないか」という外務省からの申し出があり、正式に赴任が決定。夫・四十郎さんが日銀ニューヨーク事務所に駐在参事として転勤しており、長男と長女もニューヨークで暮らしていたため、偶然にも環境は整っていました。
1979 年　任期を終えて帰国後、外務省の依頼で難民問題に取り組む
カンボジア難民の救済視察団団長としてタイに赴きました。
4 日間の現地視察。タイとカンボジアの国境地帯で、直接、多くの難民の姿を目にし接した体験が、その後、UNHCR で難民問題に正面から取り組むことになる緒方さんの関心や考え方に、大きな影響を与えました。
1980 年　上智大学の教授となる。一方で国連の仕事に関わり続けました。
1982～1985 年　国連人権委員会の日本代表を務めました。
1983～1987 年　国際人道問題独立委員会の委員を務めました。

地道に、人権問題や人道問題への関心を継続させ、思索を深めています。
1983年　日本の若者向けに「模擬国連」を組織化
模擬国連では、日本全国の大学生、大学院生を中心とする参加者一人ひとりが、世界各国いずれかの大使となり、各国の立場になって、実際の国連会議で扱われる問題を話し合います。
ここから実際に、国際社会の舞台で活躍する人材も、多く輩出されているそうです。
1990年　国連人権委員会の特別報告者としてミャンマーを訪れる
人権問題や、人権の考え方について、ミャンマー政府と話し合いの道筋をつけてくるのが、緒方さんのミッションでした。
「やっぱり、軍事政権の人たちと話をつけるだけでも大変なことでしたね」と語っています。
難民問題、人権問題に正面から取り組む
1991年　第8代の国連難民高等弁務官となる
子育てが一段落して、母親の介護も十分果たし、すでに看取っていた緒方さん。
「日本は、もっと国連ポストに人を輩出すべきである」自ら語っていたので、
外務省からの打診を受け、国連難民高等弁務官後任候補となりました。
各国の候補者が次第に絞られていき、国連事務総長から直接、就任を依頼する電話があったそうです。
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は、人道的見地から、紛争や迫害によって故郷を追われた世界の難民の保護と、難民問題の解決に向けた国際的な活動を先導し、調整する任務を負っています。
そして、緒方さんは10年の在任期間中、前例のない決断を次々と下していきました。
最も有名なエピソードは、イラクでのクルド人難民問題でしょう。
トルコから受け入れを拒まれた40万人のクルド人が、イラク国境の山間地に取り残され立往生。
絶望の淵に追い込まれました。
しかし、UNHCRの活動の基本となる難民条約では、国境を越えて自国を出ていない人は、支援の対象外。
簡単に彼らを救うわけにはいかなかったのです。
緒方さんは、直ちにヘリコプターで現場を訪れ、1日中歩き回り、クルド人避難民の方の話を聞きました。
「どこから来たのか」「いつ来たのか」「なぜ、ここに来たのか」「どんな希望を持っているか」。
今度は対応を協議するため、ジュネーブの本部に戻り、2時間以上にわたって全ての幹部の意見に根気強く耳を傾けた緒方さん。決心して、こう言いました。
「私は、介入することに決めました。なぜなら UNCHR は、被害者たちが国境を越えたかどうかにかかわりなく、被害者たちのもとに、そして側にいる必要があるからです」
最も難しい問題に直面し、解決策を即決。見事なリーダーシップでした。
この決断の意味・重要性は、クルド人の問題にとどまらず、その後まもなく起きた旧ユーゴスラビア紛争でも、この方針が活かされました。
緒方さんの勇気ある決断が、非常に多くの国内避難民の命を救うことになったのです。
2000年　3期10年にわたった国連難民高等弁務官の職を退く
緒方さん、73歳。しかし、まだまだ引退ではありませんでした。
2001年　日本政府の依頼で、アフガニスタン支援総理特別代表に就任
UNCHR時代にやり残した仕事という思いもあり、現地にも足を運びました。
その後、外務大臣就任の依頼もありましたが、夫の健康が悪化していたこともあり、辞退。
2003年　国際協力機構(JICA)の理事長に就任
新天地JICAでも、前例にとらわれない改革を次々と行いました。
また、職員に対して、「世界の中にある日本」と「世界の安定と繁栄が日本の安定と繁栄にもつながること」を意識するよう求めたそうです。
2013年　国連本部でのスピーチ。緒方さん、85歳
「人間の安全保障」に関する特別イベントに招かれ、国連事務総長の挨拶に続いて、スピーチを行いました。
書籍「緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」にスピーチの全文が掲載されていますので、

興味のある方は読んでみてくださいね。

緒方さんが、難民支援に当たる中で着目し、その後一貫して追求してきた政策的概念が「人間の安全保障」。

「安全保障とは、従来、国家がすべきものということを前提に考えられてきたのですが、もはや国家を超えて、『人びと』というものを、保護の対象にしていくことを考えないといけないのです」と緒方さんは語っています。

いかがでしたか？

私は、緒方貞子さん生い立ちや経歴を知って、「これが天命というものなのか！」と強く感じました。

緒方さんが生まれた環境、育った時代、共に生きる人びと、奇跡のような偶然が積み重なって、「人間の安全保障」を追求する道に、導かれていったとしか思えません。

緒方さんの語る言葉には、「名言」と呼べるものが沢山ありました。

私が、その中で特に好きだと思ったのは、緒方さんが多様性についてお話している時の、この言葉です。

「”異人”という言葉。あれ、”異なる人”と書くでしょう。人間を見るときには、本当はにんべんの”偉人”でなくてはいけないのですよ」

【参考文献】緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で

小山靖史・著　　NHK 出版

最後まで読んでいただき、ありがとうございます

緒方さんに貫かれた強い信念と、深い思いやりが、少しでも伝わったなら幸いです。

本資料作成ブロクの主 はるママさん 子育てに役立つ本のソムリエ

読書量 3,000 冊以上､読書歴 30 年!現在 6 歳娘と 4 歳息子の育児奮闘中｡アラフォーのママ

◎　はるママの最近の記事　　インターネットより

【自己啓発】幸せになるのに夢は必要⁉悩みだらけの現代で「本物の夢」の見分けるに　１０月１２日

【自己啓発】人間関係が上手くいく人は知っている！嫌いな人のことで悩むのをやめる超合理的な方法とは⁉　１０月９日

「情熱大陸」出演の寺島しのぶさん。子どもの頃は歌舞伎コンプレックス⁉その意外な理由とは　　１０月８日

ほか

なお　NHK BS 「小さな巨人　緒方貞子さん　運命の分岐点」の再放送ほか緒方貞子さんの活動動画や

緒方貞子さんに関する書籍や文等インターネット検索で沢山出てきますので、

ご興味のある方は　そちらもご参照ください。

訃報 元国連難民高等弁務官 緒方貞子氏 - 2019年10月29日

https://www.unhcr.org/jp/23911-pr-191029.html

日本人初の国連難民高等弁務官 緒方貞子さん

国連難民高等弁務官就任当時 ©UNHCR/E.Brissaud

日本人初の国連難民高等弁務官

緒方貞子さんは、日本人で初めての国連難民高等弁務官として、1991 年から 2000 年まで 10 年間の任期を務めました。

緒方さんは 1927 年東京都に生まれ、幼少期をアメリカ、中国、香港などで過ごしました。聖心女子大学卒業後アメリカに留学し、ジョージタウン大学で国際関係論修士号を、カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号を取得。

その後、74 年に国際基督教大学準教授、80 年に上智大学教授に就任。76 年には日本人女性として初の国連公使となり、その後 91 年には日本人として、また女性として初の国連難民高等弁務官に就任しました。

緒方さんが高等弁務官に就任した 1991 年は東西対立構造がもたらした冷戦が終わりを告げ、民族、宗教などに起因する地域的な紛争が増え続けていた時期でした。

クルドじー難民救済の新しい枠組み

緒方さんの就任時期に、湾岸戦争が勃発しました。それを機にイラクのクルド人が武装蜂起し、制圧しようとするイラク軍から逃れるため、わずか 4 日間のうちに 180 万人のクルド人がイランやトルコの国境地帯に逃れました。

そのうち 40 万人のクルド人がトルコの国境に向かって避難しましたが、トルコ政府が入国を認めなかったため、国境地帯にとどまることになりました。当時、UNHCR では国内避難民の保護は直接的な任務ではなかったため支援を行うべきかが議論になりました。しかしながら緒方さんは人道的視点から、そして人命を守るため、彼らを保護し支援することを決断したのです。

短期間にできる限り多くの UNHCR の職員が集められ、すぐにイラクに派遣されました。そして冬を迎えようとする中、クルド人の出身地である北イラクに UNHCR は難民キャンプを設営しました。また、キャンプの治安維持のためイラク北部の駐留期間を延長するように米軍に要請しました。

この時、緒方さんは人道的見地からそれまでの難民保護の考え方を超え、新しい支援の枠組みを作り出したのです。

バルカン紛争ー銃弾の中の人道援助

1993 年サラエボを訪問 ©UNHCR/Sylvana Foa

ユーゴスラビア連邦からスロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナが分離独立したことにより、1992 年ボスニア紛争が始まりました。ボスニアにはセルビア系住民、クロアチア系住民、イスラム系住民が暮らしていましたが、独立をきっかけに民族対立が深刻化し内戦となったのです。

UNHCR はまずボスニア政府と交渉して、サラエボ市民に食糧の空輸を行いました。ところが、飛行場に届いた物資を町までトラックで運ぼうとすると、ボスニア政府はその道路を封鎖し、UNHCR による物資の輸送と配布を妨害したのです。

サラエボ市内のセルビア系の地域にはイスラム系が多く暮らす一帯がところどころにあり、UNHCR はそうした場所も含めて物資を輸送しようと試みました。しかしそのためにはセルビア系が輸送を妨害しないよう、終始交渉しなければならず、輸送は遅々として進みませんでした。この状況に対し、ボスニア政府はサラエボへの道路を封鎖することでイスラ

ム系により多くの物資が届くように仕向けたのです。
そこで緒方さんは、もし道路を封鎖するのであれば、サラエボを含めて、セルビア人勢力支配下のボスニアにおける全ての救援活動を直ちに一時停止すると発表しました。人道支援が政治的に利用されることを回避するためでした。
紛争下の混乱した状況においても、緒方さんは常に冷静に 人道支援を政治的な思惑から引き離すよう努めました。

ルワンダ－難民キャンプの治安維持

1995 年ルワンダ難民の子どもたちと ©UNHCR/Panos Moumtzis

ルワンダでは 1994 年フツ族過激派によるツチ族の虐殺が起こり、わずか 4 ヶ月でおよそ 80 万人が虐殺されました。
さらに 24 時間で推定 25 万人のルワンダ難民がタンザニアへと流出し、8 月までにザイール(現コンゴ民主共和国)、タンザニア、ブルンジ、ウガンダなどへ 200 万人が逃れました。
ザイールのゴマに 100 万人規模で流入したルワンダ難民を支援するため、UNHCR はザイール国境沿いのゴマに難民キャンプを設営し、そこで食糧支援を行いました。
キャンプに逃れる難民の中には武装集団に居た人々も混ざっており、最大の難題はキャンプの治安をいかにして守るかということでした。
そのため緒方さんは治安維持のための協力を国際社会に何度も訴えましたが、その要請に応えてくれる国はありませんでした。非常に危険な任務であり、また、かつて武装集団に所属していた人々を保護するということに対する議論があったためです。緒方さんは、ザイールのモブツ大統領の親衛隊とアフリカ諸国の仕官に訓練を施し、難民キャンプの治安維持にあたってもらうことに成功しました。武装集団だった人々を支援することに対し倫理的に疑問を感じ、活動を引き上げる団体もありましたが、その中でも UNHCR は難民保護活動を継続していきました。

緒方さんの実績と成果

1993 年ケニアの難民キャンプを訪問 ©UNHCR/Panos Moumtzis

緒方貞子さんは「人命を救うための最善の選択」という基準のもと、現場の状況に応じて柔軟に判断を行ってきました。
また、強力なリーダーシップのもと、UNHCR の緊急事態即応体制を強化し、各国政府の支持をとりつけ救援物資を輸送する大規模な空輸作戦を展開しました。これは UNHCR 史上初めてのことでした。
同時に緒方さんは、こうした救援活動が人道主義の名のもとに政治的に利用されることに断固として抵抗し、紛争の恒久的解決を目指して国際社会に積極的な関与を求めました。

難民問題と平和構築には深い関係があることを世界中に訴え続けたのです。
緒方さんは 2000 年に国連難民高等弁務官を退任してからは、総理特別代表としてアフガニスタンの復興支援をしながら、2003 年 JICA 理事長に就任、開発援助、復興支援に携わりました。
2012 年に退任した後も JICA 特別フェロー、名誉顧問として国内外で活躍しました。

プロフィール／緒方貞子

1999 年スイス・ジュネーブ本部で
© UNHCR/Anneliese Hollmann

1927 年東京生まれ。聖心女子大学文学部卒業後、アメリカに留学し、ジョージタウン大学で国際関係論修士号を、カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号を取得。
74 年国際基督教大学（ICU）准教授、80 年上智大学教授に就任。
76 年、日本人女性として初の国連公使となり、特命全権公使、国連人権委員会日本政府代表を務める。
91 年より第 8 代国連難民高等弁務官として難民支援活動に取り組む。
2000 年 12 月退任。01 年より人間の安全保障委員会共同議長、アフガニスタン支援日本政府特別代表、国連有識者ハイレベル委員会委員、人間の安全保障諮問委員会委員長を歴任。
03 年～12 年、独立行政法人国際協力機構（JICA）理事長。
享年 92 歳。

＜参考文献＞
「共に生きるということ」緒方貞子著（PHP 研究所、2013 年）
「紛争と難民　緒方貞子の回想」緒方貞子著（集英社、2006 年）

東京 2019 年 10 月 29 日 © UNHCR　訃報　緒方貞子さん　プレスリリース

第 8 代国連難民高等弁務官を務め、UNHCR を 1991 年から 2000 年まで率いた緒方貞子氏のご逝去がご遺族より報告されました。 フィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官はご逝去の報に接し、

「ミセス緒方は先見の明のあるリーダーでした。
UNHCR の歴史における重要な局面において、激しく変動する世界情勢のうねりのなかで、紛争、民族浄化、ジェノサイドによって移動を強 いられた何百万もの人々が生き延び生活再建を図るために、人道支援がどうあるべきか、再定義した人物でもありました。生涯を通して国際貢献に献身し、私たちの“ 連の友”であり続けました」
とコメントしています。

冷戦終結後、世界が新たな分裂と統合に直面し、何百万もの人々が住み慣れた土地を 追われていた時に、緒方氏は国連難民高等弁務官に就任しました。
UNHCR は国連難民高等弁務官であった緒方氏の指揮の下、旧ソビエト連邦、イラク、 バルカン諸国、ソマリア、アフリカ大湖地域、東ティモールなどの大規模な緊急人道 危機に対応し、中央アメリカ、アフリカやアジア各地で行われた大規模な難民帰還事 業にも携わりました。また難民・国内避難民を保護するために、UNHCR として初めて 紛争地域における活動にも着手しました。 緒方氏は尊敬すべき日本の学術研究者であり、多国間にかかわる交渉にも長けた外交官として、そして、難民への理解と連帯を求める代弁者として、政治的な対話や和平 プロセスにおいて、世界各地で起こっている強制移動の解決を提唱するべく飽くなき 挑戦を続けました。
緒方氏は国連難民高等弁務官の任務を離れてからも、難民問題、そして国連と親密に 関わり続けました。
「人間の安全保障」の理念を掲げた先駆者でもあり、国際協力機 構（JICA）の理事長として、開発援助が強制移動の解決に貢献できるようにも尽力しました。
UNHCR 職員一同、緒方氏のご遺族、日本政府、日本国民の皆様の深い悲しみに対し、謹んで深い哀悼の意を表します。

＜UNHCR について＞ 国連の難民支援機関である UNHCR の活動を支える日本の公式支援窓口
1950 年設立。　難民、国内避難民、無国籍者などを国際的に保護・支援するため、世界約 135 カ国で活動を行 っています。シリア、イラク、アフガニスタン、南スーダン、コンゴ民主共和国、バングラデシュなどで発生した人道危機においても、最前線で支援を実施。　1954 年、1981 年にノーベル平和賞を受賞。本部はスイ ス・ジュネーブ。

UNHCR 日本　公式 HP より　転記採録　2023.10.10.

収録２ 文珍さんの落語的見聞録 「『ソレ』で関西盛り上がりまっせ!!」

「それ・あれ」の会話は文珍さんの落語のまくら 高齢者への応援歌 もう私もそんな歳やと。
トラファンの会話があちこちで弾んでいます。故郷尼崎はトラキチの街
今住む神戸山麓界隈はオリックスの聖地 CS勝ち抜けば、阪神なんば線地下鉄シリーズ
まずどちらも CS 勝ち抜いて

2023.10.10. Mutsu Nakanishi

神戸新聞

2023年（令和5年）9月27日 水曜日

神戸新聞社

文化

落語的見聞録

桂文珍

「ソレ」で関西盛り上がりまっせ

ナ、ナント、18年ぶりに阪神タイガースが優勝！クライマックスシリーズもきっと軽く越えて、いよいよオリックスとの日本シリーズともなれば関西は盛り上がりまっせ！ 万博より盛り上がるかも…と、巷の声を大く聞く。

「アレ」が現実になると は…。「アレ」とNHKのニュースでも言っていた。少々早いが、きっと今年の流行語大賞に選ばれると思う。

「アレ」をARE と書いて甲子園で応援なさるファンの姿もTVで見る。最近のTVは画質が良いので、いろいろなモノが見える。バッターの後ろのよく見えるところの宣伝広告費用は結構な値段なんやろう。木浪選手がバッターのタイミングでコナミスポーツの広告を見つけて、1人で笑っていた。しかしピッチャーマウンドの後ろ側の広告はどうも景色が悪い。ゲームに集中したいのに邪魔になって仕方ない。

今月は阪神の野球、相撲、ラグビーのワールドカップとスポーツ観戦に忙しい。ラグビーは、ニワカファンで、イマイチルールもわかっていないのにチリ戦を干 っていないのにチリ戦を干Vで見ていると、家族が別のドラマをやっているチャンネルに勝手に変えた！「何すんねン、お父さんが今、ラグビー見てるのや。勝手に変えたらアカンやろ！」と言う勇気もなく、仕方なく、自分の部屋でラジオでラグビーの中継を聞いたが…何もわからない。まずルールが理解できていない。選手の名前がわからない。日本チームなのにカタカナの名前やし、わからないことだらけ。唯一わかったのは「トライ！」という言葉のみ。思わず学習塾の宣伝かっと。

落語「お道具拝見」ではノドが渇けばスタバでお茶すればいいと思っていた男が、ルールがわからないままお茶席へ招かれ、茶室で茶を頂き、その静寂さと奥深さに感心し、ワビサビを知る。

が、日常生活は静寂さとは程遠く、風呂に入っているとボシャン！と湯の中にホースを入れられ、洗濯用にと妻に湯を抜かれ「まだお風呂に入ってたの？」の声。「何をすんねん。ゆっくり風呂にも入れんわ」と、銭湯にやって来て、茶の湯の楽しみ、茶道の稽古を始める。

すると番台に座っていた男が「実は私も茶道をたしなんで…」と、2人で洗い場で稽古を始めるが、腰に巻いていたタオルが…。思わず「お道具拝見、名は？」「相馬でございます」…と、仕草も入って楽しい噺。

阪神のアレが叶った。次のソレをゆっくりお茶をたしなみながら待つことにしよう。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は10月19日＝

阪神・オリ、神戸と大阪で同日パレード

From Kobe
2023【11】

Kobe 2023 】11月　深まりゆく秋　コスモスの秋

fkoeR0511.pdf

https://infokkkna2.com/ironroad2/2023htm/2023mutsu/fkobeR0511.pdf

コスモスの秋 点描　神戸便り

2023. 11. 15.　fkobeR0511.pdf

From Kobe　Mutsu　Nakanishi

須磨 名谷界隈の街路樹もあっという間に真っ赤に色づきました　2023.11.

収穫に忙しい東播磨　加古川沿いの田園地帯には今年もうれしいコスモス畑
コスモス畑を渡る風に揺られるコスモスの上を送電線が里をつないで渡りゆく。
私の一番好きな秋のコスモス畑の風景です。
加古川西岸の田園地帯　志方の郷のコスモス畑で　2023.10.25.

秋を明るく楽しくしてくれるコスモス
花言葉は真心・謙虚・調和・美しい

ポストコロナ　コスモスの秋　うれしいことも　つらいことも　みんなみんな包み込んで
秋が猛スピードで駆けてゆく１１月　お互い無理せず　今を元気
人恋しいコスモスの秋　１１月は先に逝った多くの人たちに思いをはせ、自らを振り返る秋送り。
いつも頭にある悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」のこと
無関心ではいられぬ今　即刻停戦　平和の道が一日も早く開けますように

11月1日諸魂日　Kobeから「NO WAR」 多くの人に思いをはせる
「ウクライナ・ガザの街の無差別破壊の惨状」。
尽きることのない殲滅戦に数多くの「命」が失われ、またぞろ分断。
核・人類破滅の危機も見え隠れ。
「NO WAR」「命は宝」の原点一致でテーブルにつけないものか
国際世論の高まりしか抑止の道はないという。
もう「他山の石」・大国任せでは許されぬ時。
「即刻停戦の旗」を広く世界に広げよう。
困難に直面している人たちに　即刻 救いの光が差し込みますように
即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように。
無関心ではいられぬ日本
大国の思惑を排して、救いの手を差し伸べる国際世論をさらに高めよう

■　日本シリーズ　阪神の優勝 おめでとう。歓喜がこだまする嬉しい関西の秋に
■　１１月 深まりゆく秋　コスモスの秋　点描
■ 今月の神戸新聞コラム「正平調」ほか　気になるニュースより

収録１.　国際情勢は厳しい混乱の時代に　今月神戸新聞 朝刊コラム「正平調」他　気になった記事から転記
収録２.　文珍さんの落語的見聞録　「時間をかける旅が一番 リッチ」
収録３.　関西決戦の日本シリーズに関西は大盛り上がり　日本シリーズによせて　これぞ野球!!　そして関西人

11月　深まりゆく秋　コスモスの秋　点描 思いつくままに

街の街路樹が真っ赤になり、秋の風に揺れるコスモス　コスモスの秋2023
本年 家内が喜寿・私が傘寿になるのを機会に 息子や娘が
家族みんな元気に暮らせることを祝う会を開いてくれました。
幸い元気で足も動くし、好奇心・気力あり。
健康でいること等々　感謝一杯です。
秋の夜長　和鉄の道の記録をたどり、日々の生きざまを思い浮かべることも。
もう自分たちの時代でないことを自覚しつつ、
毎日を前向いてと
11月　深まりゆく秋　口笛ふぃ～て気を晴らす
God be with You!!　You Raise Me Up !!
ありがとうございます
2023.11.10. From Kobe　Mutsu Nakanishi

あっという間に 庭に真っ白なの小菊「野路菊」が咲きだし、日没が美しい季節になりました

コロナがやっと収束して、夢膨らませたホストコロナの新時代
でも　今まで目にしたことがないことばかり。そんなことが一機にふきだしたコスモスの秋。
世界や日本そして地球規模で　良くも悪しくも世の中が一機に動き出しましたが、「日本が取り残されている」と感じる今日この頃。日本のみが成長路線を描けず、募る行き先不安。
なんといっても、地球の危機・戦渦・核戦争が我が身にも直接降りかかる恐ろしさ
でも 秋の自然と触れ合う心地よさと嬉しい出来事も色々あり。　なんとかならぬのか・・・・と。コスモスの秋 11月の HP 更新作業に　集めた新聞・インターネットニュースなどを見ながら、思いつくままコスモスの秋をメモりました。

■11月1日諸聖徒日(諸魂日)　日本的に言えば、キリスト教徒のお盆・墓参り。
11月になると毎年　先に逝った仲間や知人に思いを馳せつつ、この1年を振り返る「私の秋送り」。
庭の野路菊の花も咲きはじめたので、まもなく 丘全体が真っ白な野路菊の花に包まれる横尾山腹の丘に登り、周囲を眺めつつ、多くの人に思いをはせての一年のわが身を振り返る。
今年は11月になっても夏日が続き、野路菊の花はまだこれから。

11月1日諸魂日 Kobeから「NO WAR」 多くの人に思いをはせる

11月は先に逝った多くの人たちに思いをはせ、自らを振り返る私の秋送り
いつも頭にある悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」
無関心ではいられぬ今　即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように

この秋　悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」の事が頭から離れない。
どうすれば良いのだろうか……
即刻停戦 平和の道が一日も早く開けますように。無関心ではいられぬ日本
大国の思惑を排して、救いの手を差し伸べる国際世論をさらに高めよう。

○ ウクライナ・ガザの惨状　TVが映し出す映像に心が痛む。
まず　対峙国・仲介国そして全世界が「命は宝」の原点でテーブルにつかねば・・・
「分け隔てなく命を救う」を原点に現場に立ち続けて、対峙国の原点課題解決を図った緒方貞子さんの勇気と沈着冷静な判断・行動力のすごさ。
ただただ「即時停戦」への願い。大国間の思惑に任せられぬ思いの中にいる。

■　最近の新聞などを読んでいて感じること

【理念からの原点復帰　一致点を説いて回る論客はいないのかと】

◆ ロシアの侵略／ウクライナ ＆ イスラエルの侵略／パレスチナ　それぞれ言い分がある.

両方がテーブルにつく一致点はどこにあるのか…

我々だって、日頃耳にするのは西側の情報ばかり…　これが正義といえるのか・・・・

日本政治だって　数頼み・仲間頼みのその場対応・丸投げ政治　これて良いのか…

基本を忘れ、即物的な対応ばかりでは、永遠に一致点は見つからぬ。

原点に戻ってというが、緒方貞子さんの言葉が心に響く

「守らねばならぬ命」　いま　こんなことを言うと叱られるかもしれないが、これが原点回帰の基本か・・・

話のすれ違い等々は　周りでもいつもこんな事が起っている。

何を大切にせねばならないのか・・・・疑心暗鬼ではいつまでたっても言葉遊びの域と。

今必要な一致点を説いて回る論客はいないのかと・・・・

2023.11.1.　from Kobe　Mutsu Nakanishi

■ 関西の秋にうれしいニュース　セの阪神・パのオリックスの阪神なんば線日本シリーズ

阪神の優勝 おめでとう。関西は大盛り上がり。歓喜がこだまする嬉しい関西の秋に

■ コスモスの秋　毎秋を明るくしてくれるコスモス

真っ青な空とともに見上げるコスモスが好き。 毎年出かける加古川西岸志方の郷。

各々の里が休耕田に作る自慢のコスモス畑巡り。どこまでも広がるピンクのコスモス畑。

秋の風に心地よく身を震わせるコスモスに出会えました。今年は亀岡市の夢コスモス園へにも

でも、田園地帯の里が作る休耕田のコスモス畑も新型コロナの４年を経て今年は２か所に減少。

みんな年を取り、世帯交代がむつかしい時代につづけてほしいなぁ・・・・と。

里人による休耕田を利用したコスモス畑の継続が
年々むつかしくなっているようですが、
私には ホームグランド東播磨の田園地帯で
風に揺れる素朴な普通のコスモス畑が一番
兵庫 播磨の秋の風物詩
来年も是非続けてほしいとエールを送ります。
2023.10.19. 志方の郷のコスモス畑で

■風来坊2023【スライド動画】【Photo Album】 京都府亀岡市の「夢コスモス園」2023.10.19.

■ 渡りの蝶「アサギマダラ」の渡りの道　今年もアサギマダラの飛来確認できました

須磨海岸に立ち並ぶ西六甲西端の山々に飛来する渡りの蝶「アサギマダラ」
今年も横尾山・旗振り山の藤袴の花の上で乱舞する姿が見られました。
また、TV を眺めていて、知ったのですが、信州 北アルプス 乗鞍岳の尾根を越える上高地乗鞍林道（スーパー林道）にある標高 1662m の峠白樺峠では　この時期　大空高く舞い上がった「鷹」が何羽も群れて南へ渡ってゆくのが見られ、カメラを持った多くの人が押し寄せるという。。
ここにも渡りの道がある。それも　大空高く「鷲」が渡る。みたいなぁ・・・・と。

■ 仲間と一緒に続いてきた神戸ゆかりの落語家「桂福丸・そうば　二人会」

パルモア寄席・喜楽館と場所は移り、今は一般の人も多くなり、若手・新人の時から、次々と賞もとり、新しい取り組みも次々と。
福丸さん「三十石」そうばさん藤沢周平作「踊る手」に挑戦。取も務める押しも押されぬ立派な中堅看板。
落語会の後の新開地一杯飲みも楽しみ
今もうれしい落語会。
また三宮で仲間営む串焼き店で続ける故郷仲間のホームグラウンド“栄太郎 元気かい”　もうれしい。
今を元気に。

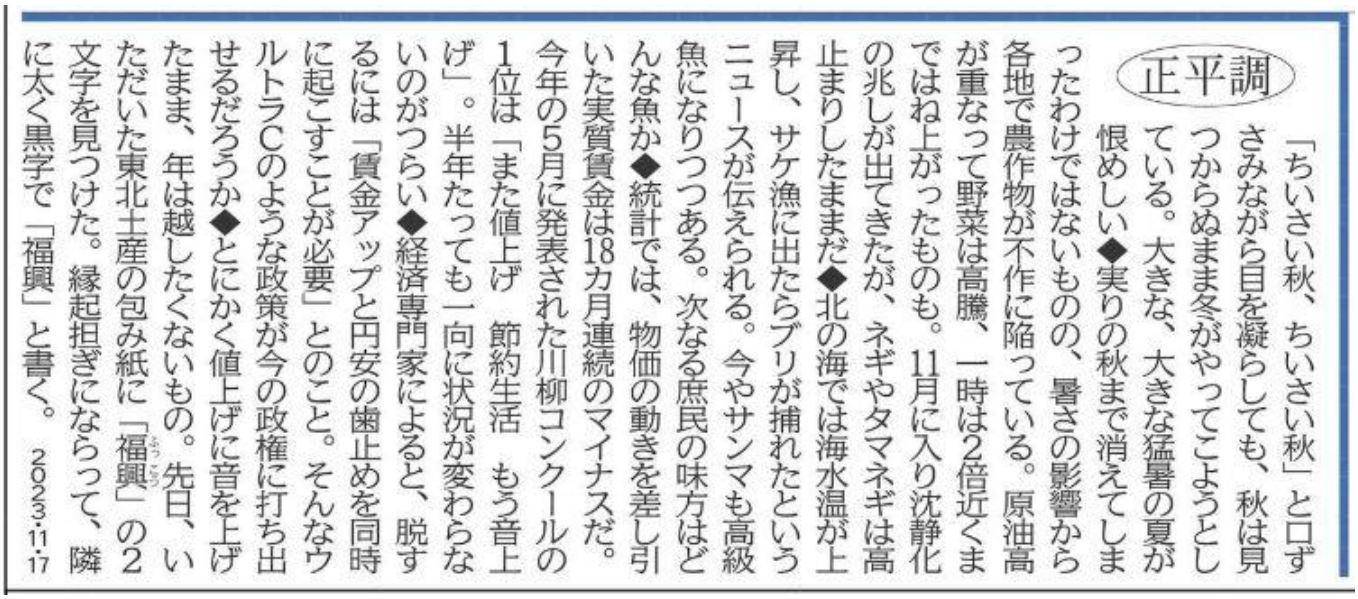
■ 年寄りのつぶやき　“ぶつぶつぶつ”

何でもかんでも現実から目をそらし、その場しのぎ。行動せず、模様眺めの日本。
世界の場に出た政治家たちの姿には日本の方向が見えぬ。まるで参加するのに意義をもとめるかのよう
マスコミもまた「公器」を口にするが、あからさまな忖度が見え、目にする若者たちまで・・・・
世界で 幼い子供たちまでもが、生きることに立ち向かっているというのに……
TV などに違和感を持つことが、多くなりました。
どこにそれをぶつけたらいいのか……・何か変な日本。
世界の若者が日本で発見するリフレッシュ日本の数々。びっくりマナコで見る。

資源のない日本の成長が止まる中、老齢人口の急増・物価高・成長産業の衰退に見舞われている。
経験・手本のない時代に、日本の蓄積も底をつき、行き先が見えない。
インフラのほころび・日本の成長を支えてきた企業の衰退
それでもまだ「今までに経験してきたことがない・・・・」
「自分が手を引けば・・・・・」の老獪言い訳の横行のほうかむり。
「・・・・ねばならぬ」「・・・といわざるをえない」の無責任

かつて若者に託して高度成長の急成長を遂げた日本。
サッカー・野球ほかスポーツに見る若者の活躍が今、それを示しているとみる。
若者に「やってみなはれ」と託す時がきたと。
また　勝手な年寄りのぶつぶつ。

HP 更新作業を遅まきながら初めて、やっと１１月更新ができました。
言葉足らずのページの羅列になってしまいましたが、よくも悪くも日本・世界そして地球環境までもが、今おかしくなっている。　日常の諸活動・動きばかりでなく、日本のインフラも点検・補修が十分できていないのか何かおかしい。今までと違う兆候が見え始めた。
大きな変化・混沌の時代の流れを反映してか　世の中も　次々とおかしなことが起こっている。
いま　どうすればよいのか・・・・・
経験・スピードそして、マニュアル・数頼み等々だけではどうしようもないと。
今　そんな中で、自分の立ち位置は…・・と。
◎　更新のファイルが出来上がった１１月 17 日の神戸新聞コラム「正平調」に
　今の国内世相をよく表しているなぁ…・・と思った掲載がありましたので転記紹介。



正平調

「ちいさい秋、ちいさい秋」と口ずさみながら目を凝らしても、秋は見つからぬまま冬がやってこようとしている。大きな、大きな猛暑の夏が恨めしい◆実りの秋まで消えてしまったわけではないものの、暑さの影響から各地で農作物が不作に陥っている。原油高が重なって野菜は高騰、一時は2倍近くまではね上がったものも。11月に入り沈静化の兆しが出てきたが、ネギやタマネギは高止まりしたままだ◆北の海では海水温が上昇し、サケ漁に出たらブリが捕れたというニュースが伝えられる。今やサンマも高級魚になりつつある。次なる庶民の味方はどんな魚か◆統計では、物価の動きを差し引いた実質賃金は18カ月連続のマイナスだ。今年の5月に発表された川柳コンクールの1位は「また値上げ　節約生活　もう音上げ」。半年たっても一向に状況が変わらないのがつらい◆経済専門家によると、脱するには「賃金アップと円安の歯止めを同時に起こすことが必要」とのこと。そんなウルトラCのような政策が今の政権に打ち出せるだろうか◆とにかく値上げに音を上げたまま、年は越したくないもの。先日、いただいた東北土産の包み紙に「福興」の2文字を見つけた。縁起担ぎにならって、隣に太く黒字で「福興」と書く。　2023・11・17

本当に今の政治に期待する声がほとんど聞かれない。
ふと頭によぎったのが、いま感じている政治家やマスコミに感じている違和感は
「中央・東京」と「地方」の構図で説明できるかも…・　「地方」は自分たちの領域ではないのかと。

時折　耳にする若者の会話にも同じことを感じる時がある。
もう今を謳歌しているだけで　思いやりも何もない。
そんなままで、今の日本は動いているのではないか・・・
よく言われた前高度成長時代の企業幹部と現場の構図が
今の日本社会にそっくりそのまま今も受け継がれ、進歩がない。　時代思考がストップのままなのか。
今の丸投げ政治などそのものではないか・・・・・と。

ぶつぶつ　何の足しにもなりませんが、元気に暮らしています。
HP 更新　頭が回らず。　集めたバラバラ資料を日寝返しつつ
結局　多くを神戸へ新聞等のきりぬきとインターネットニュースに頼ってしまいました。
勝手な言い草ばかりですが、どっかでふりかえってもらえれば…・。
こっちも無責任化もしけず、お許しを
良くも悪くも時代が変わる激動の中にいる　なんとかなるさの時代感覚とはちょっとちがうなぁ・・・・・と。
変革の時代　日本・世界そして地球環境までも・・・
でも　野山や田園や里のゆったりした中に身を置く心地よさ　　コスモスの秋が過ぎてゆく。
まもなく師走　また１年。
物価の上昇等々先行きの見えぬ厳しさに度重なる線状降水帯発生の災害の激甚化等々厳しい日々
後ろから今を考える高齢の仲間入り　老化や病気と闘う先輩や仲間の今を聞くことも増え、
訃報に涙ぐむことも多くなりましたが、”元気に毎日を”と元気に動けることに感謝しつつ
自らを奮い立たせています。

いつも　ありがとうございます。
仲間の元気は　みんなの応援歌
God be with You!!　　&　You Raise Me Up
お互い無理せず、今を元気に
2023.11.17.　やっとHP月更新を終えて　From Kobe　Mutsu　Nakanishi

【From　Kobe 2023 】11月　深まりゆく秋　コスモスの秋
コスモスの秋 点描　神戸便り　　2023．11．15.
収録１．　国際情勢は厳しい混乱の時代に　今月神戸新聞 朝刊コラム「正平調」他　気になった記事から転記
収録２．文珍さんの落語的見聞録　「時間をかける旅が一番 リッチ」
収録３．関西決戦の日本シリーズに関西は大盛り上がり　日本シリーズによせて　これぞ野球!!　そして関西人

【From Kobe　2023 11月】
収録１国際情勢は厳しい混乱の時代に
今月神戸新聞 朝刊コラム「正平調」他　気になった記事から転記

■ 何でもかんでも現状から目をそらし、行動せず、模様眺めの日本。
世界の場に出た政治家たちの姿に日本の方向は見えぬ、視点と判断のない今の日本の現状
世界の若者までがそれを指摘する。　世界の若者が日本で発見するリフレッシュ日本の数々。
井の中の蛙から、とびださねば・・・・と。　ついぶつぶつです
資源のない日本が今、成長が止まる中、老齢人口の急増・物価高・成長産業の衰退に見舞われている。
経験・手本のない時代に、日本の蓄積も底をつき、行き先が見えない。
インフラのほころび・日本の成長を支えてきた企業の衰退
「今までに経験してきたことがない・・・・」「自分が手を引けば・・・・・」の老獪言い訳の横行。
若者に託して高度成長の急成長を遂げた日本。 サッカー・野球ほかスポーツに見る若者の活躍に
日本の取るべき道が垣間見える。若者に「やってみなはれ」と託す時代がきた。
そんな思いが強い１１月です　　勝手なぶつぶつ　皆様にはどう見えますでしょうか……

2023.11.10.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

■ 神戸新聞　１１月１日朝刊　文化面「汀にて」鷲田　清一　より転記
＜ マジョリティとはだれか＞　　強者に追随　身を潜める者

文　化

汀（みぎわ）にて

鷲田清一

〈マジョリティとはだれか〉

強者に追随 身を潜める者

ダイバーシティ（多様性）という言葉がずいぶんと定着してきた。自然の生態系においても、社会の構成においても、それを構成するメンバーが多様であればあるほど、その存続が確かなものとなる。多様性のそういう考えに正面から反対する人はおそらくいまい。そしてこの認識とともに、マイノリティの存在の尊重というモラルも多くの人びとの感覚に住みついてきた。

わたしたちは漫然と、マイノリティを少数者、マジョリティを多数者というふうにイメージしていて、多数者の横暴から少数者の権利を擁護するべきだと考えている。そういう意味では、移民や「在日」、障害者や生活困窮者など、この社会でさまざまの疎外や差別に晒されてきた人びとこそ、マイノリティであろう。しかしマジョリティ／マイノリティの区別は、社会における多数者と少数者の区別に重なるものなのか。

先日、ふと手に取った荒井裕樹の『障害者ってだれのこと？』（平凡社）にその問題についての明解な視点が示されていて、霧が晴れるような思いをした。

マジョリティ／マイノリティの区別は、人口比率の多寡をいうのではない。たとえば王政、貴族政の社会で王や貴族は少人数でも、権力や財力は強大である。つまりマイノリティではない。女性と男性もほとんど同数なのに、社会のいろんな基準を決めることで優位な位置に立ち、より多くの機会に恵まれるのは圧倒的に男性である。

仕切る／仕切られる

このことからあきらかになるのは、マジョリティとマイノリティの区別が社会を仕切る側と彼らに仕切られる側との区別だということだ。荒井はそれを「社会の中での居心地のよさの度合い」の差だという。社会のルールや仕組みを決める側がマジョリティだとすれば、マジョリティにとってこの社会の居心地の悪かろうはずがない。社会は彼らの意向に沿って設計されているからである。だから社会の不具合への関心は薄く、その改善への問題提起も彼らからなされることはまずない。

ここまで読んでふと思い起こしたのは、過日テレビで中継された（旧）ジャニーズ事務所の会見だ。関連質問を封じられた記者たちが抗議の声を上げたとき、（新）副社長が、この会見をテレビで観ている子どももいるから、ルールは守りましょうよと、記者らに諭すかのように呼びかけた。場を統べていたのは、会場での圧倒的少数者、つまりは訊かれる側だった。

この風景、じつは政治の中枢でいまや常態と化しているものである。会見の時間制限も、事前に質問書の提出を義務づける手続きも、さらには入場許可を出す報道機関ないしは記者の取捨選択も、内閣官房側の決定に質問者側が従わなければならない約束になっている。内閣官房長官というたった一人のひとが、その場のマジョリティとしていわば君臨しているわけだ。彼は事務方が準備した原稿を棒読みするばかりか、「差し控える」といういまや流行語ともなった回答拒否の言葉を連発する。総論としては「丁寧な説明」を謳いながら、米軍兵士による暴行傷害事件が起きても、与党議員の発言が人権侵犯と裁定されても、「個別の案件について政府として所感を述べることは差し控える」、「コメントする立場にない」といった言い回しで質問を封じる。

ではそうした不均衡な力関係のなかで、多くの人びとは往々にしてどんな位置どりをしてきたのか。してしまっているのか。

大勢のなかに紛れ込むようにして強い側、権力をもつ側に就く。そして一部の人が差別や排撃の言葉をマイノリティに投げかけるのを、後ろのほうで、身を潜めて見て見ぬふりをする…。そういう態度ではなかったか。

関心を持ちあう

要は、じぶんは安全な場所に引きこもり、社会の不具合にかかわろうとしないのである。それは仕切る者もそれに追随する者もおなじである。

仕切っている者はたとえ謝罪せざるをえない場面へと追い詰められても、「誤解を招いたとすれば」とか「もし不快な思いをさせてしまったとすれば」と前置きして、誤解したり過剰に反応したほうが悪いと言わんばかりに、質問者側の問題へとすり替える。問われている問題そのものに入っていかない点では、問題にかかわらないでいたい、関心をもたずにいたいと思う人びともおなじである。

荒井も言っていたように、問題提起は、この社会のあり方が辛い、苦しい、不平等で悔しいという人たちからしかなされない。そういう人たちの異議申し立てがなかったら、今日いわれる性差別やパワーハラスメントも問題として浮上してはこなかったのだ。

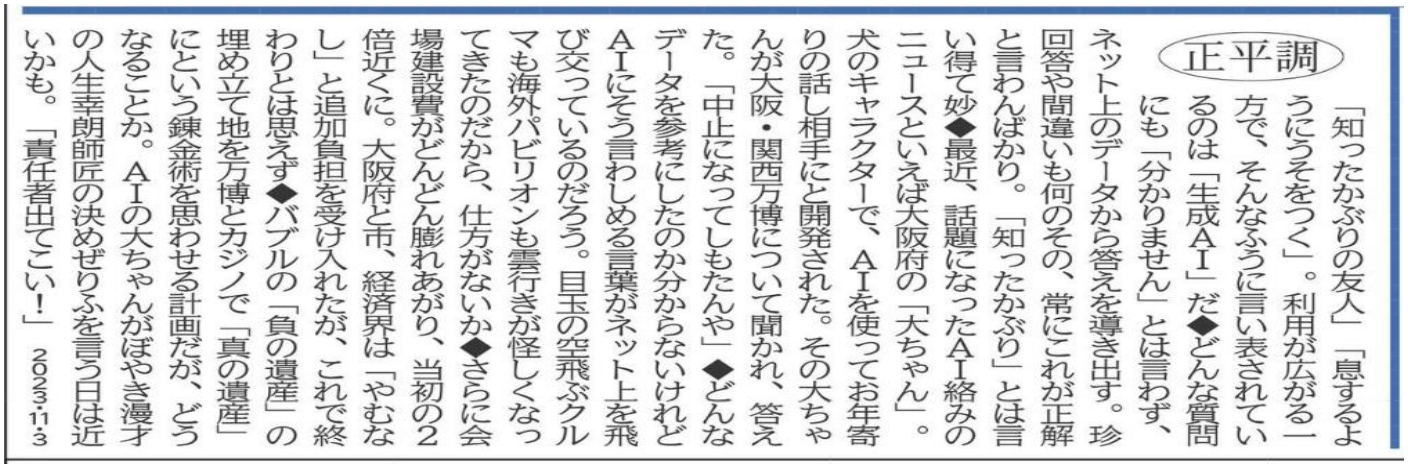
ホロコースト生還者、エリ・ヴィーゼルの言葉を引けば、「愛の反対は憎しみではない。無関心だ」。関心を持ちあうというこの相互のリスペクトがあってはじめて民主主義は機能する。ちなみに「関心」（インタレスト）はラテン語のinteresse（人と人とのかかわりのなかに在ること）に由来する。

◇次回は来年1月に掲載予定です。

わしだ・きよかず　1949年京都市生まれ。京都大大学院博士課程修了。元大阪大学総長、前京都市立芸術大学長。せんだいメディアテーク館長。専門は臨床哲学。「モードの迷宮」（サントリー学芸賞）、「『聴く』ことの力」（桑原武夫学芸賞）など著書多数。

■ 今月の神戸新聞コラム「正平調」2023.11.3.より転記

便利さだけがキーワードの日本　もっと情報操作・AIの危うさに取組まねば・・・・



正平調

「知ったかぶりの友人」「息するようにうそをつく」。利用が広がる一方で、そんなふうに言い表されているのは「生成AI」だ◆どんな質問にも「分かりません」とは言わず、ネット上のデータから答えを導き出す。珍回答や間違いも何のその、常にこれが正解と言わんばかり。「知ったかぶり」とは言い得て妙◆最近、話題になったAI絡みのニュースといえば大阪府の「大ちゃん」。犬のキャラクターで、AIを使ってお年寄りの話し相手にと開発された。その大ちゃんが大阪・関西万博について聞かれ、答えた。「中止になってしもたんや」◆どんなデータを参考にしたのか分からないけれどAIにそう言わしめる言葉がネット上を飛び交っているのだろう。目玉の空飛ぶクルマも海外パビリオンも雲行きが怪しくなってきたのだから、仕方がないか◆さらに会場建設費がどんどん膨れあがり、当初の2倍近くに。大阪府と市、経済界は「やむなし」と追加負担を受け入れたが、これで終わりとは思えず◆バブルの「負の遺産」の埋め立て地を万博とカジノで「真の遺産」にという錬金術を思わせる計画だが、どうなることか。AIの大ちゃんがぼやき漫才の人生幸朗師匠の決めぜりふを言う日は近いかも。「責任者出てこい！」　2023・11・3

チャットAIのあやうさや恣意的な情報のバラマキ操作等々　高度情報化社会の闇がひそかに進行する。
「みんなで渡れば怖くない」と乗り遅れたらだめだとの話がインターネットを通して拡散。
どう整理すれば良いのか判らずのままにいるが、今日の神戸新聞のコラム正平調氏の話がよく解る。
google や旧 Face Book 等の横暴ぶりに規制強化が議論されているが、日本での現状は野放しに近い。
身近にもブロワーを使っての恣意的情報・偽情報そして闇サイト等々数々のおかしな事が流布されている。
EU ではインターネット閲覧者の情報を勝手に集め、恣意的な情報を送り付けることの規制強化に舵を切った。
日本ではすぐビジネスに乗り遅れるという論が恣意的に拡大するが、何とかならぬか・・・
TV までもが、肯定的な取り上げ方でルポと称してばらまきに参加と見える。
インターネットがますます便利になって　規制のベースが定まらぬまま悪の巣窟になって、日に日に犠牲者が闇の中に引き込まれる現状。危険予知でもよく言われる「まずフェイルセーフ安全側へ倒して」から議論することも大事。もうそんな段階にきているとみるが・・・・。
この膨大な偽・恣意的情報を使う操作ビジネスの拡散に目を向けなければ、
高度通信社会の崩壊をもたらすと・・・・。

2023.11.4.　From Kobe　　Mutsu　Nakanishi

■　最近の新聞などを読んでいて感じること

【理念からの原点復帰　一致点を説いて回る論客はいないのかと】

最近の正平調氏の話を読み、今の混乱の世相に　一致点を説いて回る論客はいないのかと

◆ 伝統を守ることの重要性と革新　　今を生きるためにどうすればいいのか・・・・

◆ ロシアの侵略／ウクライナ ＆ イスラエルの侵略／パレスチナ　それぞれ言い分がある.

両方がテーブルにつく一致点はどこにあるのか…

我々だって、日頃耳にするのは西側の情報ばかり…　これが正義といえるのか・・・・

日本政治だって　数頼み・仲間頼みのその場対応・丸投げ政治　これて良いのか…

基本を忘れ、即物的な対応ばかりでは、永遠に一致点は見つからぬ。

原点に戻ってというが、緒方貞子さんの言葉が心に響く

「守らねばならぬ命」　いま　こんなことを言うと叱られるかもしれないが、これが原点回帰の基本か・・・

話のすれ違い等々は　周りでもいつもこんな事が起っている。

何を大切にせねばならないのか・・・・疑心暗鬼ではいつまでたっても言葉遊びの域と。

今必要な一致点を説いて回る論客はいないのかと・・・・

2023.11.1.　from Kobe　　Mutsu Nakanishi

■ 2023.10.25.　神戸新聞「正平調」より転記

きょうもまた、世界の何処かで「愛国の華」が散っているのかもしれない

正平調

戦前のグリコのおまけに「肉弾三勇士之像」というのがあった。1個5銭のキャラメルに引換券がつき、集めた枚数に応じておまけの景品と交換できた◆日本軍と中国軍が衝突した1932（昭和7）年の上海事変で日本兵3人が爆弾を抱えて敵に突入し、爆死した。軍は「覚悟の自爆」とたたえ、新聞が賛美して教科書にも載った。増子保志さんの「創（つく）られた戦争美談」（日本国際情報学会誌）に詳しい◆物語と精神論に酔い、命を軽んじる風潮はその後の神風特攻隊につながった。79年前のきょうは、海軍の戦闘機がフィリピンのレイテ沖で米艦隊に初めて体当たりした日。日本人が忘れてはいけない一日である◆今年は学徒出陣から80年の節目でもある。特攻も学徒出陣も敗色が濃厚になった末の決断だった。兵士と兵器の不足を若者の命で補おうとしたとはもはや正気ではない◆かつて特攻で大切な学友を亡くした作家は書いている。「悲痛なのは、その屍（しかばね）に彼の本質とはまったくかけ離れた『愛国の華』という冠詞がつけられたことだ」（新潮文庫「司馬遼太郎が考えたこと1」より）◆きょうもまた、世界のどこかで「愛国の華」が散っているのかもしれない。進歩のない人間に嫌気が差すが、それでもNOと言い続けねば。　2023・10・25

■ 2023.10.18.神戸新聞「正平調」より転記

人口減少が止めがたい今　趣旨をそこなわぬよう、できる形を模索してもよいのではないか。

で祭りのバトン代々つないできた先人たちも、なくなるよりそちらの方を望むはずだ。

正平調

「あぁー！」。屋台が傾く。見つめる観衆からどよめきが起きる。腹に響く太鼓の音が続く練り場は、氏子らで立すいの余地もない。地区ごとに色の違うシデ棒が生き物の群れのように動き、複数で練り合わせる屋台を後押しする◆風が冷たさを帯び始めた14、15日、播磨の秋祭りのハイライト「灘のけんか祭り」で知られる、松原八幡神社（姫路市白浜町）の秋季例大祭が催された◆新型コロナウイルス感染症の5類移行後、初のけんか祭り。週末でもあり、例年以上の老若男女が詰めかけた。「やっと普通に戻った。人が多い方が気合も入る」。締め込み姿の30代男性は、いとおしそうに屋台を見つめた◆だが華やかなけんか祭りの一方、コロナ禍を経て郡部の一部の祭りはひっそりと姿を消しつつある。人が減り、数年ほどの中断が引き金になった◆たつの市新宮町平野地区の秋祭りは、これまで長らく子どもだけのちょうちん行列を続けてきた。少子化のため今年は大人が加わると、図らずも半世紀ぶりに戦前からの伝統的な形に戻った◆人口減少は止めがたい。ならば祭りの趣旨を損なわぬよう、今できる形を模索してもいいのでは。祭りのバトンを代々つないできた先人たちもきっと、なくなるよりそちらの方を望むはずだ。　2023・10・18

神輿激突 響くごう音　姫路・灘のけんか祭り本宮

播磨を代表する祭礼の一つで、「灘のけんか祭り」と呼ばれる松原八幡神社（姫路市白浜町）の秋季例大祭は15日、本宮を迎えた。秋晴れの下、3基の神輿（みこし）が激しくぶつかり合う名物の「神輿合わせ」が披露され、練り場のあるお旅山を埋めた観衆が見入った。

（22、23面に写真グラフ）

旧灘七方村（地区）のうち、祭りを取り仕切る「年番」が神輿を担ぐ習わし。午後2時過ぎ、木場地区の氏子とともに神輿がお旅山の練り場に姿を現すと、待ちわびた見物客から歓声が上がった。

神輿は激しくぶつけ合うほど神意にかなうとされる。「バキッ」「ドスン」。衝突のたびにごう音が響き、屋根がきしみ、装飾が飛び散った。男たちの威勢のいいかけ声が、すり鉢状の舞台にこだまし続けた。

他の6地区もお旅山に集まり、自慢の屋台を練り合わせた。

（森下陽介）

3基の神輿を激しくぶつけ合う木場地区の氏子たち＝15日午後、姫路市白浜町（撮影・笠原次郎）

NEXTに動画

【From Kobe 2023 11月】

収録２　文珍さんの落語的見聞録「時間をかける旅が一番 リッチ」

東海道新幹線は 10 月末でワゴンでの車内販売をやめるという。
スピード・効率ばかりを追求してきた日本の昨今 コロナも収まって旅行ブームという今、
かつての旅を思い出して、旅にでたいなぁ・・・　あそこもここもと。
でも　今 旅の形も眺める景色も随分 変わったのだろうなぁ……
文珍さんの落語「さる後家」よく知らず。落語「さる後家」の中に、こんな会話があったかなぁ…と。
秋の夜長　ゆっくりくつろぎながら 今一度 落語に耳を傾けるのもよし。

2023.10. 20.　Mutsu Nakanishi

神戸新聞
2023年（令和5年）10月19日 木曜日
神戸新聞社

文化

落語的見聞録

桂文珍

時間をかける旅が一番リッチ

先日、東京での落語会のために新幹線で移動中、今年の10月の末でJR東海の新大阪・東京間では、ワゴンでの車内販売をやめると知った。ナ、なんでーと青天の霹靂だー！

あのカターイ、硬いアイスクリームが食べられなくなる。新幹線に乗る楽しみの一つなのだ。私は乗り鉄でも撮り鉄でもないアイス鉄、あのカチカチのアイスが軟らかくなるのを待てず、スプーンを突き刺したり、手で温めたり、ハアーと息をかけたりして、食べるのが楽しみなのだ。それが無くなるなんて…車内を静かな環境にしたいのだそうな。それなら「今、三河安城を時刻通りに通過した」だの「今、小田原を時刻通りに…」とかいらんのと違うかい？　と言いたくもなる。

これが最後か…と思いながらワゴン販売のアイスを買い、「これからアイス食べたい時はどうしたらいいのです？」と聞いたところ、「モバイルオーダーをして下さい。前のポケットのところのQRコードを読み取っていただければわかります」とのこと。そこで私は「モバイルて何ですの？」と尋ねたら、販売員さんはアイスのように硬く固まって下さい。前のポケットのところのQRコードを読み取っていただければわかります」とのこと。そこで私は「モバイルて何ですの？」と尋ねたら、販売員さんはアイスのように硬く固まって下さい。前のポケットのところのQRコードを読み取って来た。

その時、彼は言っていた。「時間をかけるほど高くつく。新幹線は安かった」と。

その代わり、さまざまな出合いと経験が身に付いたと話してくれた。時間をかけてゆっくりが一番リッチな旅なのかもしれない。

落語「猿後家」では町内の若旦那衆を連れて太兵衛という男が歩いて伊勢参りをする。そして土産に伊勢の壺屋のたばこ入れを買う。そこには蜀山人の歌が書いてある。「夕立や伊勢の稲荷のたばこ入れ降るなる光る強い雷」（このたばこ入れは、古くなるほど光る、強い紙なり）のシャレなのだ。

時間をかけるのがリッチな旅。そして旅は出合いだ。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は11月16日＝

【From Kobe　2023 11月】

収録３. 関西決戦の日本シリーズに関西は大盛り上がり
日本シリーズに寄せて　これぞ野球!　そして関西人

コロナ禍が一段落して、ポストコロナの厳しい時代の秋にうれしいニュース

阪神対オリックス 関西対決の日本シリーズ

阪神なんば線シリーズ出 関西では大盛り上がり

阪神優勝おめでとう!!　若者たちの躍動に元気をもらう

阪神優勝おめでとう

故郷 阪神尼崎の商店街も大盛り上がり。
夜遅くになっても LINE は仲間のメールが飛び交いました。
尼崎の仲間から「阪神で盛り上がってごめん」とのメール。
「阪神が勝ってもええよ。
　山本を笑顔でアメリカへ送り出せる。ありがとう」と返信。
　私もそうですが、オリックスファンのほか　みんな隠れ阪神。
「神戸の凱旋パレードには　阪神のも オリックスのも
　どっちも行くぞ!!」と。うれしい関西の秋です

日本シリーズに寄せて　これぞ野球　そして関西人と

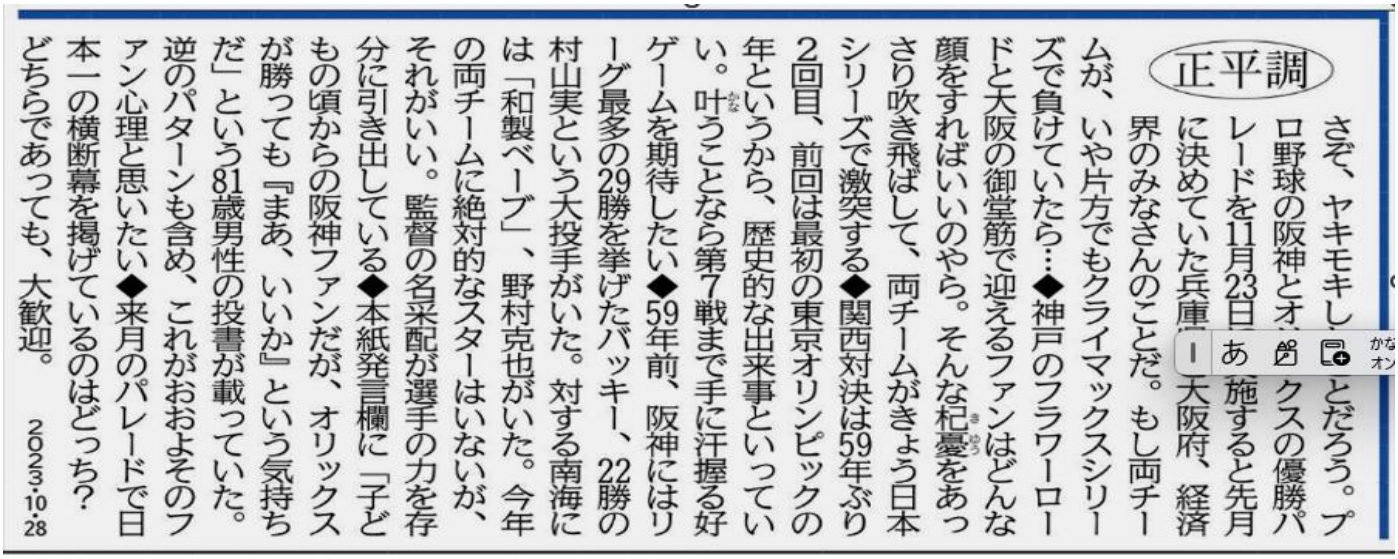
神戸新聞コラム　正平調より　　2023.11.7.　　Mutsu Nakanishi

◎2023.10.28.　日本シリーズ開幕の日の神戸新聞コラム「正平調」

優勝パレードで日本一の横断幕を掲げているのはどっち？　どちらであっても大歓迎。

神戸新聞発言欄に掲載された８１歳の男性の投書に「子どもの頃からの阪神ファンだが、オリックスが勝っても『まあ、いいか』という気持ちだ」という８１歳男性の投書が載っていた。

逆のパターンも含め、これがおおよそのファン心理と思いたい。



正平調

さぞ、ヤキモキし…とだろう。プロ野球の阪神とオ…クスの優勝パレードを11月23日…あ…施すると先月に決めていた兵庫…大阪府、経済界のみなさんのことだ。もし両チームが、いや片方でもクライマックスシリーズで負けていたら…◆神戸のフラワーロードと大阪の御堂筋で迎えるファンはどんな顔をすればいいのやら。そんな杞憂をあっさり吹き飛ばして、両チームがきょう日本シリーズで激突する◆関西対決は59年ぶり2回目、前回は最初の東京オリンピックの年というから、歴史的な出来事といっていい。叶うことなら第7戦まで手に汗握る好ゲームを期待したい◆59年前、阪神にはリーグ最多の29勝を挙げたバッキー、22勝の村山実という大投手がいた。対する南海には「和製ベーブ」、野村克也がいた。今年の両チームに絶対的なスターはいないが、それがいい。監督の名采配が選手の力を存分に引き出している◆本紙発言欄に「子どもの頃からの阪神ファンだが、オリックスが勝っても『まあ、いいか』という気持ちだ」という81歳男性の投書が載っていた。逆のパターンも含め、これがおおよそのファン心理と思いたい◆来月のパレードで日本一の横断幕を掲げているのはどっち？どちらであっても、大歓迎。

2023.10.28

今回ばかりは関西はみんな同じ気持やなぁ…　ふむ ふむ ふむと。

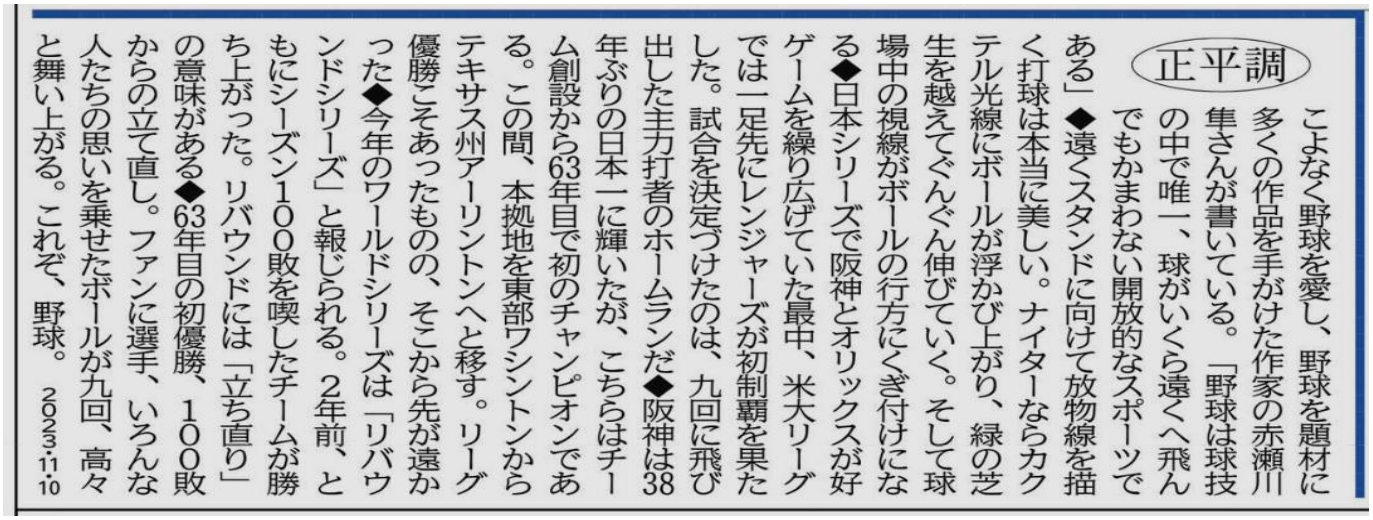
それにしても今年の日本シリーズ　甲子園の阪神の大応援団。すごすぎた…

また、もう忘れかけていた阪神村山実さん　そしてバッキー　の名が出てきて、どっちも懐かしいなぁ…・と。

◎2023.11.6.　阪神が日本シリーズ　優勝を決めた後の１１.10.の神戸新聞朝刊コラム「正平調」

遠くスタンドに向けて　放物線を描く打球は本当に美しい。

いろんな人の思いを乗せたボールが９回、高々と舞い上がる。これぞ野球



正平調

こよなく野球を愛し、野球を題材に多くの作品を手がけた作家の赤瀬川隼さんが書いている。「野球は球技の中で唯一、球がいくら遠くへ飛んでもかまわない開放的なスポーツである」◆遠くスタンドに向けて放物線を描く打球は本当に美しい。ナイターならカクテル光線にボールが浮かび上がり、緑の芝生を越えてぐんぐん伸びていく。そして球場中の視線がボールの行方にくぎ付けになる◆日本シリーズで阪神とオリックスが好ゲームを繰り広げていた最中、米大リーグでは一足先にレンジャーズが初制覇を果たした。試合を決定づけたのは、九回に飛び出した主力打者のホームランだ◆阪神は38年ぶりの日本一に輝いたが、こちらはチーム創設から63年目で初のチャンピオンである。この間、本拠地を東部ワシントンからテキサス州アーリントンへと移す。リーグ優勝こそあったものの、そこから先が遠かった◆今年のワールドシリーズは「リバウンドシリーズ」と報じられる。2年前、ともにシーズン１００敗を喫したチームが勝ち上がった。リバウンドには「立ち直り」の意味がある◆63年目の初優勝、１００敗からの立て直し。ファンに選手、いろんな人たちの思いを乗せたボールが九回、高々と舞い上がる。これぞ、野球。

2023.11.10

日本シリース第７戦　９回裏　大量リードされたオリックスの攻撃

いろんな人の思いを乗せたボールが９回、高々と舞い上がる。

一つは　オリックス　頓宮のホームランの打球が舞い上がり　そして最終打者杉本　のレフトへの打球が阪神　ノイジーのグラブに収まった。目にはグラブに収まる打球の残像が残る。　あぁ終わったと。

阪神 優勝おめでとう　　満身創痍の中で戦ったオリックス　よく頑張った。　関西にうれしい秋

今回の日本シリーズもまた、若者たちが躍動　今の日本に必要なのはこの若者のパワーだとつくづく。

2023.11.10.From Kobe　Mutsu Nakanishi

From Kobe
2023【12】

fkobeR0512.pdf

【From Kobe 2023】 12 月師走　神戸の街で　　2023.12.15.

歳老いて忘れていたものを若者たちが教えてくれた「この厳しい時代を生きる知恵　生きる力」
今年の秋若者たちが見せてくれた躍動「一つになれば　奇跡は何度も起きる」

師走 12 月初め　毎日の散歩道で　まだ秋が残る師走 わが街 妙法寺 若草の丘界隈

新神戸駅のすぐ北 布引谷 徳光院の紅葉も真っ赤になりました

まだ北風小僧はやって来ず、街には真っ赤な紅葉が残る師走に。 地球温暖化の影響なのか 12 月になって街の街路樹は真っ赤に色付く街紅葉。 神戸の街中では、真っ赤に色づかぬ紅葉も街中の紅葉の名所「新神戸布引谷 徳光院の紅葉も真っ赤に」 毎年 12 月恒例「神戸ルミナリエ」が 1 月に変更になった事もあって、まだまだ秋の雰囲気。
でも、街中にはマスクなしの笑顔があふれ、なんとなく嬉しくなる今年の師走です
遅れましたが、12月初め　師走を迎えた神戸の街の師走の便りです。

歳老いて忘れていたものを若者たちが教えてくれた「この厳しい時代を生きる知恵　生きる力」
今年の秋若者たちが見せてくれた躍動「一つになれば　奇跡は何度も起きる」

■ Merry Christmas!　2023 "God be with YOU!!"
　われら地球人　平和で穏やかな暮らしに思いをはせつつ
■ 師走の街 神戸　街には真っ赤な紅葉が残る中 あっというまに師走に

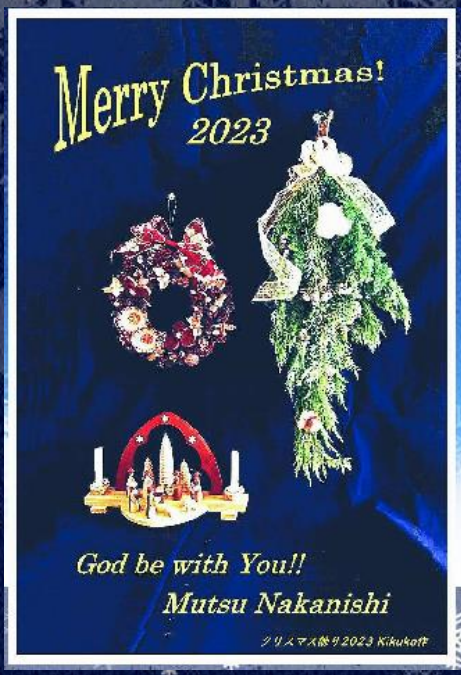
収録 1. 文珍さんの落語的見聞録「 キャッシュレスの「時うどん」は」
　　後戻りができなくなったデジタル時代　一番大切なのはルールと知恵かと
収録 2. 今月の神戸新聞コラム「正平調」ほか　気になった今月ニュースメモ　ぶつぶつの言い残し
収録 3. 和鉄の道 2023 年 1 年を振り返って

■ Merry Christmas!　2023　*"God be with YOU!!" & " You Raise Me UP"*

われら地球人　平和で穏やかな暮らしに思いをはせつつ

Merry　Christmas!!　2023

みんなの 笑顔が取り戻せるよう　明日への思いを託して



即時停戦、ウクライナ・パレスチナに穏やかな暮らしが取り戻せますように
高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」大変革の新時代
はじめて気が付いた戦争の悲惨・核戦争の危機
ゲームの世界が今現実にわが身に降りかかる
ぬるま湯日本もまた、厳しい現実にさらされている。
「相手を思う心のやさしさ」地球人としての自覚なしには生きられぬ時代です
今こそ人類が命をつないでこれたルーツに思いを馳せて
しっかり今を今を生きねばの思いが募る Merry Christmas!!

この秋　悲惨な戦火の中にある「ウクライナ」「パレスチナ・ガザ」の事が頭から離れない。
どうすれば良いのだろうか……
即刻停戦　平和の道が一日も早く開けますように。無関心ではいられぬ日本
大国の思惑を排して、救いの手を差し伸べる国際世論をさらに高めよう。

○ ウクライナ・ガザの惨状　TVが映し出す映像に心が痛む。
まず　対峙国・仲介国そして全世界が「命は宝」の原点でテーブルにつかねば・・・
「分け隔てなく命を救う」を原点に現場に立ち続けて、対峙国の原点課題解決を図った緒方貞子さんの勇気と沈着冷静な判断・行動力のすごさ。
ただただ「即時停戦」への願い。大国間の思惑に任せられぬ思いの中にいる。

From Kobe　Mutsu Nakanishi

◆ 11 月 From Kobe 収録　NHK BS アナザーストーリズより
小さな巨人　緒方貞子さん　運命の分岐点　を聴取して

■　２０２３年師走を迎えた神戸の街景色　マスクを外した笑顔　周りの景色もどことなくあでやかに

師走の神戸の街　三宮センター街の人波　2023.12.1　夕暮れ時。

三宮阪急2F入口に飾られたクリスマスツリー　2023.12.1

師走の神戸の街で　北野　異人館通り
うろこの館の塔に飾られたタイガース優勝人形　2023.12.1

師走の神戸　元町　大丸前ロータリー周辺と南京町　2023.12.1　夕暮れ時。

まだ秋が残る師走　わが街　妙法寺　若草の丘界隈

地球温暖化の影響なのか　１２月になって街の街路樹は真っ赤に色付く美しい街紅葉

まだ秋が残る師走　　わが街妙法寺　若草の丘の街紅葉

車大歳神社から車の伝衛力風早乗越へ　　日差しはつるべ落とし　一機に日没へ

丸山の谷を鵯越へ登る電車を撮りたくなって、夕刻高取山へ

師走12月 夕暮れ近く　今日は丸山の谷を鵯越へ登る電車を撮りたくなって、高取山へ
毎週TVで見るNHK「中井精也の絶景！てつたび」の影響　すぐ頭に浮かぶあのアングルと紅葉の山
思い通りにはゆかずですが、うれしい写真が取れました
師走の神戸の街景色　思い入れ一杯　神戸の街景色の写真で飾れました。

fkobeR0512A.pdf

収録 1.　文珍さんの落語的見聞録「キャッシュレスの『時うどん』は」

後戻りができなくなったデジタル時代　一番大切なのはルールと知恵かと　文珍さん

神戸新聞　2023.11.16.　文珍さんの落語的見聞録より

文　化

キャッシュレスの「時うどん」は

神戸新聞

2023年(令和5年)
11月16日
木曜日

神戸新聞社

落語的見聞録　桂文珍

最近の天気は理由がわからんぐらいにコロコロと変わる。つい先日まで冷房費がかかったが、いきなり暖房費が必要に。ついこの間、暑い暑いと言っていたのは何だったんだろう。

先週の日曜日、実家、丹波篠山に戻る途中、大阪府豊能郡の天王の峠には雪が積もっていた。夏からいきなり冬。秋はどこへ行った？　紅葉の上に雪？　珍しい景色だった。あわてて灯油を買いに走ると、これが値が高い。仕方なく冬のコートで厚着をして農道を散歩していると、熊に間違えられたりしかねない。

山に食べ物が少ないので、冬眠前に人家にまで熊がやって来て困るという。東北や北海道の知事さんたちが国の環境省に捕獲や駆除のために「指定管理鳥獣」に熊を追加して資金を何とかしてほしい、との報道をニュースで見た。人間との共生はなかなか難しい。

先日は実家の近所で、眼の曲がった人が道の端っこを歩いてゆく。誰だろう、同じ地域の人ならわかるはずなのに…と見送っていると、お尻が赤い！　あっ！猿や！　鹿がいる、猪がいる。田舎はのんびりするけど、鳥獣の被害は難儀である。

で、都市部に戻ると、街にもたくさんの「ケモノ」がいる。スマホなるものができて、誰でもネットで配信可能に。平たく言えば、誰でもテレビ局のように映像を送ったり、見たりできる。すると「私人逮捕」なんぞという役柄をする人がいて、一般人を不審者や容疑者と決めつけ拘束したり追跡したりする。その動画をSNS上に投稿し、再生回数が増えれば、広告費で儲けるという。これまた、難儀なああ…なのである。

スマホを使わない私は、若い人、いや、年配の方々でも食事や買い物をして○○ペイとかで決済をなさるのをチラ見しながら、それ便利やけど手数料きっとかかってる、店が負担したら価格に上乗せするやろ…と、不思議で仕方がない。

キャッシュレスの時代になれば、落語「時うどん」ができなくなる。一杯十六文のうどんを一文足りないので、銭を払うのに「一つ、二つ…いま何時？」「ヘエ、九つ」「十、十一…」これができない。「ほな払うで」「ヘエ」「二ペイ、二ペイ…」「林家三平！　ドーモスイマセン！」。そんな時代になるんかい？

鳥獣との共存も難しいが、スマホとの共存も難しい。いずれにしろ後戻りができなくなったデジタル時代、一番大切なのは、ルールと知恵か…と。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は12月21日＝

読者お問い合わせセンター
078-362-7055
月～金 10～17時（土日祝休み）

地球温暖化の影響が誰の目にも見え、また、生活をも脅かす厳しい時代に。年寄りは右往左往。
「自分の身は自分で守れ」と言われても・・。また、スマホ・パソコンの世界もますます危ない世界に。
　でも慣れて使わないと生活ができない。そんな中、スマホは年寄りには不思議なことが多すぎる。
お店も ATM や通信器にすごいお金を投入したのに、ATM 操作より、店頭での現金払いが高くつくという。
年寄りの味方と思っていた郵便局まで、現金で窓口の人とやり取りすると手数料がいる。
「キャッシュレス　ATM で操作やと手数料無料」と窓口嬢がいう　また買い物もアマゾンほかスマホを使って、
通信販売の方が安い」という。でもそこには悪魔がいる。
年寄りには「スマホの番号を押せ」といわれても指がまっすぐ動かん。
ネットでスマホのボタン間違って押したら、「チャリン」といって「入金完了」の表示。はいそれまでと。
ならば　お店でスマホ出して、ポイントカードも出して、店の人が言うままボタンを押せば、
「ほほっ　ポイントもついて　安い」でもどこかに悪魔が潜んでいる。
「一番大切なのはルールと知恵」といわれてもなあ・・・・と。
　そのうち色々ボタン押して、ほっといたらぼけつを掘るような気も…。スマホへの好奇心はほどほどに
　それにしても文珍さん　危ない話よく知ってるなぁ。
「キャッシュレスの『時うどん』お見事」と。文珍さん　いい勉強になりました。

2023.11.16.　文珍さんの「時うどん」の話を読んで　Mutsu　Nakanishi

fkobeR0512B.pdf

収録２．今月の神戸新聞コラム「正平調」より

気になった今月のニュースメモの記録　　ぶつぶつのつぶやきも

◎ 2023.11.27.　神戸新聞正平調

「ミスターラグビー」と呼ばれた平尾誠二さんは試合前のジャンケンはグーしか出さない。

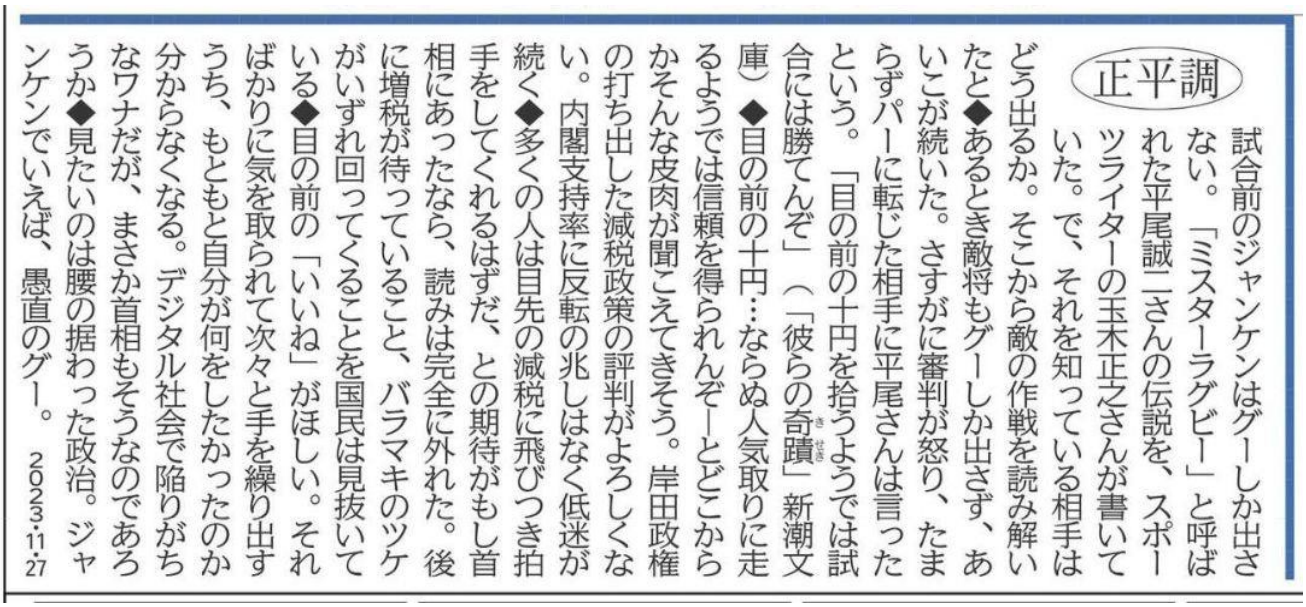
それを知っている相手はどうでるか　　それを知っている相手はどう出るか…

これで相手の作戦を読み解いたという。　そしてまた、今の政治はどうなんだろうか・・・・と

ジャンケンに負けた平尾氏は「目の前の十円」を拾うようでは試合には勝てんぞ」と

相手選手に行ったと正平調氏は言う。

思わず引き込まれて、最後まで読んで、正平調氏のなぞ解きに「ふむふむふむ」と。



正平調

試合前のジャンケンはグーしか出さない。「ミスターラグビー」と呼ばれた平尾誠二さんの伝説を、スポーツライターの玉木正之さんが書いていた。で、それを知っている相手はどう出るか。そこから敵の作戦を読み解いたと◆あるとき敵将もグーしか出さず、あいこが続いた。さすがに審判が怒り、たまらずパーに転じた相手に平尾さんは言ったという。「目の前の十円を拾うようでは試合には勝てんぞ」（「彼らの奇蹟」新潮文庫）◆目の前の十円…ならぬ人気取りに走るようでは信頼を得られんぞーとどこからかそんな皮肉が聞こえてきそう。岸田政権の打ち出した減税政策の評判がよろしくない。内閣支持率に反転の兆しはなく低迷が続く◆多くの人は目先の減税に飛びつき拍手をしてくれるはずだ、との期待がもし首相にあったなら、読みは完全に外れた。後に増税が待っていること、バラマキのツケがいずれ回ってくることを国民は見抜いている◆目の前の「いいね」がほしい。それ ばかりに気を取られて次々と手を繰り出すうち、もともと自分が何をしたかったのか分からなくなる。デジタル社会で陥りがちなワナだが、まさか首相もそうなのであろうか◆見たいのは腰の据わった政治。ジャンケンでいえば、愚直のグー。2023・11・27

ラグビーシーズンが始まり、先のワールドカップで活躍した外国選手たちが、こぞって日本のチームに入って、今年はすごい戦いに。　楽しいラグビーシーズンの幕開けです。

◎ 2023.11.28.　神戸新聞正平調

かつて　単身赴任していた山口の話を神戸新聞正平調氏が取り上げた。

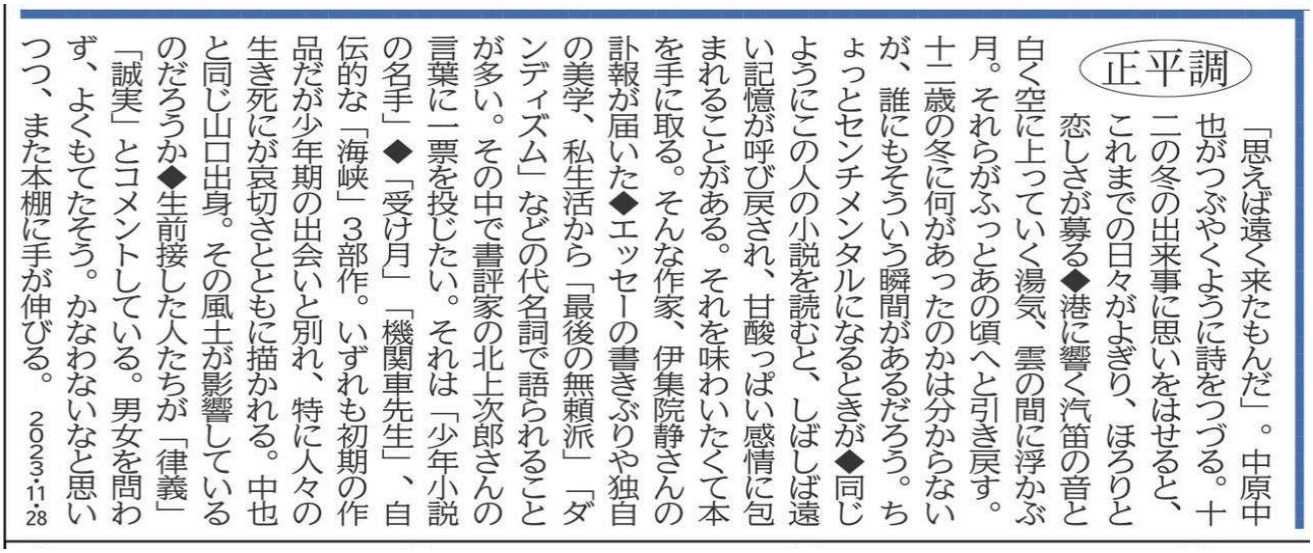
それも　山口の詩人　中原中也のつぶやき「思えば遠く来たもんだ」の詩の一行から、

さらに先日訃報が報じられた小説家　伊集院静さんの小説も取り上げられていた。

伊集院静さんも山口の出身と。山口県の風土について綴られていて懐かしい。

もう山口を離れ、２０数年でも懐かしい。「思えば遠く・・・・」

今回　久しぶりに故郷の懐かしい工場街を歩きました。　故郷のことは何年たっても懐かしい。



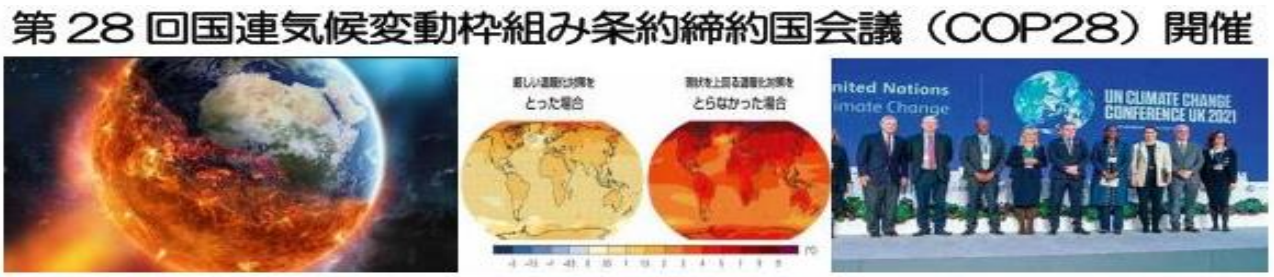
正平調

「思えば遠く来たもんだ」。中原中也がつぶやくように詩をつづる。十二の冬の出来事に思いをはせると、これまでの日々がよぎり、ほろりと恋しさが募る◆港に響く汽笛の音と白く空に上っていく湯気、雲の間に浮かぶ月。それらがふっとあの頃へと引き戻す。十二歳の冬に何があったのかは分からないが、誰にもそういう瞬間があるだろう。ちょっとセンチメンタルになるときが◆同じようにこの人の小説を読むと、しばしば遠い記憶が呼び戻され、甘酸っぱい感情に包まれることがある。それを味わいたくて本を手に取る。そんな作家、伊集院静さんの訃報が届いた◆エッセーの書きぶりや独自の美学、私生活から「最後の無頼派」「ダンディズム」などの代名詞で語られることが多い。その中で書評家の北上次郎さんの言葉に一票を投じたい。それは「少年小説の名手」◆「受け月」「機関車先生」、自伝的な「海峡」３部作。いずれも初期の作品だが少年期の出会いと別れ、特に人々の生き死にが哀切さとともに描かれる。中也と同じ山口出身。その風土が影響しているのだろうか◆生前接した人たちが「律義」「誠実」とコメントしている。男女を問わず、よくもてたそう。かなわないなと思いつつ、また本棚に手が伸びる。2023・11・28

fkobeR0512C.pdf

収録 3. 和鉄の道 2023 年 1 年を振り返って

高齢化が進む中で迎えた「ポストコロナ」大変革の厳しい新時代の幕開け



この地球暴走を止められるでしょうか？　止めねばならぬ　独りよがりではどうにもならぬ

私の一番知りたかった HP「和鉄の道・Iron Road」のテーマ・Key Ward
「人工鉄の起源」「和鉄伝来の道」「たたら製鉄の歴史探訪」「日本の起源・鉄の歴史」等々については
ここ数年資料の合本整理もして、一応道がついたと。

○「和鉄の道」・「風来坊」「四季折々・From Kobe 」それぞれに 1999 年 2022 年の年次 File として、
収蔵しています。まだまだ、整理のつかない文もありますが、日本国中勝手気ままな風来坊の記録です。

○ また 10 数年に及ぶ愛愛媛大東アジア古代鉄文化センターの「人口鉄の起源&ユーラシア大陸東遷の道」
国際プロジェクトの年次成果報告会シンポにも毎年聴講させていただき、その聴講記録集成「たたらの源流
鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」として「和鉄の道・Iron Road」選集整理させていただきました。
長年鉄に携わってきた私の宝物になりました。

○ もう一つ　鉄のない世界　そして日本人のルーツ「縄文」の世界にも現地訪問や数々の会に参加させていただき、
その素晴らしさを和鉄の道・Iron Road で紹介させていただきました。
そして、縄文の世界が世界遺産に登録されるとともに、数多くの仲間と接することができたのもうれしい思い出。

■ 本年は「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と言われた「鉄」がこの新しい時代にどんな姿を見せてゆくのかと
興味津々。新しい時代のキーワード。
一方、世相は混沌　混乱の中 1 年たっても、世界は未だに方向が見いだせないでいる。
そんな時代の転換点にいる自分を神戸の街からしっかり記録しておくのも HP「和鉄の道」
目に留まれば、どこかで、何かの役に立つだろうと和鉄の道・Iron Road の発信を続けてきた 1 年でした。

◆ 目を覆いたくなる悲惨なウクライナ・パレスチナ ガザの惨状
絵空事・ゲームの世界と思っていたことが我が身に迫る。

◆ また、地球温暖化と気候変動による激甚災害の多発原因は
人類社会がもたらした産物　今も続く大気中の CO2 の急増による。
神戸の街で暮らす私たちの身近にも、数々の環境変化が見えるようになってきた本年。
社会生活への影響もひたひたと。もう待ったなしの時代に。

2023 年和鉄の道 HP Top page 季節の便りリスト

地球温暖化と激甚化する自然災害の急増と理不尽な戦乱の時代
即時対応は待ったなし また「鉄はどんな姿を見せたのか」

◎和鉄の道・Iron Road　16 件（鉄の話題:4 件　脱炭素社会構築と鉄:8 件　たたら・製鉄遺跡探訪:4 件）
◎風来坊・Country Walk　24 件（神戸の街の歳時記　−毎日 walk & 神戸近郊四季折々の里景色−　）
◎四季折々・From Kobe　11 件（ 神戸季節の便り& いつくまま From Kobe ）
資料収集: 毎月の神戸新聞 文珍さん落語見聞録&コラム正平調ほか抜き書き等）

■ Mutsu Nakanishi HP 和鉄の道 まとめ Review 選集 ■

和鉄の道 home page 開設 20 年余 「和鉄の道・Iron Road Review」

1. 私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review1】
   2000・2001 日本の源流・たたらとの出会い
2. 私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review2】
   たたら探訪通史（たたらの歴史

穴澤功氏講演資料「我が国の製鉄遺跡の歴史」をベースに和鉄の道を眺める

私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【 Review1 】
2000・2001 日本の源流・たたらとの出会い

VIDEO 動画 mp4 | PDF Photo Book | PDF Web Book

私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review 2 】
たたら探訪通史（たたらの歴史）

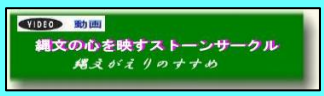
VIDEO 動画 mp4 | PDF Photo Book | PDF Web Book

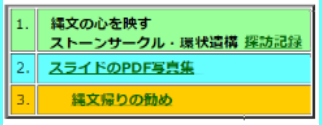
私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review1】2000・2001 日本の源流・たたらとの出会い
【スライド動画】 : https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsuIronRoad2021A.mp4
【Pdf Photo Album】: https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsuIronRoad2021Aphoto.pdf
【Pdf web File】 : https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsuIronRoad2021Aweb.pdf

私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review2】 たたら探訪通史（たたらの歴史）
【スライド動画】 : https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsuIronRoad2021B.mp4
【Pdf Photo Album】: https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsuIronRoad2021Bphoto.pdf
【Pdf web File】 : https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsuIronRoad2021Bweb.pdf

◆ 日本人の心の故郷 縄文 ユネスコ世界遺産 北の縄文遺跡群

日本人の心の故郷「縄文」を世界の人に知ってほしい



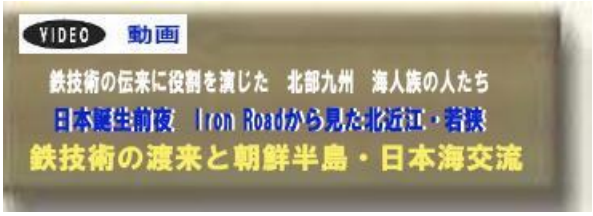


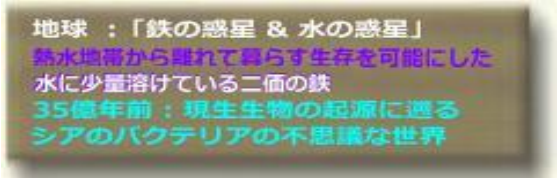
【スライド動画】縄文の心を映すストーンサークル 縄文帰りの勧め
https://www.infokkkna.com/ironroad/2015htm/ironII/jyomonslide.htm

一万年も平和で豊かな生活が続いた時代
世界に類のない「日本の縄文」 そのエンジンは「利他:他人を思いやる心」
家族・仲間に思いを寄せつつ世界平和の願いもひとしお
平和で穏やかな暮らしが広く行き渡りますように

和鉄の道　ここ数年 少しづつ整理してきた和鉄の道選集

ふと目に留まればと。HP からご覧ください。





2023.12.15.　From Kobe　Mutsu　Nakanishi

■ 和鉄の道・Iron Road Monthly Page Since 1999
https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm

■ 和鉄の道・Iron Road　全ファイル収蔵庫リンクリスト
https://infokkkna.com/ironroad/dock/mutsu.htm

「Stop the War　即時停戦」「低炭素社会実現は待ったなし」
key ward は「命は宝:かけがえのない存在」ではないか?
「未来への共感 平和共存のテーブル」についてもらいたい。大国の傘を脱して、多様化共存の道を地球規模で捉えなければ、道は開けない。
やっぱり、「命は宝」「利他の心」「他を思う心」
人類がアフリカ加瀬ら脱出して世界へひろがったあの狭い道が頭をよぎる。
でも 解っていても政治は「刹那の今で動く利己主義」が至る所に顔を出す。
いまだに日本も世界も突破口が見つけられず、右往左往。みんなが懸命に模索が続く
和鉄の道・Iron Road　来年へ引き継ぐ一番重いテーマです。
あきらめず、一日も早く平和の道が開けますよう。

また、神戸から発信を続けてきた Walking　「気力」と「好奇心」が一番だいじかなぁ・・・・と想う歳になりました。思いつくまま気の向くまま 私の風来坊記録。来年もそれが続けられれば一番と。
スライド動画に撮った神戸近郊の街・田園風景は四季折々 移りゆく 2023 年神戸の歳時記
眺めてみると年々薄らぐ季節感の記録。
８０歳　高齢を迎え、環境・周りの自然ばかりでなく、自分自身も大きな変わり目、
これから一山もふた山を越えねばと。

・

時代の転換点の今　来年のリーダーには能動的で「リーダーの孤独」が解るフレッシュな人になってほしいなぁと思うのですが・・・・どうでしょうか・・・・
師走になってもいまだにドタバタの政治家たち。
自分たちが一番無責任とは思わないのか、、、その姿は一番乏しい姿に見える
師走まで　ぶつぶつ言うのはやめて、新しい道につなげねばと。
地球を舞台に起こる流れの中　「鉄」をキーワードに老いゆく自分の 2023 記録メモ
この一年 勝手な風来坊にお付き合いいただき、ありがとうございました。　引き続きよろしくお願いします。
あっという間に秋から冬へ　でも北風小僧はこれから　みんな　みんな　本当にありがとう
思いはみんな同じ　仲間の笑顔がみんなの応援歌　無理せず　時には声をあげて
God be with You!! & You Raise Me Up!!
ありがとうございます。一歩また一歩　元気に毎日を
2023.12.10.　今年一年を振り返りつつ　From Kobe

From Kobe2023「四季折々・ぶつぶつ　From Kobek」のHP掲載版は下記のリンクリストより、ご覧ください
URL：https://infokkkna.com/ironroad/mutsu23list.htm